

2019年度

「学生による授業評価アンケート」結果

日本社会事業大学

# 目次

## 1. はじめに

## 2. 授業評価結果

### 2-1. 専任・兼任教員

### 2-2. 非常勤講師等

## 3. 参考資料

## 1. はじめに

本学部での授業評価は、長年にわたるリアクションペーパーの活用を経て、2004年度からは社会福祉士国家試験該当科目を対象とした新たなアンケート書式による授業評価を導入しました。翌年度からは対象科目を社会福祉士国家試験該当科目以外へ、2006年度からは兼任・非常勤の教員を含む全教員の担当科目へと拡充し、時宜によっては「実習」関連科目を対象とした授業評価の試行なども展開して参りました。

2013年度からは、2つの評価様式(参考資料)を教員が選択して使用する形式となり、FD(ファカルティ・ディベロプメント)の一環として今年度に引き継がれてきています。

学生による授業評価は、ともすれば一方向的なものと解釈される可能性もあり、場合によっては学生と教員との意識にすれ違いが生じることもあります。こうしたことを最小限とするため、各教員には集計結果を公布した上で、「担当者のコメント」の記述を依頼し、学生も含めて閲覧できるようにしております。学生による授業評価を真の教育の質の向上につなげるには、教員が集計結果の背景にある学生の学ぶ姿を思い描くことが必要であると考えております。

本報告書は、このような経緯を踏まえて実施された、2019年度の授業評価アンケートの結果、および担当者のコメントをまとめたものです。

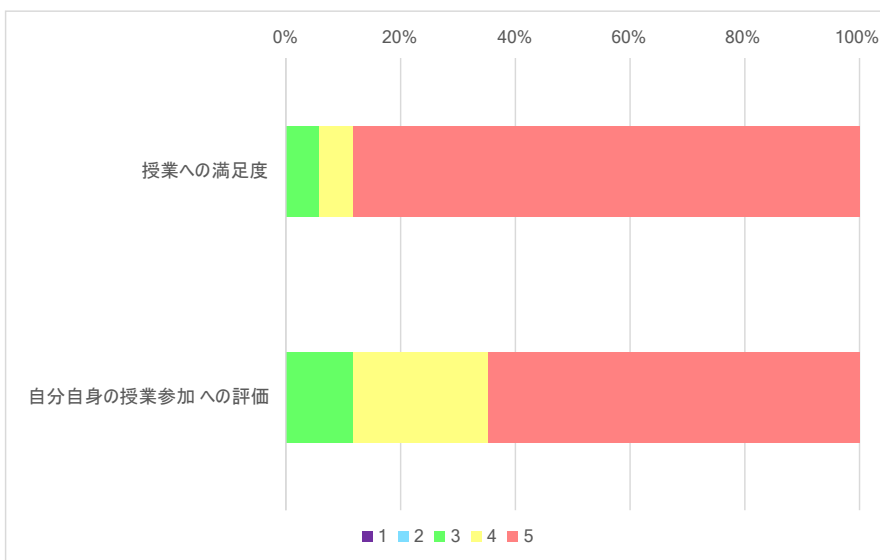
日本社会事業大学 社会福祉学部  
FD委員長 金子恵美

## 2. 授業評価結果

### 2-1. 専任・兼任教員

氏名	相原 朋枝		
科目名	保育表現技術 I D1 (ダンスセラピー)		
実施日	2019/07/31	配当年次	2
履修者数	17	回答者数	17

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	1	1	15	17
自分自身の授業参加への評価	0	0	2	4	11	17

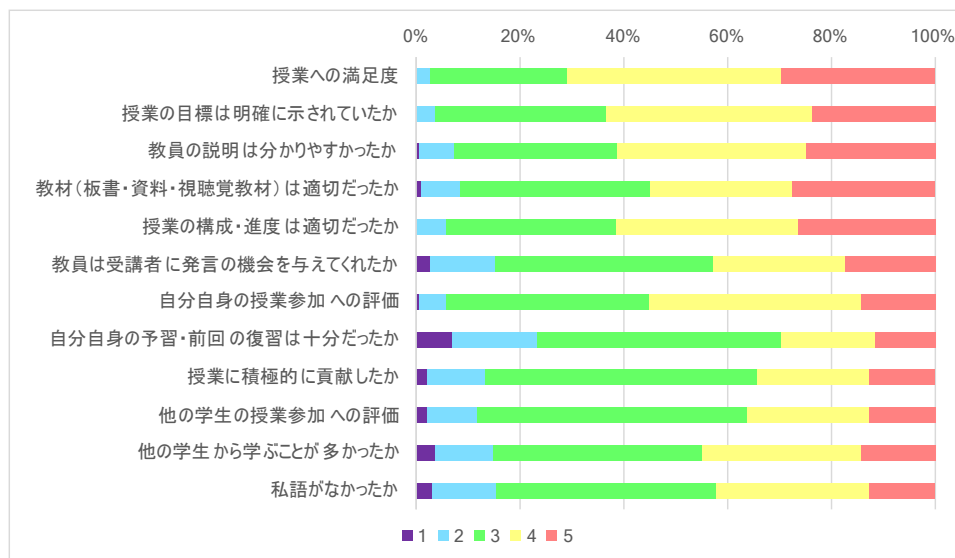


■担当者のコメント

授業の満足度が高い結果となり嬉しく思います。次年度も、楽しく体を動かしながら表現活動の本質を学べる授業を目指します。自由記述には暑かった、虫が多かったなど、教室についての不満が散見されました。これは授業内容以前の問題です。環境改善については例年大学に申し入れ、教務課とも協議していますが、なかなか進みません。このところの夏の暑さで授業の成立自体も難しくなっているため、今後も改善要求を続ける所存です。

氏名	有村 大士		
科目名	児童福祉論 I		
実施日	2019/07/18	配当年次	2
履修者数	220	回答者数	189

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	5	50	78	56	189	
授業の目標は明確に示されていたか	0	7	62	75	45	189	
教員の説明は分かりやすかったか	1	13	59	69	47	189	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	2	14	69	52	52	189	
授業の構成・進度は適切だったか	0	11	62	66	50	189	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	5	24	79	48	33	189	
自分自身の授業参加への評価	1	10	74	77	27	189	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	13	31	89	34	22	189	
授業に積極的に貢献したか	4	21	99	41	24	189	
他の学生の授業参加への評価	4	18	98	44	24	188	
他の学生から学ぶことが多かったか	7	21	76	58	27	189	
私語がなかったか	6	23	80	56	24	189	

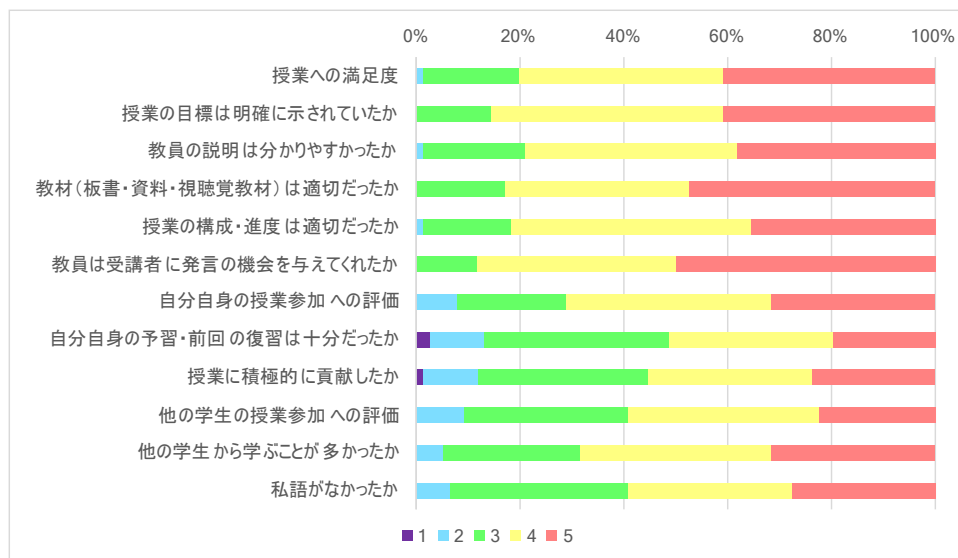


■担当者のコメント

個人個人の理解度を把握するためには、230人という人数はとても厳しい。また、授業が多い中で「自分自身の予習・前回の復習は十分だったか」、「教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか」といった項目は大講義室では難しいところである。次年度は分かりやすく理解するための資料と深く考察したり考える資料を共に配布することで、分かりやすさと深い理解の両立を目指したい。

氏名	井上 由起子		
科目名	福祉環境論		
実施日	2019/07/18	配当年次	2
履修者数	93	回答者数	76

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	1	14	30	31	76	
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	11	34	31	76	
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	15	31	29	76	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	13	27	36	76	
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	13	35	27	76	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	9	29	38	76	
自分自身の授業参加への評価	0	6	16	30	24	76	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	8	27	24	15	76	
授業に積極的に貢献したか	1	8	25	24	18	76	
他の学生の授業参加への評価	0	7	24	28	17	76	
他の学生から学ぶことが多かったか	0	4	20	28	24	76	
私語がなかったか	0	5	26	24	21	76	

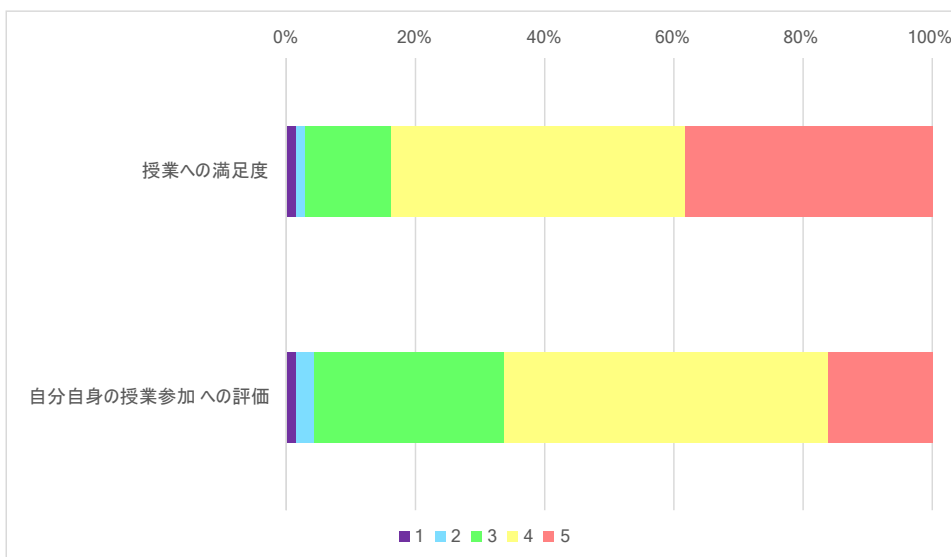


#### ■担当者のコメント

専門職大学院に所属しているため、学部での授業は本年度が初めてでした。受講者が多く、グループワークを行うことが難しい教室だったこともあり、学生の皆さんに事前レポートを課し、その内容を授業で活かすこと、ビデオ教材を活用すること、リアクションペーパーを用いて次の授業の導入を行うこと、などを心がけました。出欠の取り方、事前課題、成績基準などの改善を行いつつ、リアクションペーパーでのコメントを踏まえて、授業内容の見直しを行っていきます。

氏名	上村 勇夫		
科目名	就労支援サービス		
実施日	2020/01/10	配当年次	3
履修者数	130	回答者数	68

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	1	1	9	31	26	68	
自分自身の授業参加への評価	1	2	20	34	11	68	



■担当者のコメント

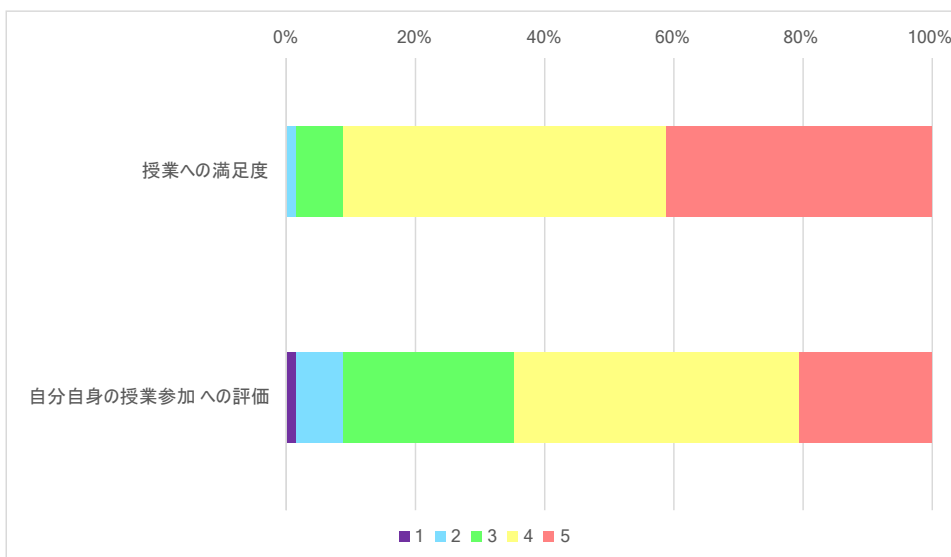
就労経験がない学生が多い状況が想定されたため、いかにリアリティのある授業を展開できるかが私自身の課題でした。具体的な工夫として、映像資料を利用したり、現場で活躍されているゲストスピーカーをお呼びしたりしましたが、概ねその点は評価してもらえたようです。今年度は例年になく質問が多く出たことも印象的な点の一つです。積極的な姿勢のおかげで、より濃密な学びにつながったのではないかと推測しています。毎年課題である、レジユメをわかりやすくする、メリハリのある話し方を心掛けるといった点については、アンケートを見ても、昨年同様手ごたえが感じられました。今後もよりわかりやすく授業を展開する工夫を心がけてまいります。



氏名	内田 宏明		
科目名	教育相談 / スクールソーシャルワーク		
実施日	2019/11/28	配当年次	2
履修者数	90	回答者数	68

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	1	5	34	28	68
自分自身の授業参加への評価	1	5	18	30	14	68

4.3088

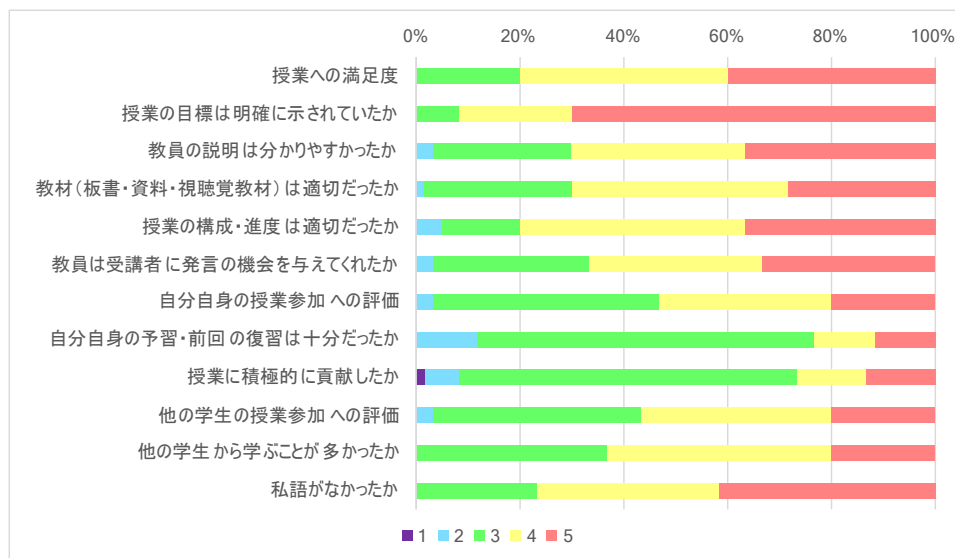


■担当者のコメント

授業への満足度は、平均4.3と概ね良好な評価を得ていると考えられる。パワーポイントの資料に豊富な図表による統計と、事例をまとめた点、ゲストスピーカーを招いた点などに評価を得ることができた。半面、抗議の際に関連したエピソードを交えることが多く、このため震度が遅くなりがちなのが完全要望として挙がっていた。この点を踏まえ、来年度の講義をさらに向上させていきたい。

氏名	大島 巖		
科目名	精神保健福祉論Ⅲ / 支援環境開発論		
実施日	2020/01/10	配当年次	2
履修者数	76	回答者数	60

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	12	24	24	60	
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	5	13	42	60	
教員の説明は分かりやすかったか	0	2	16	20	22	60	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	17	25	17	60	
授業の構成・進度は適切だったか	0	3	9	26	22	60	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	2	18	20	20	60	
自分自身の授業参加への評価	0	2	26	20	12	60	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	7	39	7	7	60	
授業に積極的に貢献したか	1	4	39	8	8	60	
他の学生の授業参加への評価	0	2	24	22	12	60	
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	22	26	12	60	
私語がなかったか	0	0	14	21	25	60	

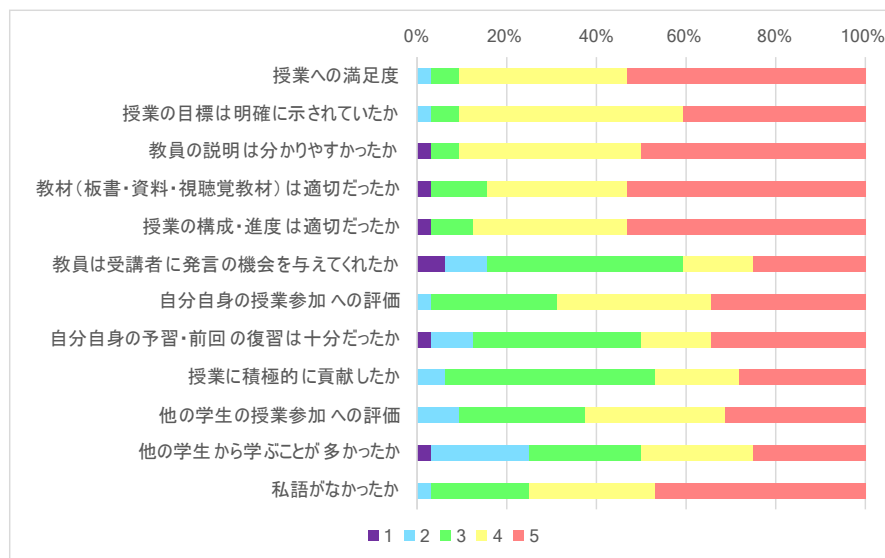


■担当者のコメント

この授業は、10年以上にわたって講義しており、毎年、繰り返し授業内容にも工夫をこらしながら改善を試みていることもあり、一定の良い評価を得たと思います。ただ以前に比べて、理解が十分ではないとの回答が増え、また満足度も下がっているように思います。学生のニーズや理解度に合わせて授業内容を再構築する必要性も実感しています。特に各回の授業内容が盛り込み過ぎる傾向があったようです。予習・復習の課題設定を含めて、学生の皆さんが授業内容をよりよく咀嚼して、実践に役立てることができる工夫を今後十分に行って行きたいと考えます。

氏名	大野 ロベルト		
科目名	英語A5		
実施日	2019/06/25	配当年次	1
履修者数	39	回答者数	32

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	1	2	12	17	32	
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	2	16	13	32	
教員の説明は分かりやすかったか	1	0	2	13	16	32	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	0	4	10	17	32	
授業の構成・進度は適切だったか	1	0	3	11	17	32	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	2	3	14	5	8	32	
自分自身の授業参加への評価	0	1	9	11	11	32	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	3	12	5	11	32	
授業に積極的に貢献したか	0	2	15	6	9	32	
他の学生の授業参加への評価	0	3	9	10	10	32	
他の学生から学ぶことが多かったか	1	7	8	8	8	32	
私語がなかったか	0	1	7	9	15	32	

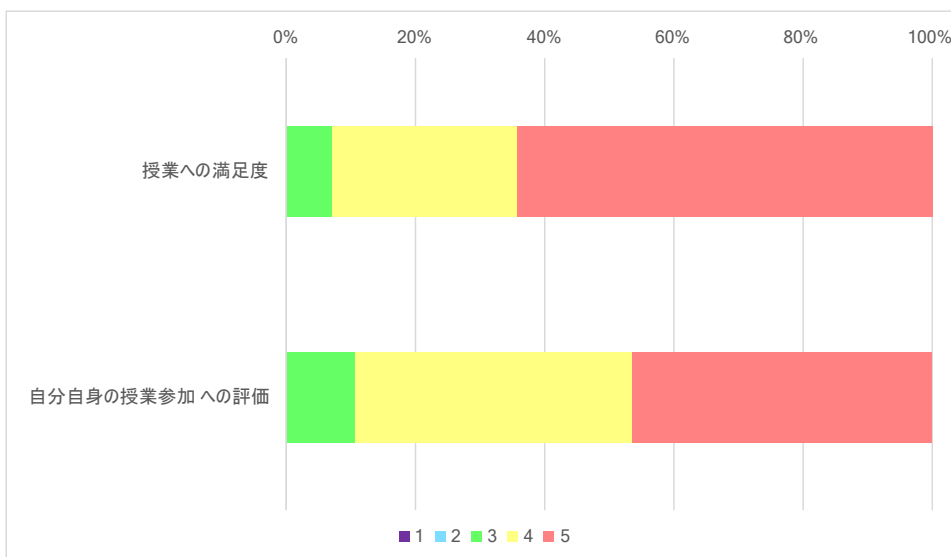


#### ■担当者のコメント

本年度よりシラバスを大幅に改定したが、学生により深く学ぶ機会を与えることを最優先に考えての改定であり、その意味で概ね好意的な評価を得られたことは一つの安心材料と言える。とくに従前に比べ、学生の自己評価が高まっていることは喜ばしい。今後とも学生の反応を見ながら、必修科目であるからこそ、有意義な授業とすべく専心したい。

氏名	小田 美季		
科目名	障害構造論		
実施日	2020/01/10	配当年次	2
履修者数	34	回答者数	28

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	2	8	18	28
自分自身の授業参加への評価	0	0	3	12	13	28

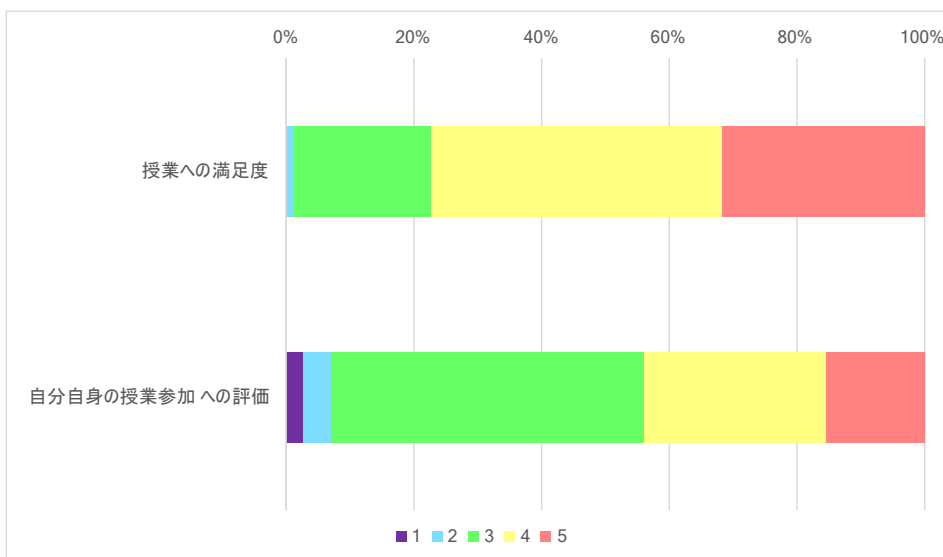


#### ■担当者のコメント

今年度の受講生の共通点は、全員が次年度、社会福祉士の相談援助実習に行くということでした。次年度の準備にもなると、自分自身で動機づけをしながら課題に取り組む人が多くいました。また、グループ活動を通して、他者からも学びつつ、自分を高めることにも努めていました。これらが合わさった結果、ICFというツールを使った課題に取り組んだというだけでなく、チームで仕事をする難しさと大切さに気付けたということはずばらしいことだと思います。どうかこの謙虚さをこれからも持ち続けてください。グループ活動の回数を増やすことに関しては、理論も押さえておく必要があるのと、その年の受講生の状況によって左右されます。ただし、状況次第では可能かと思うので、検討のポイントとして押さえておきます。

氏名	小野 俊樹		
科目名	公的扶助論		
実施日	2019/07/12	配当年次	3
履修者数	224	回答者数	158

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	2	34	72	50	158	
自分自身の授業参加への評価	4	7	76	44	24	155	

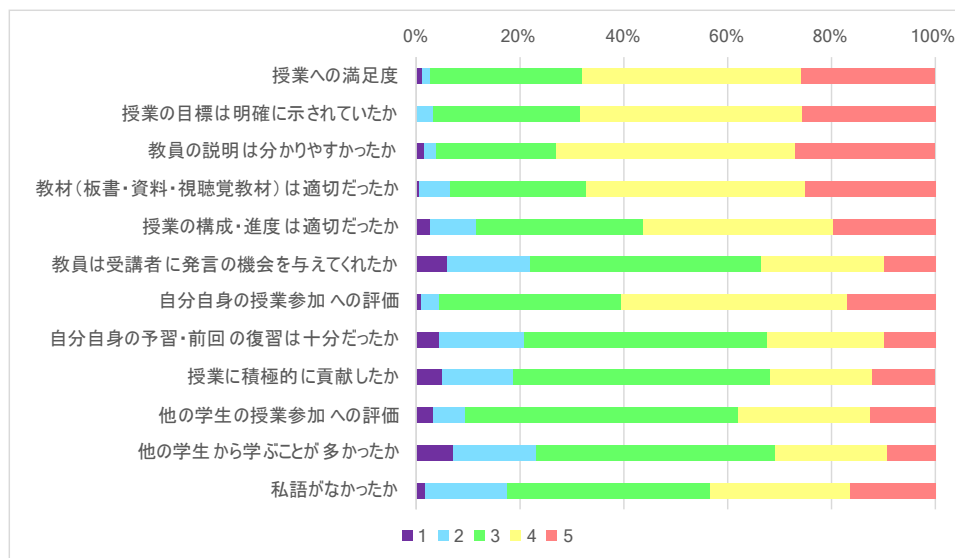


■担当者のコメント

国家試験のために必要となる知識を整理して伝えるとともに、表面的な知識にとどまることなく、貧困問題の背景や制度の基本的な考え方で学生が理解できるように心がけて講義を行った。しかし、学生が受動的に講義を聴くだけでなく、自ら進んで積極的に貧困問題や関係する制度に関心を持ち、考える契機となるような講義を展開できるように、さらに工夫が必要だと考える。この点で、講義で配布した資料についても、内容が細かく、量も多くなりがちであったので、もっと簡潔にまとめ、考える契機となる論点を提示するようなものにしていきたい。話し方についても、単調にならないように注意したい。これらの取り組みにより、授業への満足度と学生自身の参加度の差が縮まるようにしていきたい。

氏名	小原 眞知子		
科目名	医療福祉論		
実施日	2019/07/15	配当年次	2
履修者数	230	回答者数	183

	← 評価 →					合計
	no	1	2	3	4	
授業への満足度	2	3	53	77	47	182
授業の目標は明確に示されていたか	0	6	52	78	47	183
教員の説明は分かりやすかったか	3	4	42	84	49	182
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	11	48	77	46	183
授業の構成・進度は適切だったか	5	16	59	67	36	183
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	11	29	81	43	18	182
自分自身の授業参加への評価	2	6	64	79	31	182
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	8	30	85	41	18	182
授業に積極的に貢献したか	9	25	90	36	22	182
他の学生の授業参加への評価	6	11	96	46	23	182
他の学生から学ぶことが多かったか	13	29	84	39	17	182
私語がなかったか	3	29	71	49	30	182

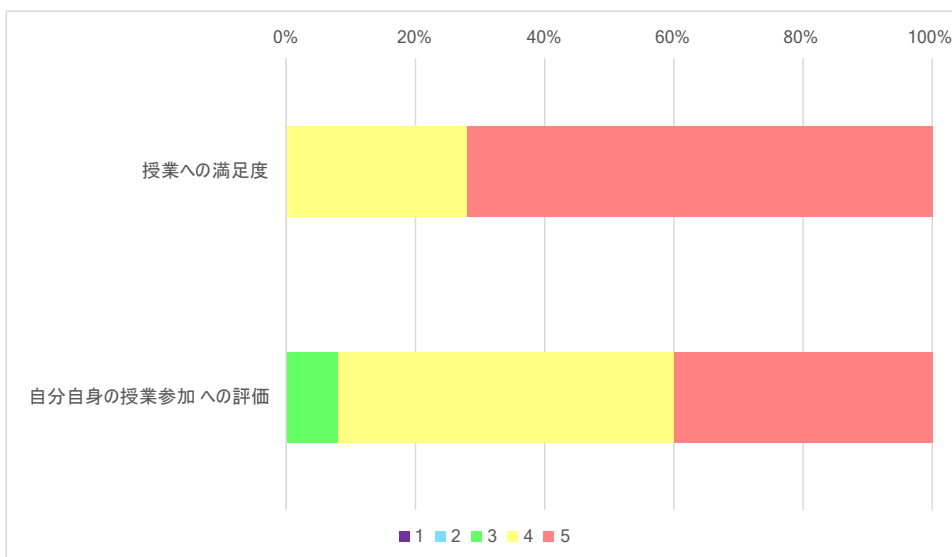


■担当者のコメント

大講義になるので、個別化を図ることには限界がありますが、レポートでの対応時に把握可能でした。予習復習できる工夫をしたいと思います。

氏名	梶原 洋生		
科目名	子ども法制論		
実施日	2020/01/10	配当年次	2
履修者数	28	回答者数	25

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	0	7	18	25	
自分自身の授業参加への評価	0	0	2	13	10	25	

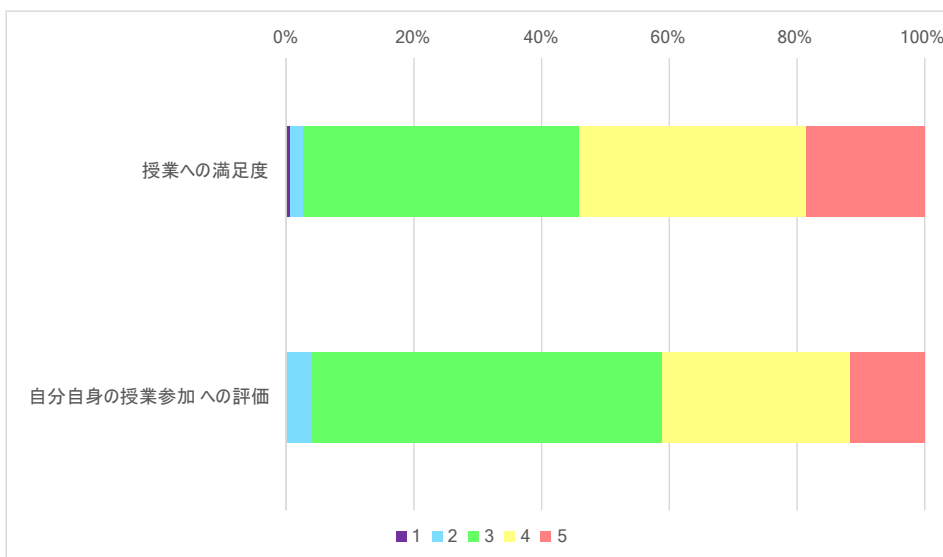


■担当者のコメント

今年度は教室内がアットホームな雰囲気、2年生から4年生までが語り合いながら学習内容の理解を深めていた。実際のところ、多くの受講生が目標を達成したように見受けられた。法律用語や条文についても熱心に学びあい、質問してくることが多かった。空調がよくないとの指摘があったので、今後も声を掛け合いつつ進めたい。もう少し大きな声で意見が言えるように、さらなる工夫の方策を立てたい。

氏名	金子 恵美		
科目名	社会福祉原論Ⅱ		
実施日	2019/07/08	配当年次	4
履修者数	206	回答者数	146

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	1	3	63	52	27	146	
自分自身の授業参加への評価	0	6	80	43	17	146	



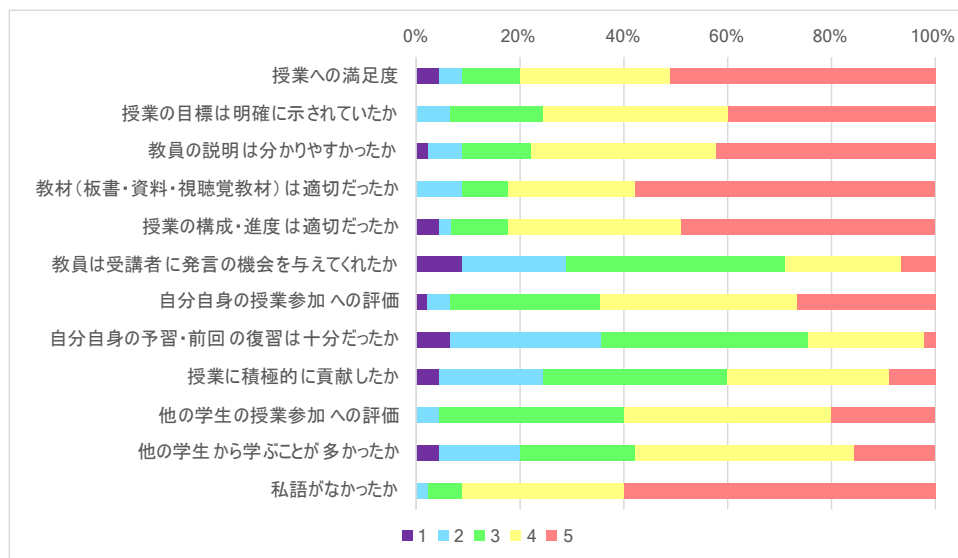
■担当者のコメント

学生自身の授業参加への評価がよく、安心しました。ソーシャルワークの原点について考えを深めたという意見がありましたが、今後さらにこのような意見を多く聞くことができるよう、吟味できるよう内容と方法を工夫していきます。



氏名	蒲生 俊宏		
科目名	障害者福祉論Ⅱ		
実施日	2019/11/29	配当年次	2
履修者数	54	回答者数	45

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	2	2	5	13	23	45
授業の目標は明確に示されていたか	0	3	8	16	18	45
教員の説明は分かりやすかったか	1	3	6	16	19	45
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	4	4	11	26	45
授業の構成・進度は適切だったか	2	1	5	15	22	45
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	4	9	19	10	3	45
自分自身の授業参加への評価	1	2	13	17	12	45
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	3	13	18	10	1	45
授業に積極的に貢献したか	2	9	16	14	4	45
他の学生の授業参加への評価	0	2	16	18	9	45
他の学生から学ぶことが多かったか	2	7	10	19	7	45
私語がなかったか	0	1	3	14	27	45

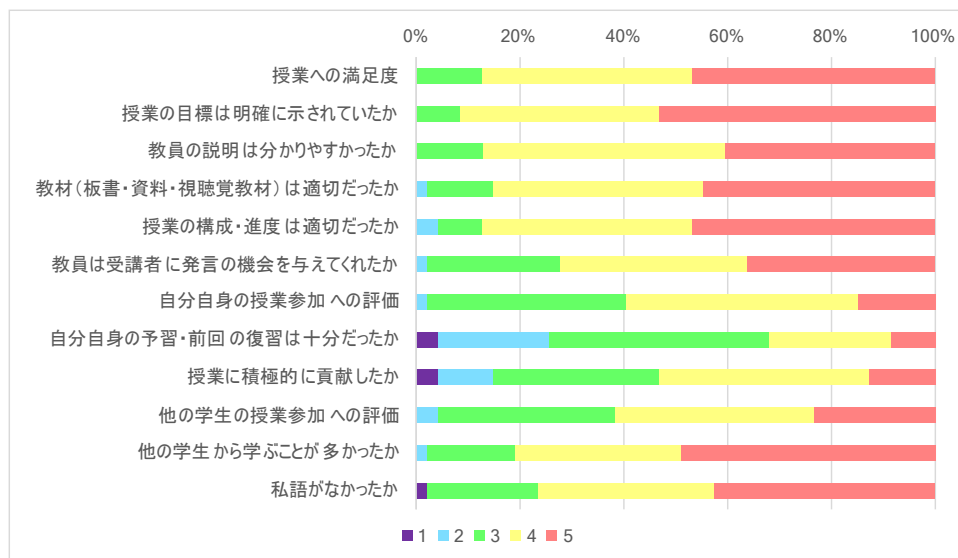


#### ■担当者のコメント

相対的に評価が高かった「私語」「教材」「授業の構成・進度」は、関連付けて受け止めている。睡魔や内職による影響の度合いはわからないが、前回のフィードバック→視聴覚教材の視聴→配付資料の解説→リアクションペーパーの作成という定型に落とした授業展開が、ポジティブの方向としては上記の評価につながったものであろう。一方で、ネガティブの方向としては、「発言の機会」や「予習・復習」の相対的な評価の低さとして現れていると読んだ。講義形態の限界はあるが、「発言の機会」についてはささやかであっても工夫を凝らしてみたい。また、「予習・復習」については、高校生までのようなイメージではなく、参考文献等の文献へのアクセスを中心に、気になったことについて自らを動かしてみるという習慣を身につけてほしい。

氏名	菊池 いづみ		
科目名	介護保険制度論		
実施日	2019/07/05	配当年次	3
履修者数	58	回答者数	47

	no	← 評価 →			yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	0	6	19	22	47
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	4	18	25	47
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	6	22	19	47
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	6	19	21	47
授業の構成・進度は適切だったか	0	2	4	19	22	47
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	1	12	17	17	47
自分自身の授業参加への評価	0	1	18	21	7	47
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	10	20	11	4	47
授業に積極的に貢献したか	2	5	15	19	6	47
他の学生の授業参加への評価	0	2	16	18	11	47
他の学生から学ぶことが多かったか	0	1	8	15	23	47
私語がなかったか	1	0	10	16	20	47

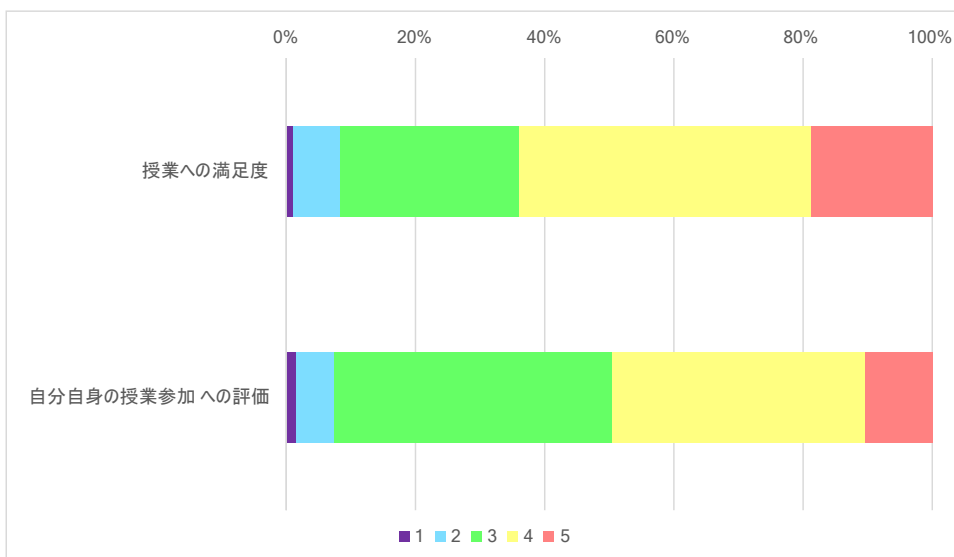


■担当者のコメント

この授業では、高齢者福祉の中心をなす介護保険制度について、地域包括ケアシステム構築にむけた法改正の背景とその内容を理解したうえで、実践とのかかわりにおいて今後の制度のあり方について考える力を養成することをねらいのひとつとしている。そこで、主体的な授業参加にかかわる項目の向上を、今年度の授業改善の目標とした。具体的な項目としては、「自分自身の授業参加への評価」や「授業に積極的に貢献したか」の評価を高めることである。これについて、「5」と「4」の合計を昨年度と比較すると、いずれも10ポイントほど上回っている。グループワークなど参加型学習機会の活用による、一定の成果の跡がみられたものといえる。それでも、全項目のなかでは相対的に低い割合となっていることから、引き続き改善に向けた課題としたい。

氏名	木村 容子		
科目名	社会福祉援助技術論 I		
実施日	2020/01/06	配当年次	1
履修者数	241	回答者数	202

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	2	15	56	91	38	202	
自分自身の授業参加への評価	3	12	87	79	21	202	



#### ■担当者のコメント

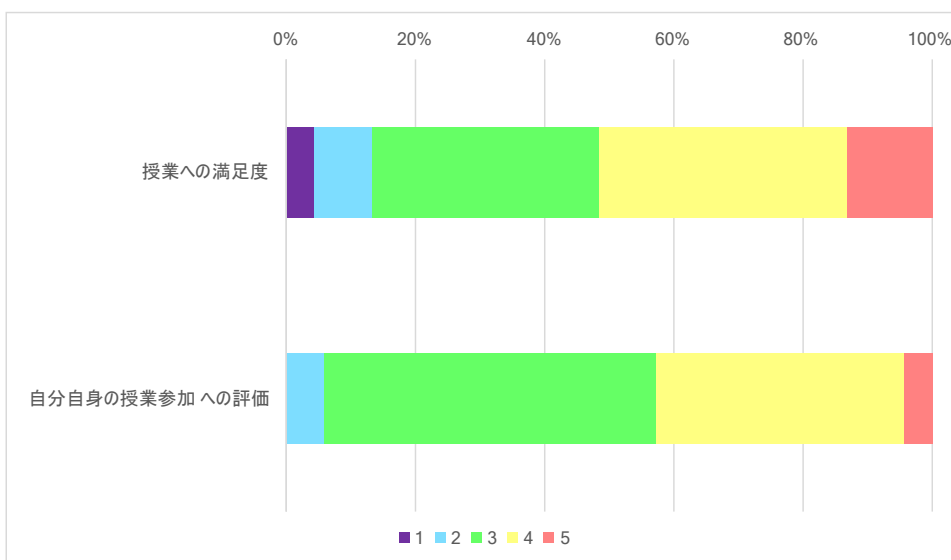
本授業は、①教科書を活用し、授業内では教科書該当ページを示したPPTにより進めていく、②事例を用い、学生の考えを全体で共有しながら解説を加えていく、③リアベのコメントに対しフィードバックする、④大きな単元ごとに、小レポートを課し、より学びの整理をするで構成しました。できるだけ前もって、次回の授業内容とそのため予習ポイントを案内し、予習復習に努めていただくようにしました。

それらの目的や意図しているところを評価して下さっているコメントが多数ありました。①予習復習がしやすく、PPTとその解説が詳しい／見やすい／わかりやすい／丁寧である、②学生の考え・意見の共有により視野が広がった・参考になった、③・④学んだことをじっくり考え直す機会となった、復習になったというコメントが概してありました。

「自分自身の努力が必要な点」に「予習」「復習」が多く上がっていましたが、予習復習の大切さをみなさんが感じた現われとも言えるのではないのでしょうか。ノートの取り方にまだ苦勞している方もいるようですが、予習がキーになってくると思っています。授業の改善点としては、定説とまで言えない理論に関する説明などかと思うのですが、断定的な伝え方をしないことが、学生の方々によってはわかりにくいというコメントもありましたので、曖昧な表現ではなく、より明確に伝えていくよう心掛けたいと思います。また、PPTの1枚の文字数が多いとの意見もあり、字数を調整しより見やすくしたいと思います。

氏名	倉持 香苗		
科目名	地域福祉計画論		
実施日	2019/12/20	配当年次	3
履修者数	76	回答者数	68

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	3	6	24	26	9	68
自分自身の授業参加への評価	0	4	35	26	3	68

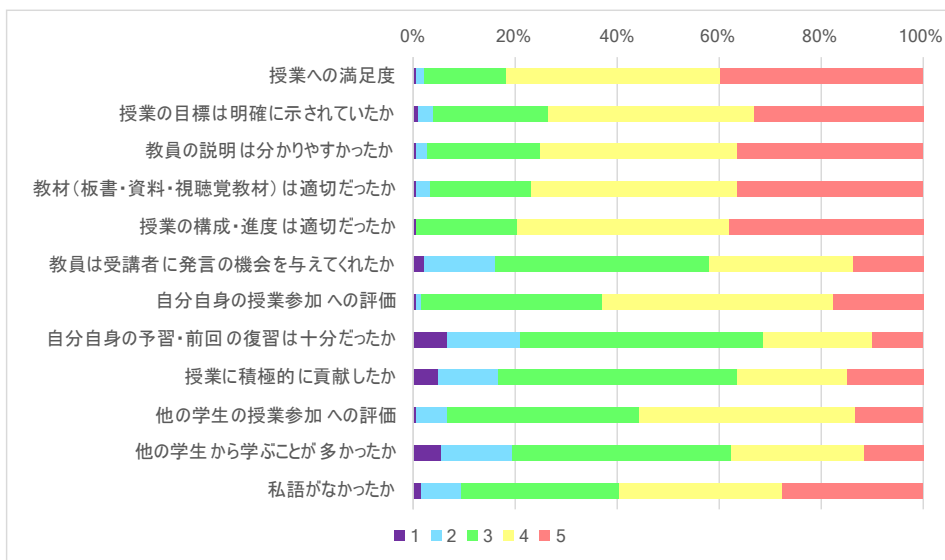


■担当者のコメント

福祉計画学科必修科目ですが、受講生の中には、地元で計画策定の委員をしている学生や、実習で計画策定の会議に同席した経験を持つ学生がいる一方で、そうでない学生もあり、授業だけでは計画策定のイメージをすることは難しいかと思われました。授業では、視聴覚教材やグループディスカッションを取り入れたほか、地域福祉計画を身近なものとして捉えていただくために、受講生自身が暮らしている地域や帰省先の計画を調べるのが大切である旨お伝えしました。授業のみならず、こうした調べ学習も大切だと考えています。また、リアクションペーパーの感想や質問を次回の授業開始時に紹介する取り組みは、質疑応答を共有することに繋がり、受講生からも他の学生の意見を知ることができる機会として受け止められていました。今後も理解しやすい授業になるよう努めてまいります。

氏名	後藤 隆		
科目名	社会学		
実施日	2020/01/10	配当年次	1
履修者数	210	回答者数	181

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	1	3	29	76	72	181
授業の目標は明確に示されていたか	2	5	41	73	60	181
教員の説明は分かりやすかったか	1	4	40	70	66	181
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	5	36	73	66	181
授業の構成・進度は適切だったか	1	0	36	75	69	181
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	4	25	76	51	25	181
自分自身の授業参加への評価	1	2	64	82	32	181
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	12	26	86	39	18	181
授業に積極的に貢献したか	9	21	85	39	27	181
他の学生の授業参加への評価	1	11	68	77	24	181
他の学生から学ぶことが多かったか	10	25	78	47	21	181
私語がなかったか	3	14	56	58	50	181

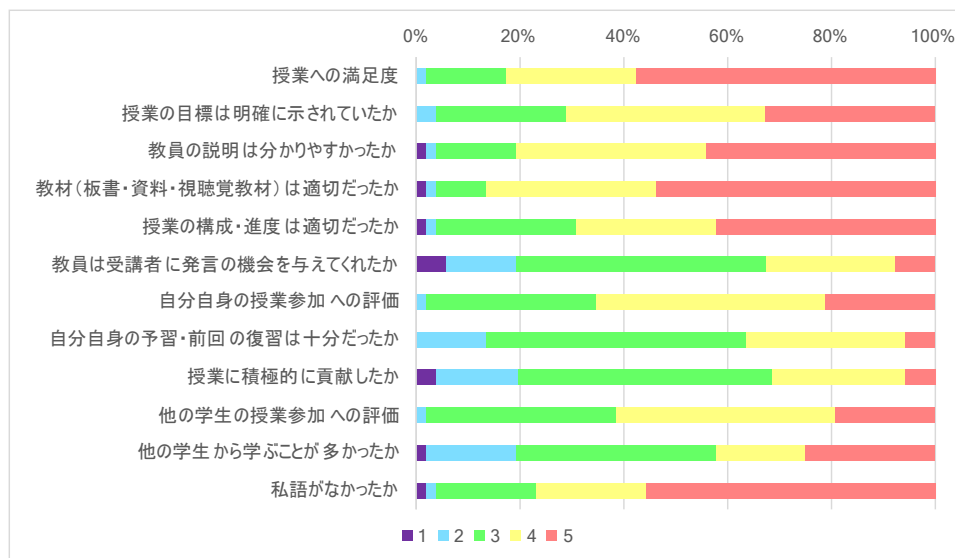


#### ■担当者のコメント

回答結果をみると、α:「発言機会」「予習・復習」、β:「授業への貢献」「他学生から学ぶ」の2カテゴリー(各2項目)について、「評価」1と2を足した回答者数が回答者総数の10%をこえている。α、βとも、おそらく原因は、選択必修科目かつ大教室開講にある。講義内容の区切りごとの小テスト、将来の国家試験に備えたノート作成、講義中受講生の間をまわって直接発言を求める、等、現今でも工夫をしているが、新カリキュラムでの必修化に応じて、さらに努力したい。

氏名	斉藤 くるみ		
科目名	人間の知性IV		
実施日	2019/06/19	配当年次	1
履修者数	62	回答者数	52

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	1	8	13	30	52
授業の目標は明確に示されていたか	0	2	13	20	17	52
教員の説明は分かりやすかったか	1	1	8	19	23	52
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	1	5	17	28	52
授業の構成・進度は適切だったか	1	1	14	14	22	52
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	3	7	25	13	4	52
自分自身の授業参加への評価	0	1	17	23	11	52
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	7	26	16	3	52
授業に積極的に貢献したか	2	8	25	13	3	51
他の学生の授業参加への評価	0	1	19	22	10	52
他の学生から学ぶことが多かったか	1	9	20	9	13	52
私語がなかったか	1	1	10	11	29	52

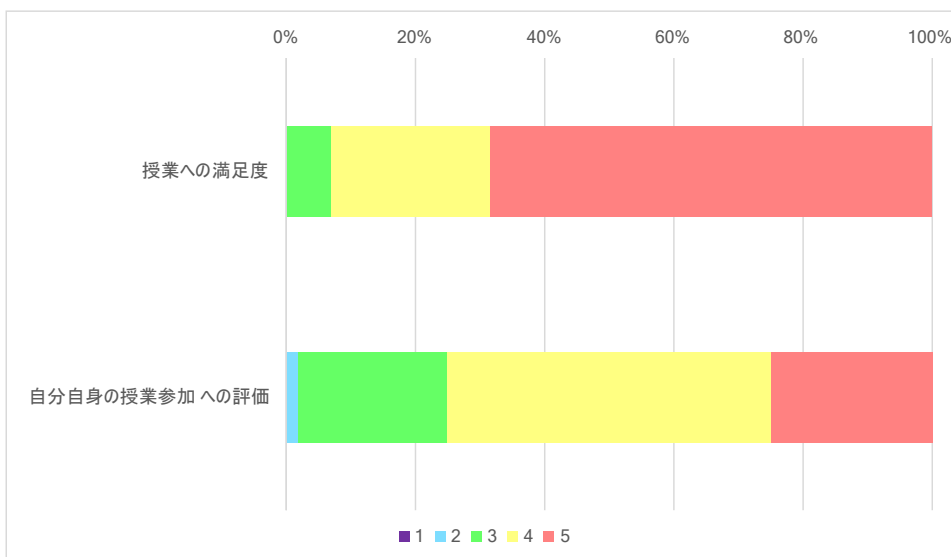


#### ■担当者のコメント

授業の義勇復数をあまりしなかったということで反省している学生が多いようです。もっと毎回のテストを難しくしたらよいでしょうか。また授業の満足度はいつもこの科目は高いのですが、内容が脳科学なので、珍しくておもしろいからだと思えます。私語はまったくなかったです。なぜ全員なかったと答えないのかよくわからないのですが。アンケートに適当にマークしてしまう学生もいるのでしょうか。発言の機会がなかったのは当然です。一年生にとっては目新しい科目で、発言させることは難しい科目だと思います。質問も出ません。紙のやりとりがあるので、そこに書けますから。

氏名	酒本 知美		
科目名	精神保健福祉援助技術各論 I		
実施日	2020/01/07	配当年次	2
履修者数	68	回答者数	57

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	4	14	39	57	
自分自身の授業参加への評価	0	1	13	28	14	56	

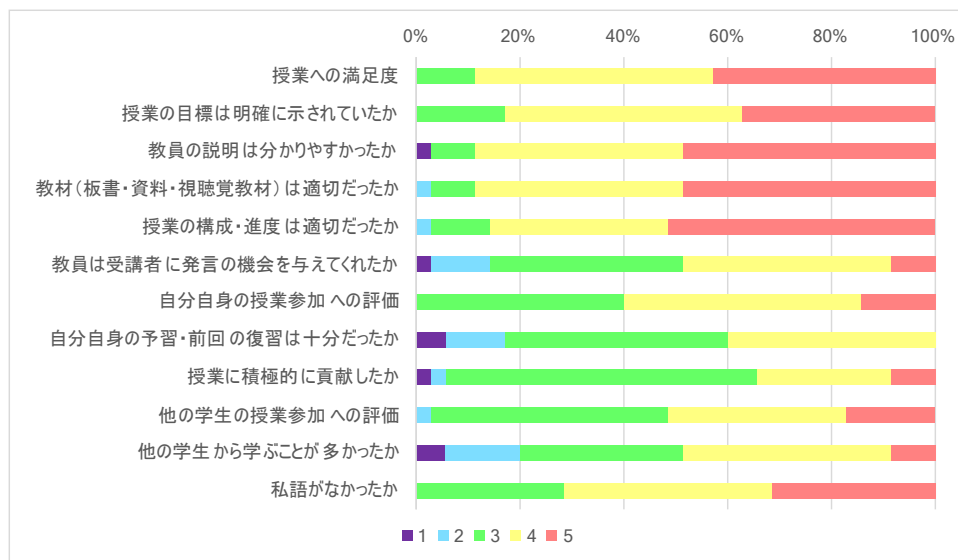


■担当者のコメント

説明(講義)のあとにワーク、とくにソーシャルワークの基本である他者とのコミュニケーションを重視してグループワークを多く実施しているが、学生にとってはグループワークが苦手な者もいる。こうした学生が授業に対して苦手意識を持たずに参加できるような工夫が必要であると考えている。  
また、学生が学びを深められるような事例などを多く収集し、学生がより精神保健福祉について関心を持てるような授業を展開していきたい。

氏名	佐竹 要平		
科目名	社会的養護内容A		
実施日	2019/12/17	配当年次	2
履修者数	47	回答者数	35

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	4	16	15	35
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	6	16	13	35
教員の説明は分かりやすかったか	1	0	3	14	17	35
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	3	14	17	35
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	4	12	18	35
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	1	4	13	14	3	35
自分自身の授業参加への評価	0	0	14	16	5	35
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	4	15	14	0	35
授業に積極的に貢献したか	1	1	21	9	3	35
他の学生の授業参加への評価	0	1	16	12	6	35
他の学生から学ぶことが多かったか	2	5	11	14	3	35
私語がなかったか	0	0	10	14	11	35



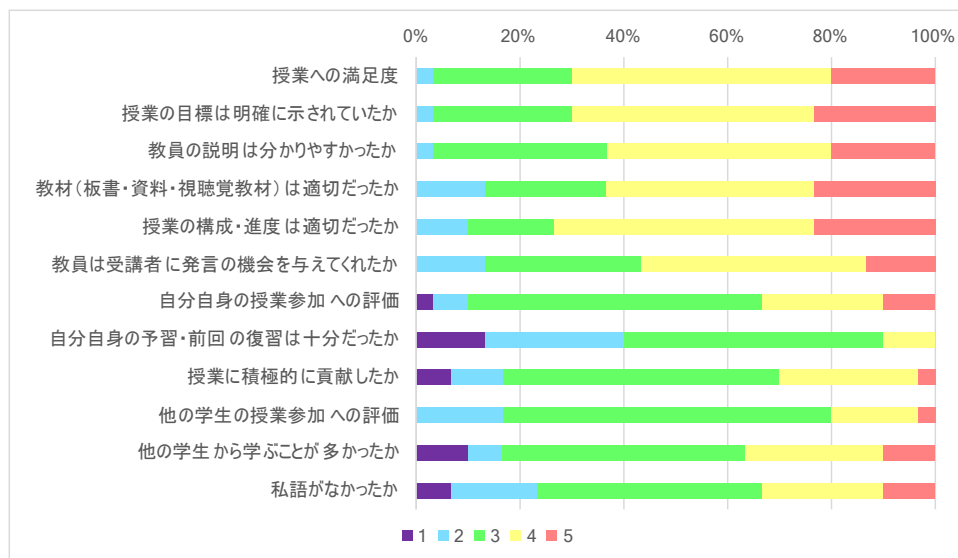
■担当者のコメント

前年度と同様に「授業への満足度」「授業の目標は明確に示されていたか」「教員の説明は分かりやすかったか」「授業の構成・進度は適切だったか」の項目では、高い評価であったと思うが、「教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか」「自分自身の授業参加への評価」「自分自身の予習・前回の復習は十分だったか」「授業に積極的に貢献したか」の項目では、中程度の評価となっている。個人の意見を発表する代わりにリアクションペーパーにおいて代替しているが、今年度はリアクションペーパーでの質問や、意見が少なかった。質問内容を工夫したりしてこれからも能動的参加する機会を作っていきたい。



氏名	佐藤 美由紀		
科目名	障害児保育Ⅱ		
実施日	2019/11/28	配当年次	2
履修者数	33	回答者数	30

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	1	8	15	6	30	
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	8	14	7	30	
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	10	13	6	30	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	4	7	12	7	30	
授業の構成・進度は適切だったか	0	3	5	15	7	30	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	4	9	13	4	30	
自分自身の授業参加への評価	1	2	17	7	3	30	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	4	8	15	3	0	30	
授業に積極的に貢献したか	2	3	16	8	1	30	
他の学生の授業参加への評価	0	5	19	5	1	30	
他の学生から学ぶことが多かったか	3	2	14	8	3	30	
私語がなかったか	2	5	13	7	3	30	

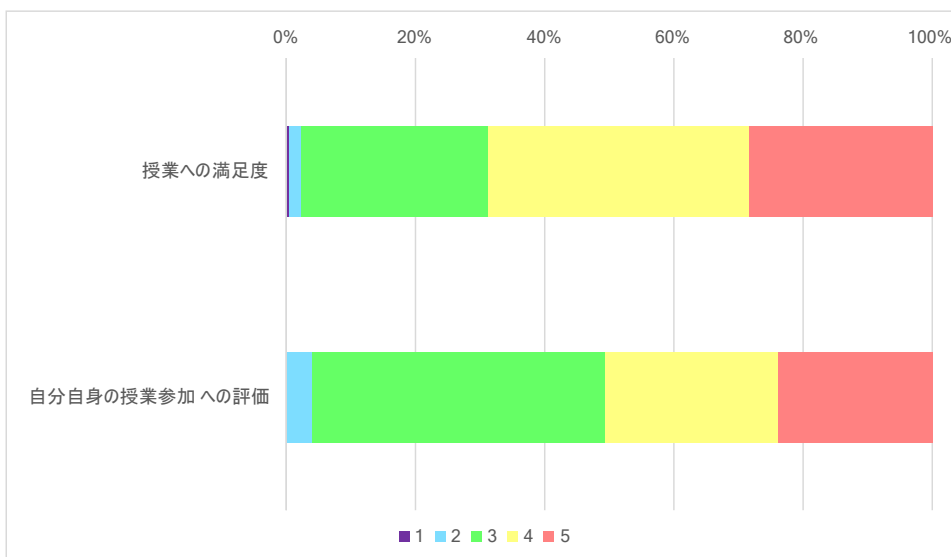


#### ■担当者のコメント

今年度は初めて様式2を使ったアンケートを行ったが、その結果を見ると「授業への満足度」「授業の目標」「教員の説明」「教材の適切さ」「授業構成・進度」等については、過半数が普通以上の評価をしているのに対して、「自分自身の授業評価」「予習・復習」「授業への積極的な貢献」「他の学生の授業参加への評価」等については、半数以上が普通以下の評価となった。15コマの講義の中で、障害児保育の歴史から障害をもつ子どもやその家族に対する支援法まで多岐にわたるテーマを毎回設定していることから、学生が受け身な授業参加になりやすことは予想できたが、今回のアンケート結果を踏まえ、次年度の授業についてはこれまで以上にグループワーク等の時間を設け、学生たちの積極性を引き出せるよう工夫していきたい。

氏名	下垣 光		
科目名	心理学		
実施日	2018/07/13	配当年次	1
履修者数	215人	回答者数	176

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	1	3	51	71	50	176	
自分自身の授業参加への評価	0	7	80	47	42	176	

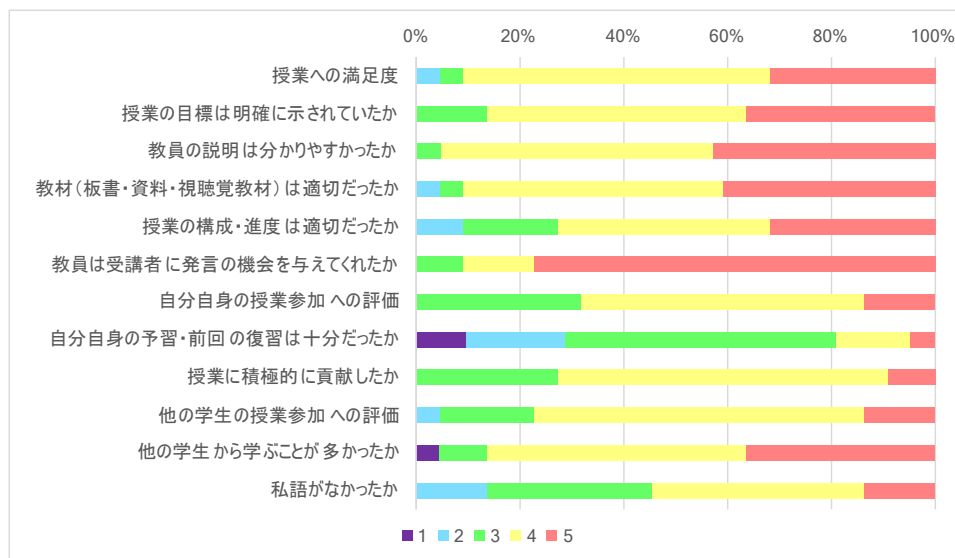


■担当者のコメント

心理学は、人間についての基礎科学なので、理解の柱とする基本的視点を学ぶことが中心となり、教科書を中心に、講義を進行しています。教科書に含まれない部分は、補助的に黒板を使用しています。板書は出来るだけ少なくする方針ですが、字が小さいなどの指摘もあるので、大きく書くように工夫をしていきたい。

氏名	曾根 直樹		
科目名	健康福祉増進論		
実施日	2019/12/20	配当年次	3
履修者数	33	回答者数	22

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	1	1	13	7	22	
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	3	11	8	22	
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	1	11	9	21	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	1	11	9	22	
授業の構成・進度は適切だったか	0	2	4	9	7	22	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	2	3	17	22	
自分自身の授業参加への評価	0	0	7	12	3	22	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	4	11	3	1	21	
授業に積極的に貢献したか	0	0	6	14	2	22	
他の学生の授業参加への評価	0	1	4	14	3	22	
他の学生から学ぶことが多かったか	1	0	2	11	8	22	
私語がなかったか	0	3	7	9	3	22	

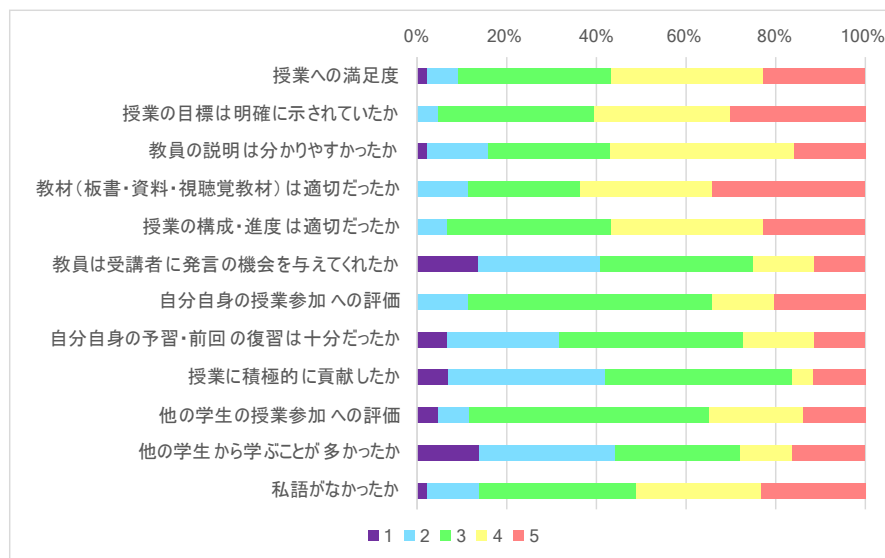


#### ■担当者のコメント

コミュニケーションが、健康と福祉の増進に資するという考え方をベースに、様々な演習に参加していただきました。チームビルディング、非言語コミュニケーションでコミュニケーションとは何かを実感していただき、エゴグラム、アサーティブ、対話的関係の自己理解を通じて自分のコミュニケーションの特徴を知り、傾聴について理解し、ロールプレイで実践していただきました。さらに、生活史年表の作成を通じて、利用者の人生の取り組みの価値を認めることを体験していただきました。小論文では、受講者の皆さんが自己と向き合い、振り返ることで、これからのご自身の課題を考えてくださいました。これからは、ご自身の課題を実践に移す段階です。しっかり取り組んでいただき、卒業後の実践に生かしていただけたいと思います。

氏名	竹内 幸子		
科目名	科学的思考IV		
実施日	2019/06/13	配当年次	1
履修者数	67	回答者数	44

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	1	3	15	15	10	44	
授業の目標は明確に示されていたか	0	2	15	13	13	43	
教員の説明は分かりやすかったか	1	6	12	18	7	44	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	5	11	13	15	44	
授業の構成・進度は適切だったか	0	3	16	15	10	44	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	6	12	15	6	5	44	
自分自身の授業参加への評価	0	5	24	6	9	44	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	3	11	18	7	5	44	
授業に積極的に貢献したか	3	15	18	2	5	43	
他の学生の授業参加への評価	2	3	23	9	6	43	
他の学生から学ぶことが多かったか	6	13	12	5	7	43	
私語がなかったか	1	5	15	12	10	43	

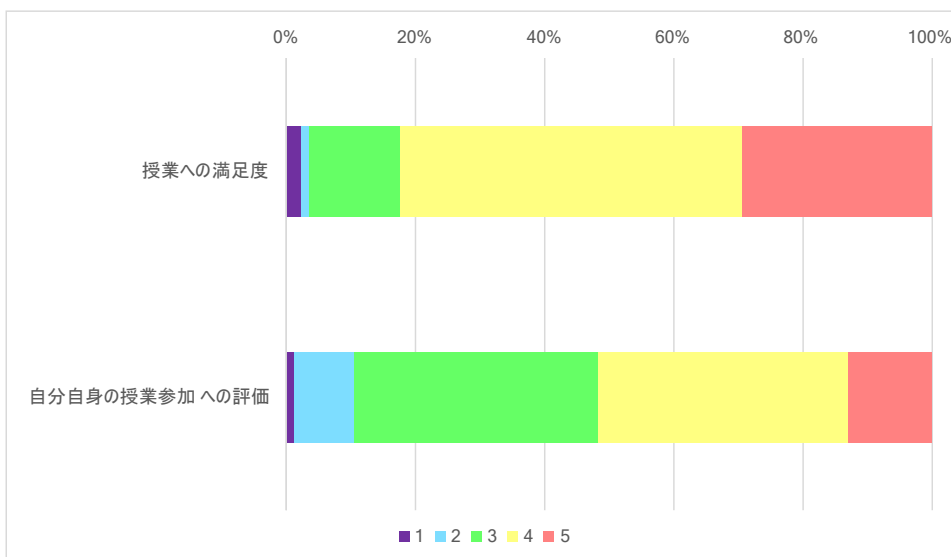


#### ■担当者のコメント

この授業には、履修する学生さんにとっては、余り得意としないであろう背理法や数式を用いた計算が出てくる。しかし、将来、根拠に基づいた行動を取れるソーシャルワーカーとなっていたくために、やはり、その考え方を身に付けておいて欲しい科目でもある。次年度も、より一層分かり易い授業に向けて工夫していきたい。また、履修者の中で教え合う時間が少なかったのかなと思われる結果であり、教員の言葉よりも学生さん同士で教え合うことにより、双方の理解が深まることもあるので、その点も考慮して進めていきたい。

氏名	田村 真広		
科目名	人間の知性VI教育原 I		
実施日	2019/07/02	配当年次	1
履修者数	99	回答者数	85

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	2	1	12	45	25	85	
自分自身の授業参加への評価	1	8	32	33	11	85	

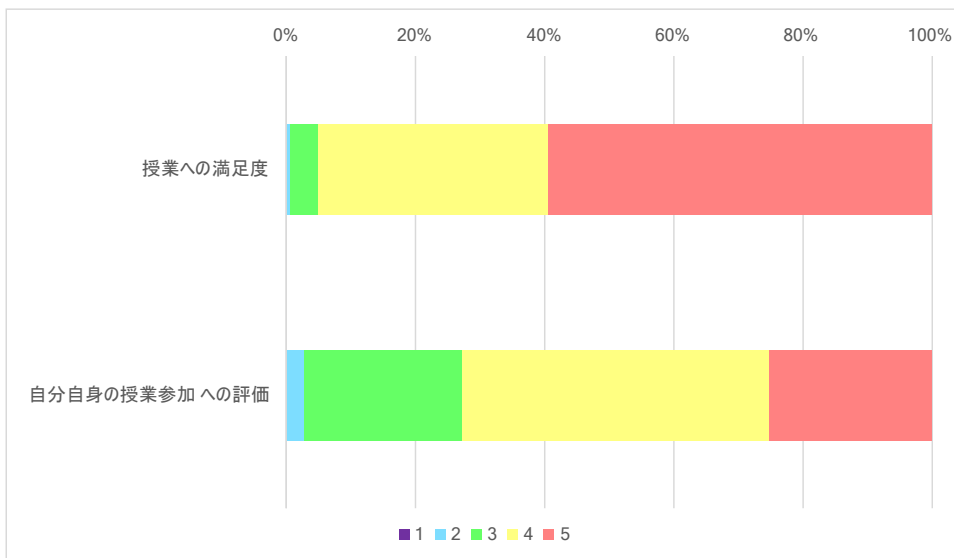


■担当者のコメント

満足度の数値で見れば及第点であろう。授業者として達成感を得た意見には、「初回の絵の話で感性を揺さぶられた。常識を疑うような授業で面白かった」「古代・近代・現代で教育を学べた」「教科書の実話がとても良く講義と折り合わせることで教育の理論や中核が分かるようになってきた」「色々な問題への見方が変わることがあり新鮮だった」「リアベの紹介は色々な意見が聞けて良かった」などがあつた。今後も続けたい。もっともな改善意見には、「バーコードリーダーの回し忘れが多い」「プリント穴埋めの飛ばしがある」「リアベを書く時間が足りない」「私語やスマホいじりの放置」などがあつた。今後は工夫改善したいが合図送りなどの協力も求めたい。「キーポイントで強調したいところがあれば、単純に“ここテストに出るよ”と言ってほしい」には絶句した。テストで始末をつけることは、教師にとっての敗北宣言である。「知らず知らずに内容に引き込まれ、気づけば自分の中の何かが変わっていた」というような授業をめざし続けたい。

氏名	鶴岡 浩樹		
科目名	医学一般		
実施日	2019/06/27	配当年次	2
履修者数	204	回答者数	143

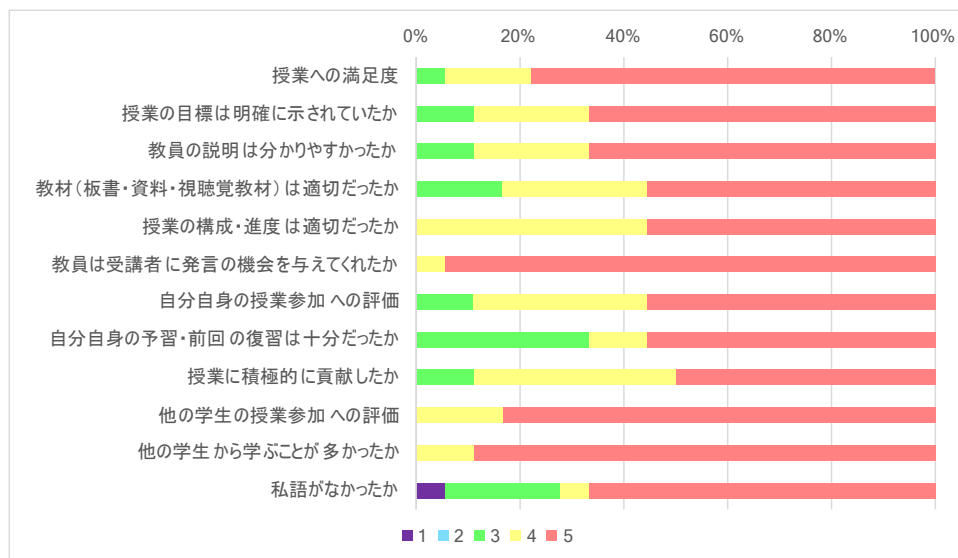
	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	1	6	51	85	143	
自分自身の授業参加への評価	0	4	35	68	36	143	



■ 担当者のコメント

氏名	贅川 信幸		
科目名	精神保健福祉援助演習		
実施日	2020/01/21	配当年次	4
履修者数	20	回答者数	18

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	1	3	14	18	
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	2	4	12	18	
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	2	4	12	18	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	3	5	10	18	
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	0	8	10	18	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	0	1	17	18	
自分自身の授業参加への評価	0	0	2	6	10	18	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	0	6	2	10	18	
授業に積極的に貢献したか	0	0	2	7	9	18	
他の学生の授業参加への評価	0	0	0	3	15	18	
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	0	2	16	18	
私語がなかったか	1	0	4	1	12	18	

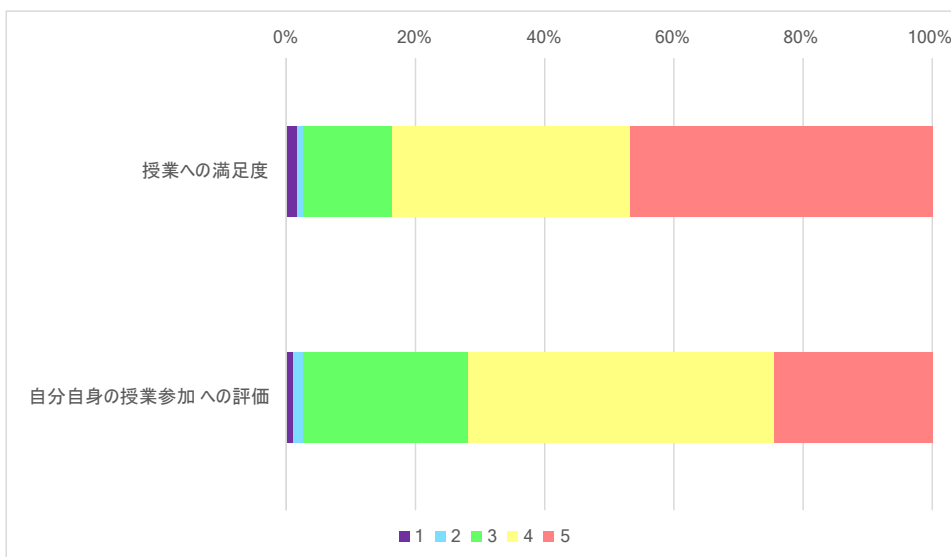


#### ■担当者のコメント

4, 5の回答が多くを占め、全体的に肯定的な評価をいただきました。この授業は援助演習科目であり、学生同士の討議を中心に展開します。「教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか」や「他の学生の授業参加への評価」「他の学生から学ぶことが多かった」の評価が高いのはその表れと考えられ、学生同士の相互作用によるディープラーニングが促進されるよう、今後も工夫していきたいと思えます。一方でこの形式は、討論への主体的な参加が求められます。他の学生の発言を聞いて学びになるというだけではなく、自ら主体的な討論者となって授業に参加できるような促しの工夫が必要かもしれません。今後は、グループワークにおけるファシリテーションの工夫を検討したいと思います。

氏名	菱沼 幹男		
科目名	地域福祉論Ⅱ		
実施日	2019/07/09	配当年次	2
履修者数	235	回答者数	189

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	3	2	26	69	88	188
自分自身の授業参加への評価	2	3	48	89	46	188



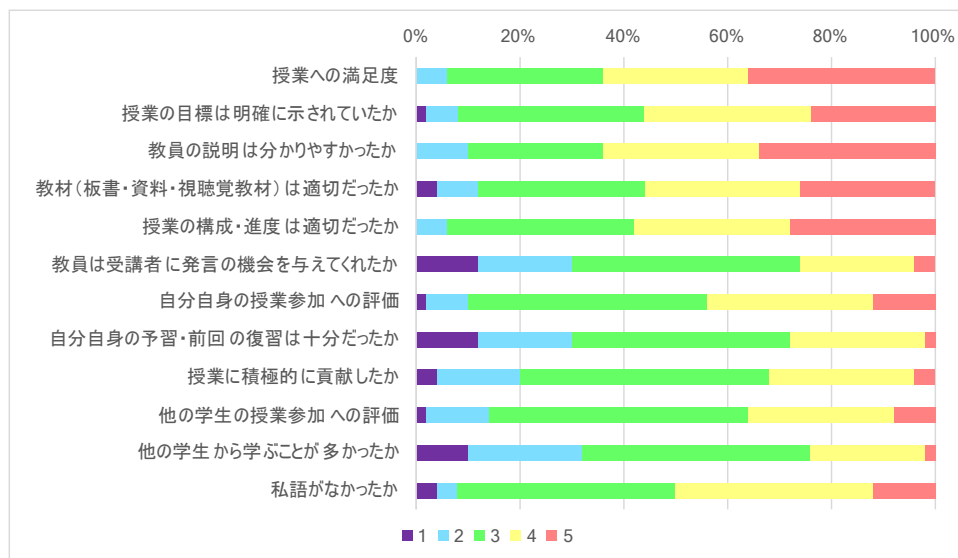
■担当者のコメント

この授業では、地域福祉の考え方を理解した上で、具体的な実践と今後の課題について学ぶことを目的として講義を行った。授業内での事例紹介に加えて、実践現場の方々にゲストスピーカーとして現代社会のリアルな状況をお話いただいた。アンケート結果の自由記述においてもこうした内容が自らの学びにつながったと回答する声が多く、今後も学生達の興味関心と今日的な社会問題を踏まえて授業に取り入れていきたい。なお、教員の話し方について、聞きやすいという意見とトーンが同じなので改善してほしいという意見がそれぞれ多かったため、今後の授業改善につなげたい。



氏名	藤岡 孝志		
科目名	問題を抱える子どもへの支援 I (児童虐待・トラウマ)		
実施日	2020/01/10	配当年次	2
履修者数	65	回答者数	50

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	3	15	14	18	50	
授業の目標は明確に示されていたか	1	3	18	16	12	50	
教員の説明は分かりやすかったか	0	5	13	15	17	50	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	2	4	16	15	13	50	
授業の構成・進度は適切だったか	0	3	18	15	14	50	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	6	9	22	11	2	50	
自分自身の授業参加への評価	1	4	23	16	6	50	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	6	9	21	13	1	50	
授業に積極的に貢献したか	2	8	24	14	2	50	
他の学生の授業参加への評価	1	6	25	14	4	50	
他の学生から学ぶことが多かったか	5	11	22	11	1	50	
私語がなかったか	2	2	21	19	6	50	

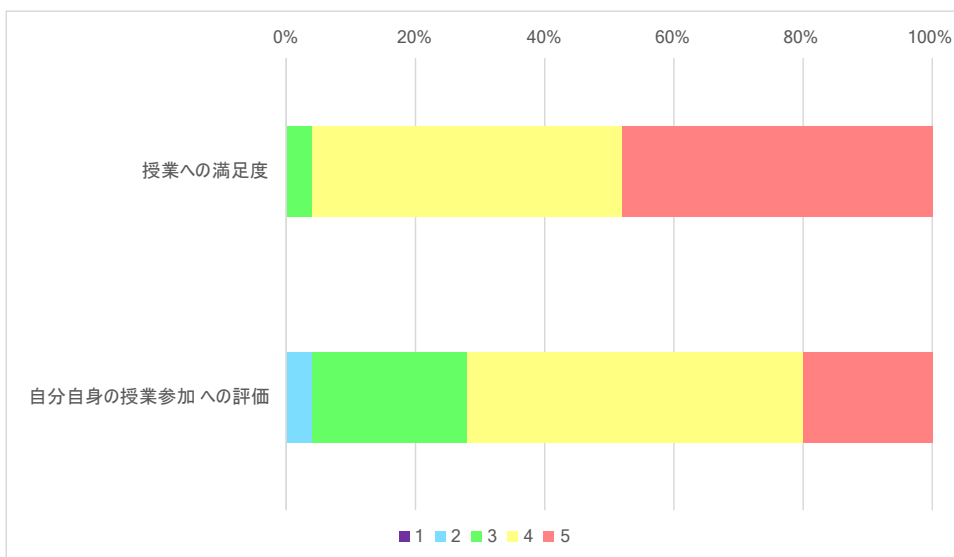


#### ■担当者のコメント

授業に対する満足度は4, 5を入れて6割を超え、3を入れると90%を超えていることから、概ね評価されたと考える。しかし、5が9割になるとの目標を掲げると遠く及ばない結果であり、さらなる精進を要する。説明の分かりやすさも、3, 4, 5で9割を超え、具体的な事例などを取り上げながらの説明などが功を奏したことが伺える。また、授業の参加についても、3までで9割を超え、概ね学生の興味関心を維持できたものと考えられる。しかし、授業への予習復習や授業への貢献などの学生による評価は、まだまだ課題として残っており、今後の授業の展開において、積極的に課題を出す、授業中に質問のやり取りを多用するなどの工夫が必要であることがアンケート結果から浮き彫りになった。次年度の課題とする。私語についても、おおむね高評価を得ている。これまでやってきているように、最初の回での注意喚起だけでなく、折に触れて私語がいかに他者への配慮に欠けた行為であるかを内在化してもらおうと伝えていくことが大事である、と考える。

氏名	壬生 尚美		
科目名	介護総合演習Ⅳ		
実施日	2019/07/22	配当年次	4
履修者数	25	回答者数	25

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	1	12	12	25
自分自身の授業参加への評価	0	1	6	13	5	25

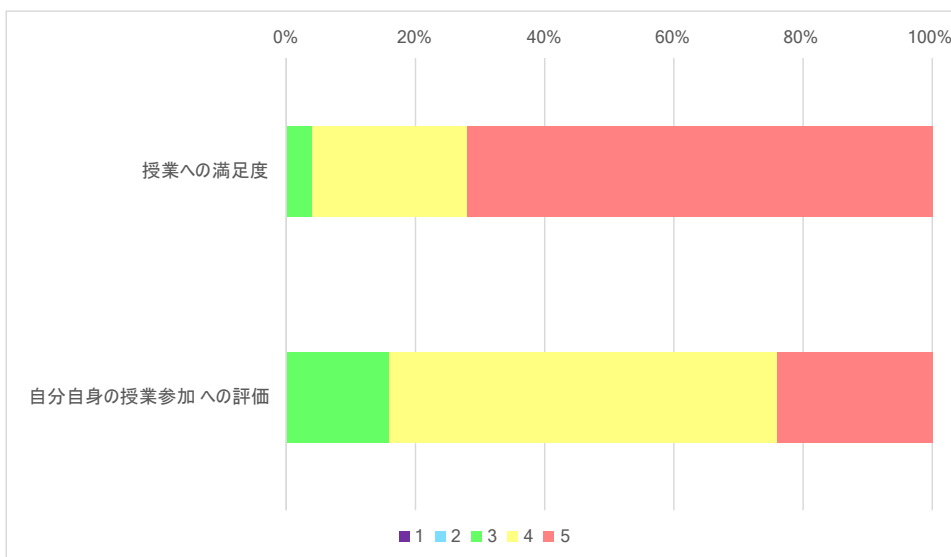


#### ■担当者のコメント

本科目は、障がい者支援実習と居宅介護実習の準備、実習中の帰校日指導に位置づけられ、学生の直面する実習課題について、的確に対処する必要性のある科目である。そのため、グループディスカッションを多く取り入れ情報共有する中から、次の実習に生かせるように心がけた。学生のコメントにあるように、他の学生の実習体験の学びを自身の実習で取り入れて次の実習で取り組むことができ、充実した実習につながった点は評価できる。しかしながら、2つの実習を次々に行わなければならない、居宅実習は前期終了まで続くため、十分な実習の振り返りを行うことができずに次の実習に向かわなければならない。15回の授業を見通して何を今すべきかを学生に意識づけることが大切であり、時間制約がある中で、今後は、更に1つ1つの実践に対して考えを深めることができるような授業内容の工夫を行っていきたい。

氏名	宮島 清		
科目名	子どものケースマネジメント		
実施日	2019/12/06	配当年次	3
履修者数	37	回答者数	25

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	1	6	18	25
自分自身の授業参加への評価	0	0	4	15	6	25

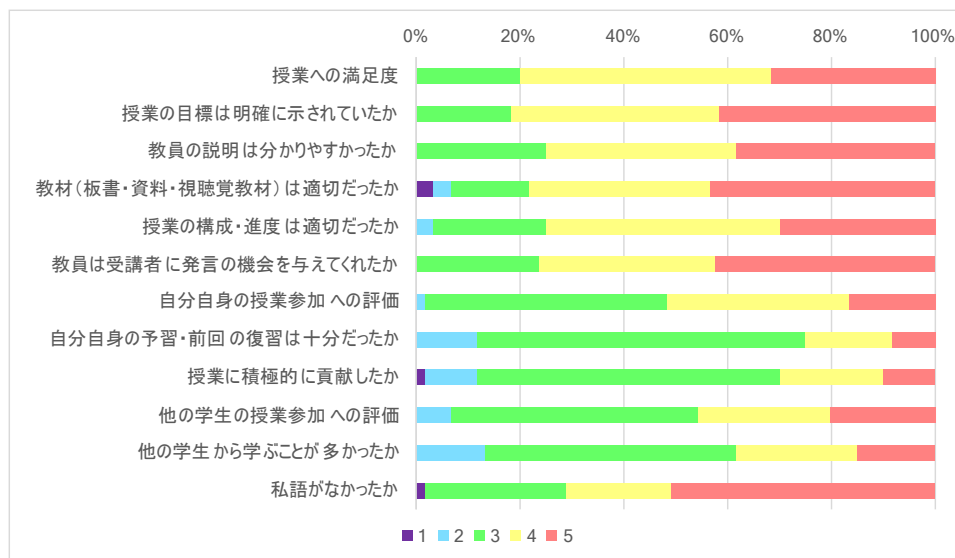


#### ■担当者のコメント

3年生の11月からのタイミングで授業を持たせて頂いていることを幸いに感じています。社会福祉士のための実習が終わり、現場に触れた後のタイミングで、①今までの授業で学んで来たこと、②現場に触れて思うこと、③1年余り後に職業人として現場に立つ予定であること、これらのことをこの講義・演習(事例検討をしたグループ討議)を通じて、統合することに寄与できたらと考えて取り組んでいます。自分の考えを述べることに抵抗感がなくなったというコメントは非常に嬉しいものです。他の人の意見を通じて、考え方が広がったというコメントもありがたい。事例を毎回4例程準備していますが、実際に扱うのは1~2例です。これは、もともそのようにしているもので、やり残しではありません。授業中にスマホを見ることも、講義で取り上げている事例や制度について、調べることは、問題はありません。

氏名	村田 文世		
科目名	地方自治論		
実施日	2019/07/23	配当年次	3
履修者数	86	回答者数	60

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	12	29	19	60
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	11	24	25	60
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	15	22	23	60
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	2	2	9	21	26	60
授業の構成・進度は適切だったか	0	2	13	27	18	60
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	14	20	25	59
自分自身の授業参加への評価	0	1	28	21	10	60
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	7	38	10	5	60
授業に積極的に貢献したか	1	6	35	12	6	60
他の学生の授業参加への評価	0	4	28	15	12	59
他の学生から学ぶことが多かったか	0	8	29	14	9	60
私語がなかったか	1	0	16	12	30	59

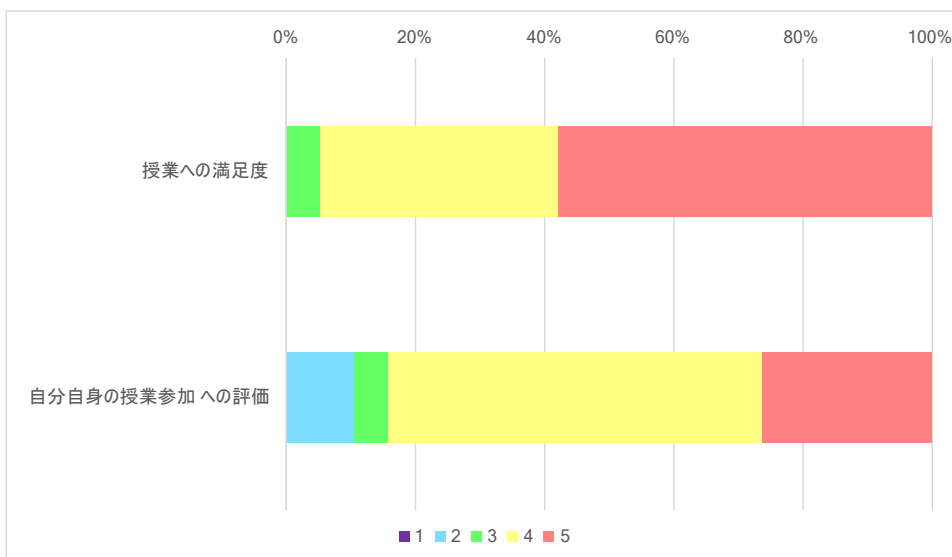


#### ■担当者のコメント

授業内容については、毎回レジジュメの使用、行政資料や住民自治に関するDVD視聴、新聞資料等の具体的な教材を利用して、地方自治をめぐる様々な動向について学生の理解促進、興味喚起を試みた。アンケート結果からは概ね高い満足度を得ることができた。演習形式による財政データの分析、DVD視聴後のディスカッションやリアクションペーパーの共有化を通して、学生の発言や意見交換の場を提供した。遅刻や私語も少なく静寂な教育環境を確保できたが、一方で、積極的な授業貢献には課題も残り、今後はレポート課題などを用いた予習・復習の機会や、身近な自治体の諸活動に参加する機会などを促したいと考える。

氏名	森 千佐子		
科目名	生活支援技術 I		
実施日	2019/07/19	配当年次	1
履修者数	19	回答者数	19

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	1	7	11	19	
自分自身の授業参加への評価	0	2	1	11	5	19	



#### ■担当者のコメント

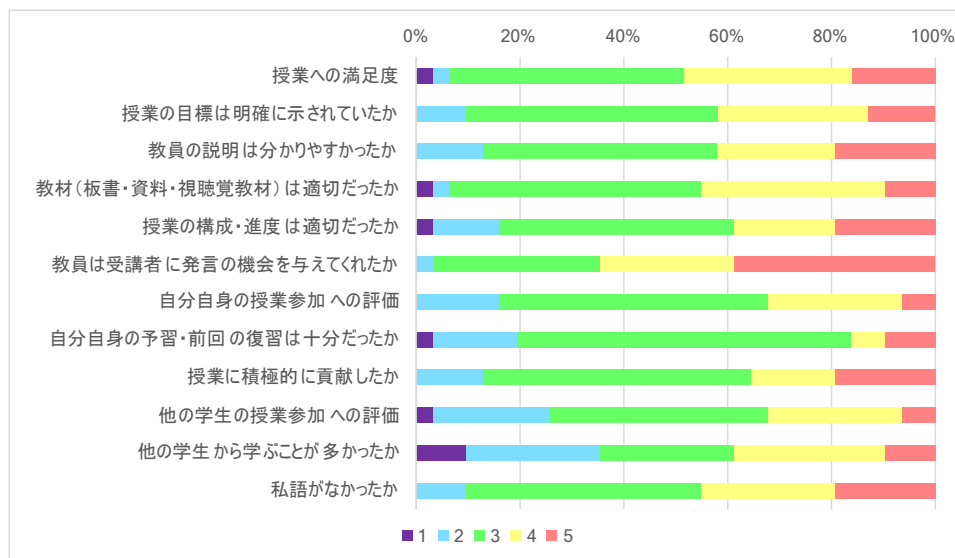
授業の満足度については、ほとんどの学生が4または5と評価しているが、自分自身の参加への評価では、2が2名おり、他の学生も復習、発言、技術習得に努力が必要であるとしている。また、技術演習の時間が足りないという意見があった。限られた授業時間の中で技術演習の時間を増やすことは難しく、今年度は実技試験前に学生の空き時間を使って、練習の時間を作ったが、技術習得に向けて学生が復習するための工夫を考えたい。

技術演習では、視聴覚教材の視聴やデモンストレーションによって全体の動きをイメージした後、手順に沿って行う方法が、今年度も理解しやすかったようである。しかし、今年度はTAがいなかったため、デモンストレーション時には学生に利用者役をしてもらったり、人形を使ったりしたが、人形は関節が外れやすく、スムーズに動かせないため、検討が必要である。また、使用物品等の検討も行い、整備したい。

## 2-2. 非常勤講師等

氏名	相原 勝		
科目名	初級ドイツ語A		
実施日	2019/07/15	配当年次	1
履修者数	41	回答者数	31

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	1	1	14	10	5	31	
授業の目標は明確に示されていたか	0	3	15	9	4	31	
教員の説明は分かりやすかったか	0	4	14	7	6	31	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	1	15	11	3	31	
授業の構成・進度は適切だったか	1	4	14	6	6	31	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	1	10	8	12	31	
自分自身の授業参加への評価	0	5	16	8	2	31	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	5	20	2	3	31	
授業に積極的に貢献したか	0	4	16	5	6	31	
他の学生の授業参加への評価	1	7	13	8	2	31	
他の学生から学ぶことが多かったか	3	8	8	9	3	31	
私語がなかったか	0	3	14	8	6	31	

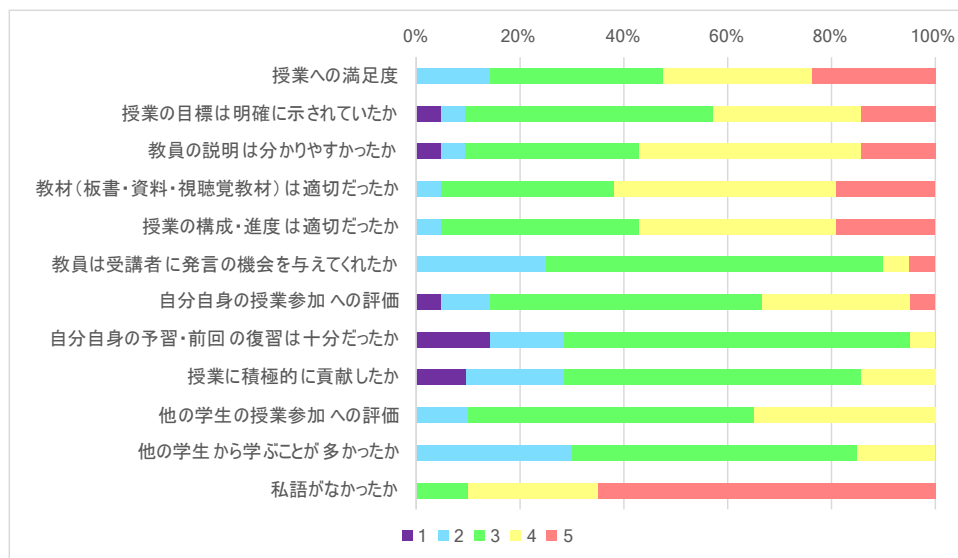


■担当者のコメント

今後とも、わかりやすい授業をこころげたいと思います。

氏名	阿部 美樹雄		
科目名	福祉と経営(施設) / 施設処遇法		
実施日	2019/12/19	配当年次	3
履修者数	37	回答者数	21

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	3	7	6	5	21	
授業の目標は明確に示されていたか	1	1	10	6	3	21	
教員の説明は分かりやすかったか	1	1	7	9	3	21	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	7	9	4	21	
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	8	8	4	21	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	5	13	1	1	20	
自分自身の授業参加への評価	1	2	11	6	1	21	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	3	3	14	1	0	21	
授業に積極的に貢献したか	2	4	12	3	0	21	
他の学生の授業参加への評価	0	2	11	7	0	20	
他の学生から学ぶことが多かったか	0	6	11	3	0	20	
私語がなかったか	0	0	2	5	13	20	



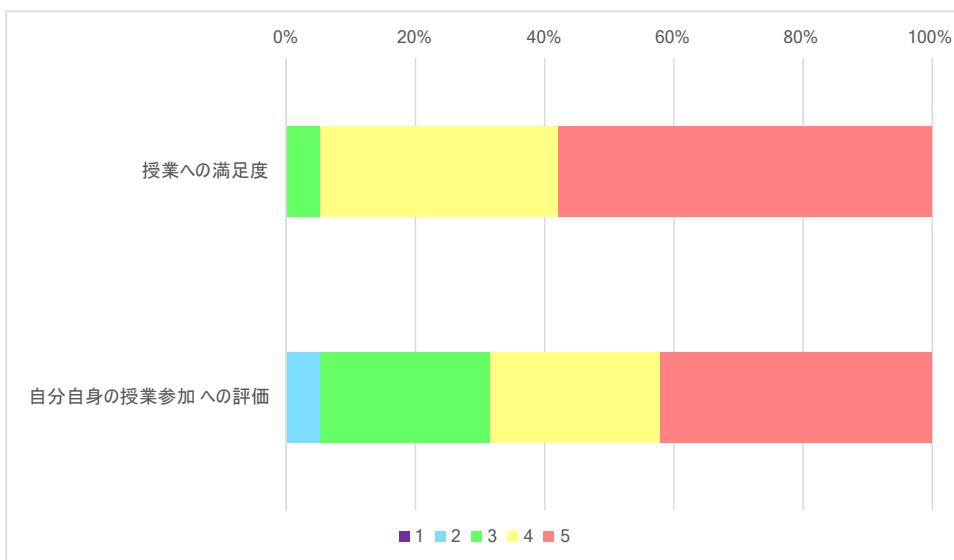
■担当者のコメント

今後も障害者福祉に関する諸問題をわかりやすく解説することや、支援者のあり方、養成の仕方等についての考えを述べていきたいと考えている。



氏名	天沼 陽子		
科目名	聴覚障害児指導法Ⅱ		
実施日	2019/07/16	配当年次	3
履修者数	20	回答者数	20

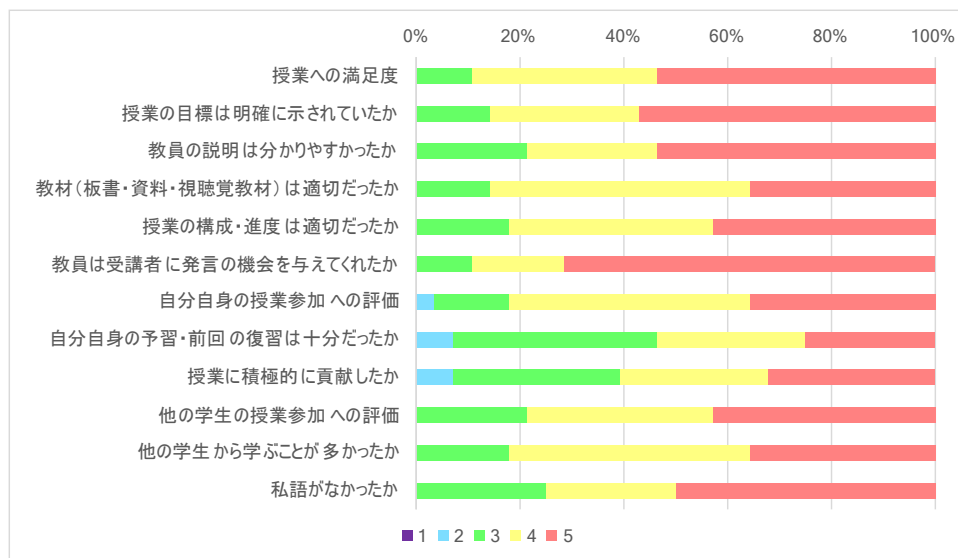
	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	1	7	11	19	
自分自身の授業参加への評価	0	1	5	5	8	19	



■担当者のコメント

氏名	池田 幸也		
科目名	特別活動研究		
実施日	2019/07/22	配当年次	2
履修者数	30	回答者数	28

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	3	10	15	28
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	4	8	16	28
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	6	7	15	28
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	4	14	10	28
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	5	11	12	28
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	3	5	20	28
自分自身の授業参加への評価	0	1	4	13	10	28
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	2	11	8	7	28
授業に積極的に貢献したか	0	2	9	8	9	28
他の学生の授業参加への評価	0	0	6	10	12	28
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	5	13	10	28
私語がなかったか	0	0	7	7	14	28

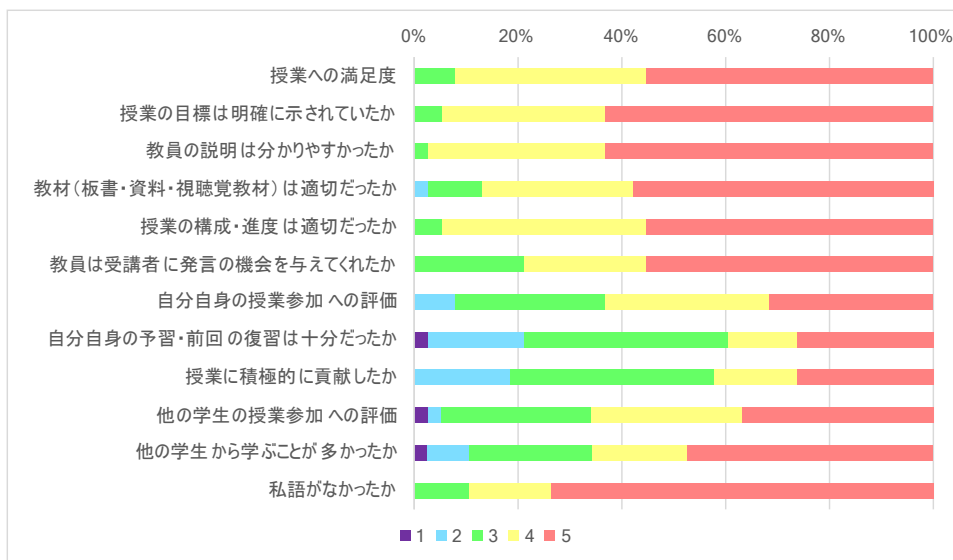


■担当者のコメント

全体として学生が積極的に講義に参加していたと思います。その結果、講義やワークにおける発言の機会を学生自身が生かすことができたと思います。授業者としての課題として、授業の進度に応じた課題や宿題を提示し、学生の事前事後の学習機会を促すことが必要だと思いました。

氏名	石川 輝吉		
科目名	人間の知性Ⅷ		
実施日	2019/07/18	配当年次	1
履修者数	40	回答者数	38

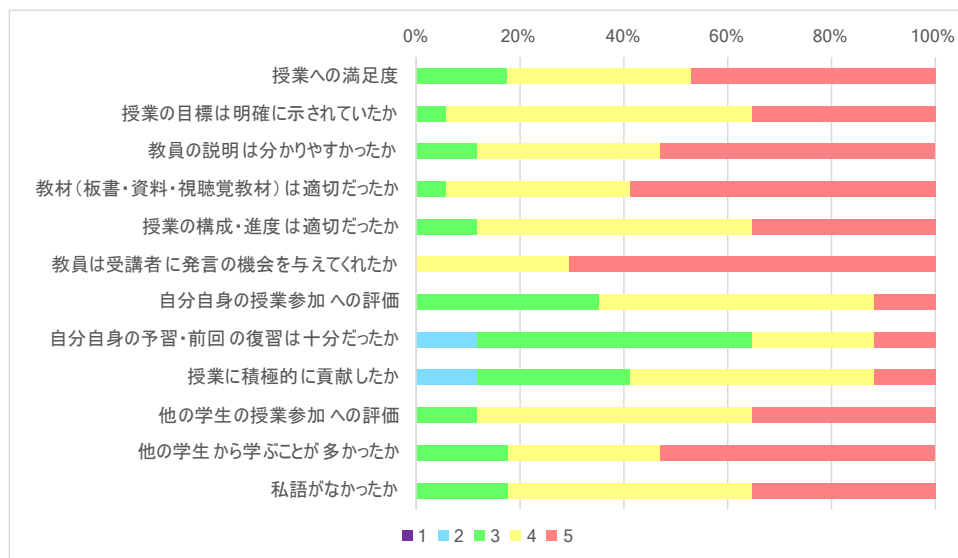
	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	3	14	21	38	
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	2	12	24	38	
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	1	13	24	38	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	4	11	22	38	
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	2	15	21	38	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	8	9	21	38	
自分自身の授業参加への評価	0	3	11	12	12	38	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	7	15	5	10	38	
授業に積極的に貢献したか	0	7	15	6	10	38	
他の学生の授業参加への評価	1	1	11	11	14	38	
他の学生から学ぶことが多かったか	1	3	9	7	18	38	
私語がなかったか	0	0	4	6	28	38	



■担当者のコメント

氏名	井堂 有子		
科目名	国際社会福祉論		
実施日	2019/07/26	配当年次	1
履修者数	21	回答者数	17

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	3	6	8	17	
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	1	10	6	17	
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	2	6	9	17	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	1	6	10	17	
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	2	9	6	17	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	0	5	12	17	
自分自身の授業参加への評価	0	0	6	9	2	17	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	2	9	4	2	17	
授業に積極的に貢献したか	0	2	5	8	2	17	
他の学生の授業参加への評価	0	0	2	9	6	17	
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	3	5	9	17	
私語がなかったか	0	0	3	8	6	17	

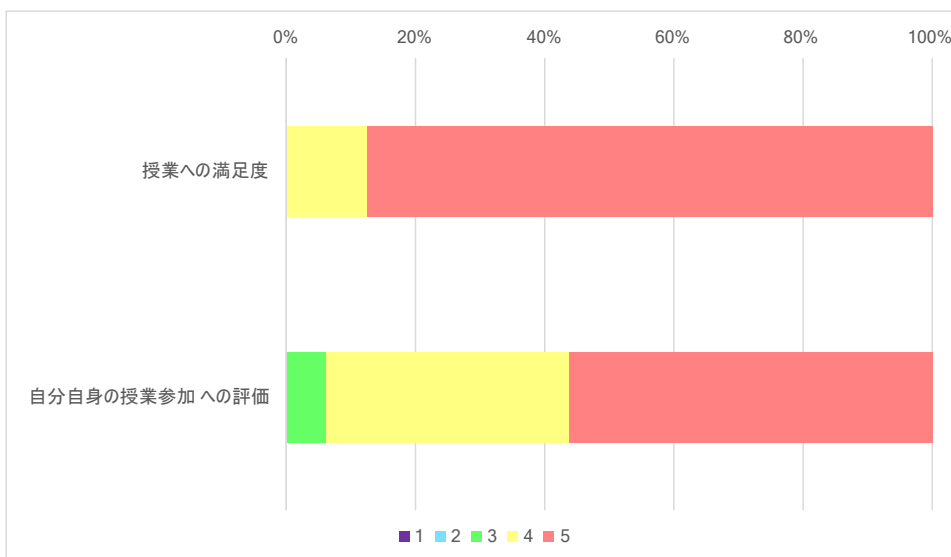


■担当者のコメント

15回の講義としては、課題提出やグループワーク、そしてグループ発表とディベート等、かなりディマンディングな構成となっていたかもしれませんが、途中で断念せず最後まで貫徹された履修者の皆さん、本当にお疲れ様でした。今年のグループ発表のテーマとしては、日本と国際社会を繋ぐ現在進行形の課題として「沖縄」を取り上げました。受講者の皆さんは、歴史や文化、子どもの貧困、女性を取り巻く沖縄の問題、サンゴをめぐる環境問題、そして基地問題について、全体的にレベルの高いプレゼン資料を準備して下さいました。いずれも非常に難しい問題であり、全員が苦勞しながらの発表でしたが、クラス全体に大きな学びの機会を与えて下さいました。今後も国際問題に関心を持ち続けていて頂きたいと強く願う次第です。

氏名	伊藤 美緒		
科目名	初級日本手話C		
実施日	2019/07/19	配当年次	1
履修者数	16	回答者数	16

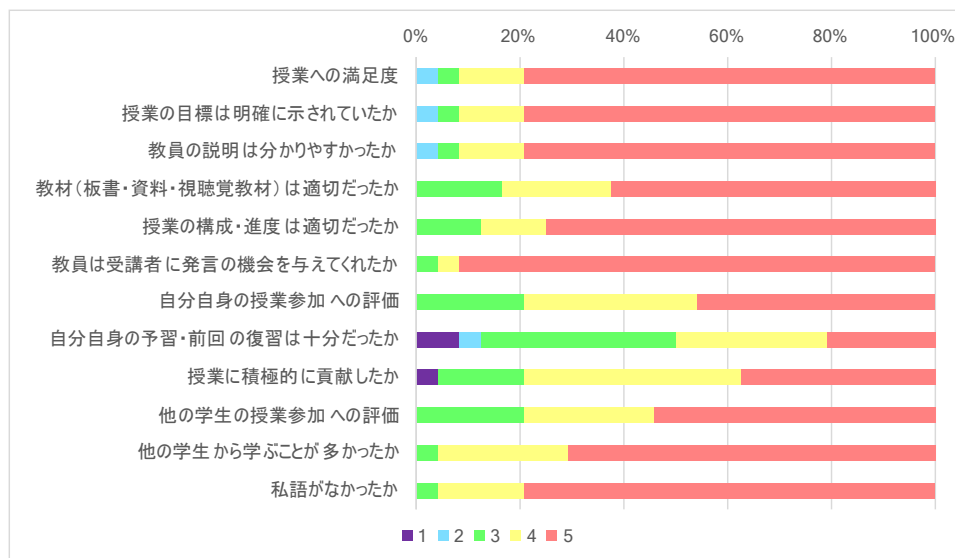
	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	0	2	14	16	
自分自身の授業参加への評価	0	0	1	6	9	16	



■担当者のコメント

氏名	稲垣 美加子		
科目名	家族ケースワーク・家族療法		
実施日	2019/07/13	配当年次	3
履修者数	40	回答者数	24

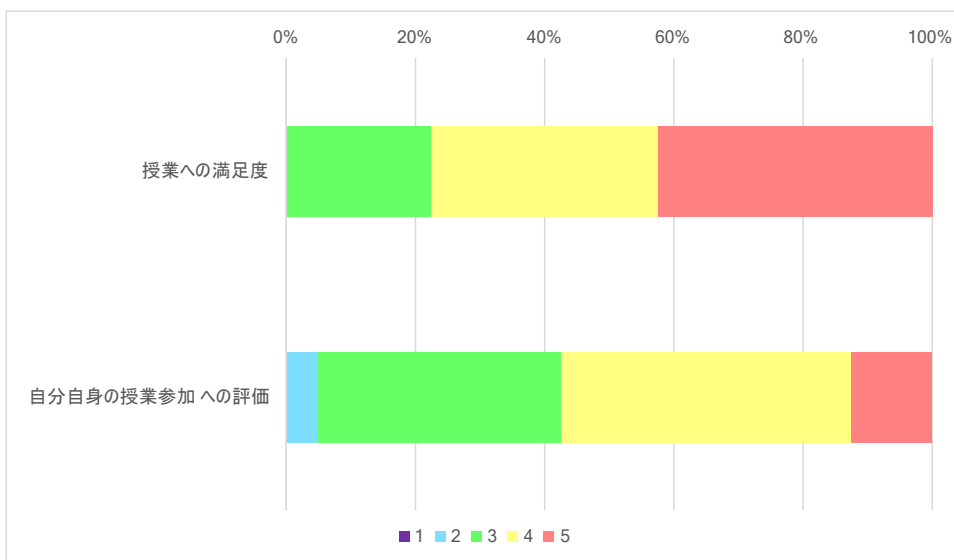
	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	1	1	3	19	24	
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	1	3	19	24	
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	1	3	19	24	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	4	5	15	24	
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	3	3	18	24	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	1	1	22	24	
自分自身の授業参加への評価	0	0	5	8	11	24	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	1	9	7	5	24	
授業に積極的に貢献したか	1	0	4	10	9	24	
他の学生の授業参加への評価	0	0	5	6	13	24	
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	1	6	17	24	
私語がなかったか	0	0	1	4	19	24	



■担当者のコメント

氏名	岩淵 美和		
科目名	老人・障害者の心理Ⅱ		
実施日	2020/01/07	配当年次	2
履修者数	48	回答者数	40

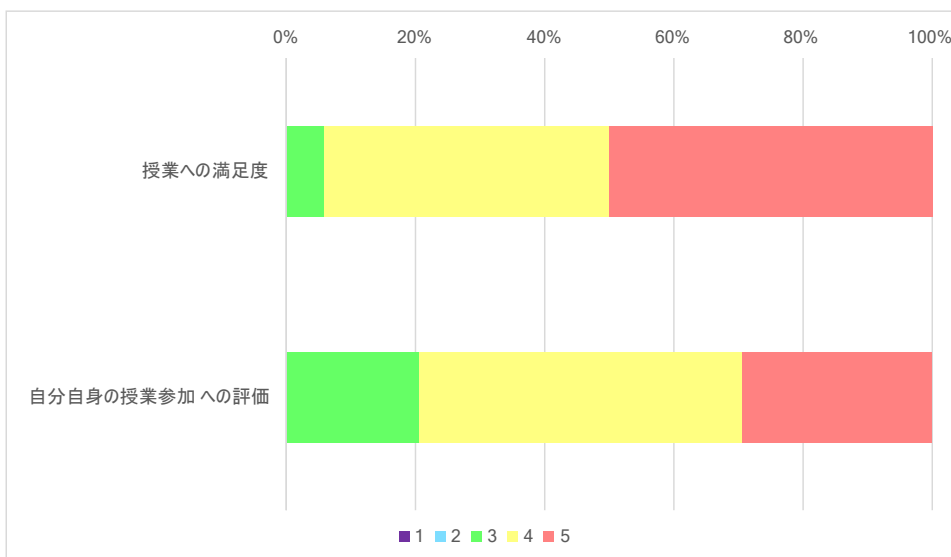
	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	9	14	17	40	
自分自身の授業参加への評価	0	2	15	18	5	40	



■担当者のコメント

氏名	請川 滋大		
科目名	保育内容総論		
実施日	2019/07/27	配当年次	2
履修者数	34	回答者数	34

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	2	15	17	34	
自分自身の授業参加への評価	0	0	7	17	10	34	



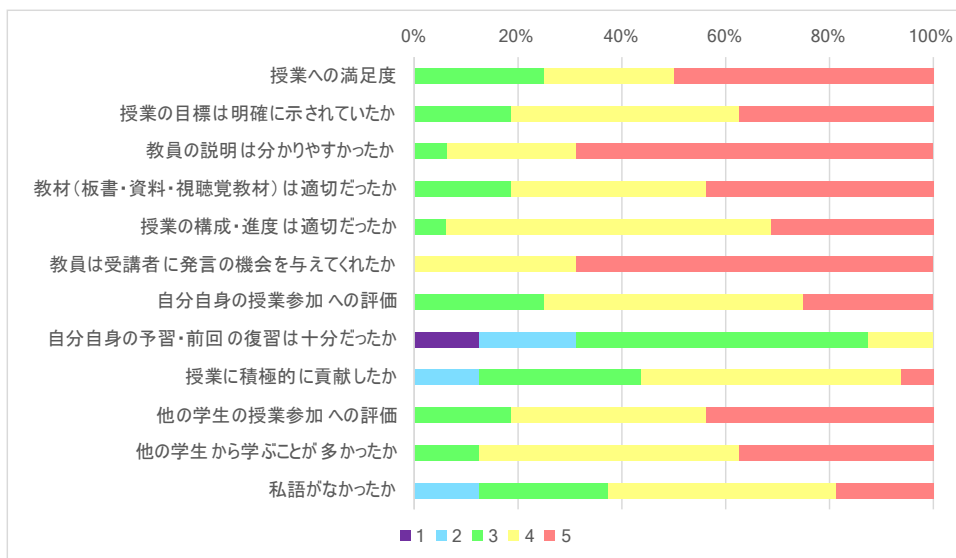
■担当者のコメント

今回の意見を参考に、今後はより学生の皆さんが参加度の高まる授業を検討したいと思います。



氏名	大島 千帆		
科目名	住環境支援法		
実施日	2019/12/13	配当年次	3
履修者数	35	回答者数	16

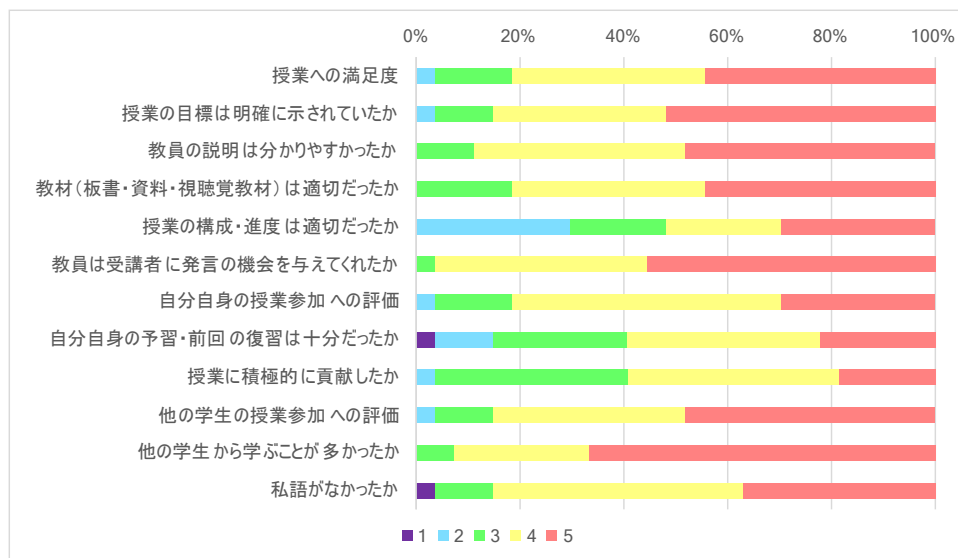
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	4	4	8	16
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	3	7	6	16
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	1	4	11	16
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	3	6	7	16
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	1	10	5	16
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	0	5	11	16
自分自身の授業参加への評価	0	0	4	8	4	16
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	3	9	2	0	16
授業に積極的に貢献したか	0	2	5	8	1	16
他の学生の授業参加への評価	0	0	3	6	7	16
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	2	8	6	16
私語がなかったか	0	2	4	7	3	16



■担当者のコメント

氏名	大滝 修		
科目名	生徒指導論		
実施日	2019/06/25	配当年次	3
履修者数	32	回答者数	27

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	1	4	10	12	27
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	3	9	14	27
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	3	11	13	27
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	5	10	12	27
授業の構成・進度は適切だったか	0	8	5	6	8	27
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	1	11	15	27
自分自身の授業参加への評価	0	1	4	14	8	27
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	3	7	10	6	27
授業に積極的に貢献したか	0	1	10	11	5	27
他の学生の授業参加への評価	0	1	3	10	13	27
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	2	7	18	27
私語がなかったか	1	0	3	13	10	27

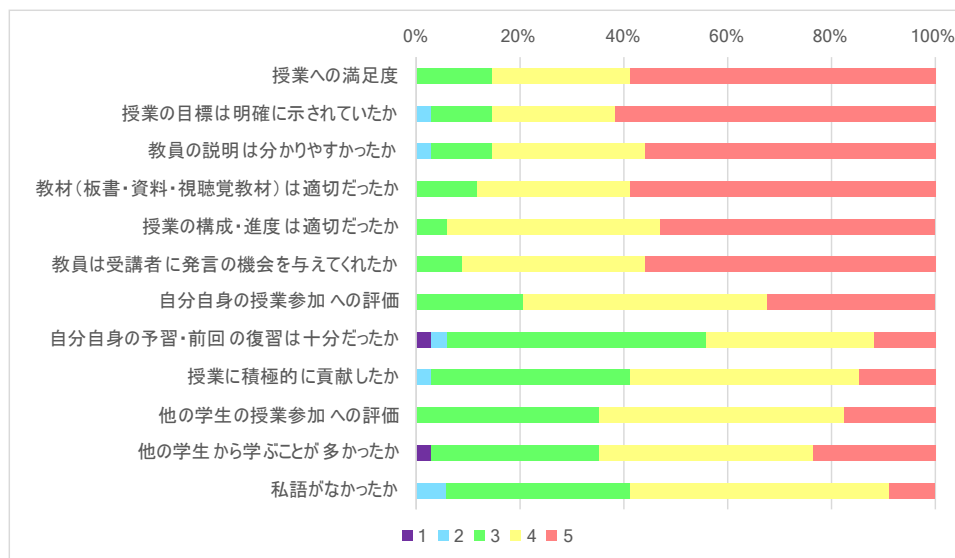


#### ■担当者のコメント

昨年度の教職概論と併せて履修する学生が多いましたが、生徒指導論のみの履修の学生との意識や学習経験の段差を考慮した教材構成や進め方の工夫の必要性を感じました。教職を真剣に志し熱心に授業参加する学生が多く励まされます。一方、欠席の多い学生が目立ち、グループ・ワーク中心の授業の支障や、課題・振り返りレポートの低評価が生じました。欠席について、1時間ごとの事後指導と工夫の重要性を感じました。

氏名	岡田 早苗		
科目名	保育者論		
実施日	2019/07/12	配当年次	2
履修者数	44	回答者数	34

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	5	9	20	34
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	4	8	21	34
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	4	10	19	34
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	4	10	20	34
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	2	14	18	34
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	3	12	19	34
自分自身の授業参加への評価	0	0	7	16	11	34
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	1	17	11	4	34
授業に積極的に貢献したか	0	1	13	15	5	34
他の学生の授業参加への評価	0	0	12	16	6	34
他の学生から学ぶことが多かったか	1	0	11	14	8	34
私語がなかったか	0	2	12	17	3	34

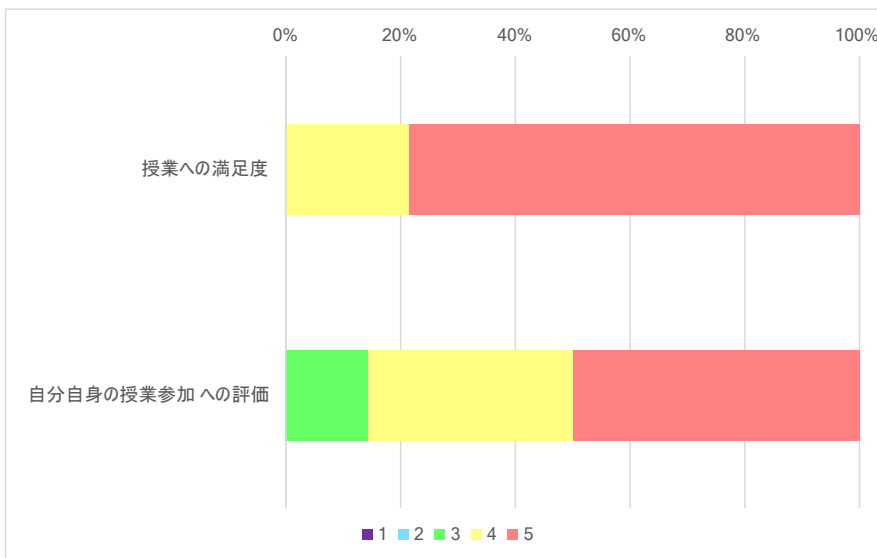


■担当者のコメント

授業の満足度について数値としては過半数が4及び5であったが、課題と疑問が多かった今期であった。学生の理解度を高めるために、授業の構成のあり方、演習などの方法、理論の伝え方など、考え直す時期であるかと思われる。その年の学生の様子をよく捉え、それに合わせてその都度軌道修正していく必要があると感じる。

氏名	小口 偉		
科目名	保育表現技術 I C1(造形)		
実施日	2019/11/23	配当年次	2
履修者数	17	回答者数	14

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	0	3	11	14
自分自身の授業参加への評価	0	0	2	5	7	14



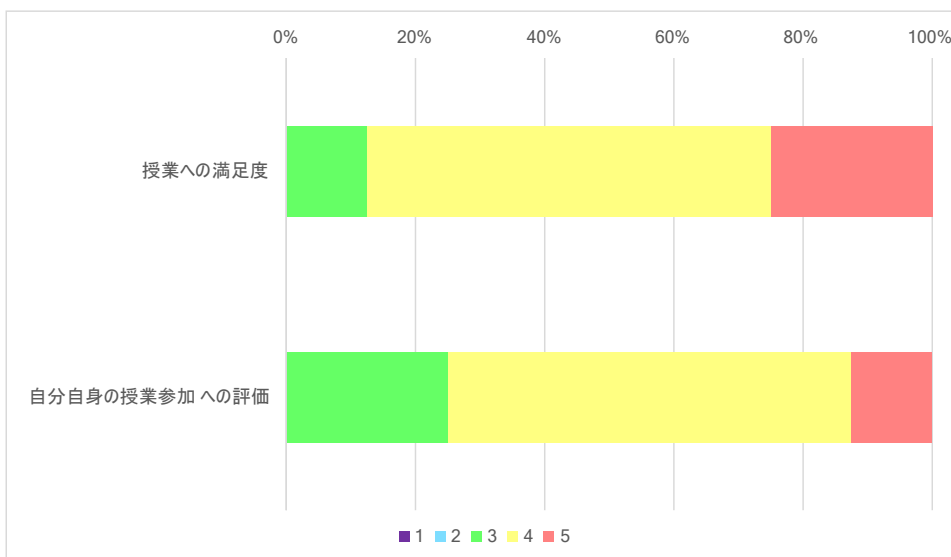
#### ■担当者のコメント

授業の満足度について4と5のポイントが多く、学生のコメントも前向きである。「自由にできる」、「自分の考えで自由に作れる」との学生コメントが表すように、自分自身が考え表現しようとするのが満足度につながっているのだから考える。授業中の学生の姿は非常に主体的であった。今後の授業においてもそのような学生の姿になるような授業を心掛けたい。

授業参加についての評価では3を2名が回答した。課題の提出がないということはなかったが、1限に遅刻する学生が若干見られた。今後は遅刻欠席を減らす対応について課題としていきたい。

氏名	奥山 けい子		
科目名	人間の知性X I		
実施日	2019/07/12	配当年次	1
履修者数	13	回答者数	8

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	1	5	2	8	
自分自身の授業参加への評価	0	0	2	5	1	8	

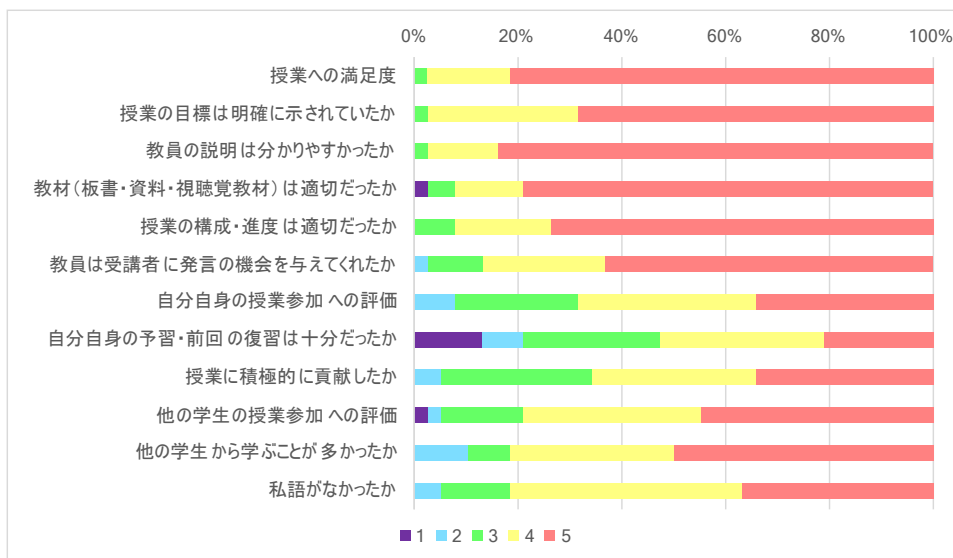


#### ■担当者のコメント

回答した学生たちが、授業参加の自己評価に積極的であることを、うれしく思います。毎週、異なる地域と時代の音楽を聴いているので、想像を越えることも多いと思いますが、変化を楽しんでくれたようです。学期末に提出してくれたレポートを読みましたが、論説文の引用法や意見表明の作法にもっと習熟すれば、自分の意見がはっきりとわかり、自己形成に一段と役立つであろう学生もいます。期待しております。

氏名	小野川 晶子		
科目名	子どもの保健 I		
実施日	2019/07/19	配当年次	3
履修者数	38	回答者数	38

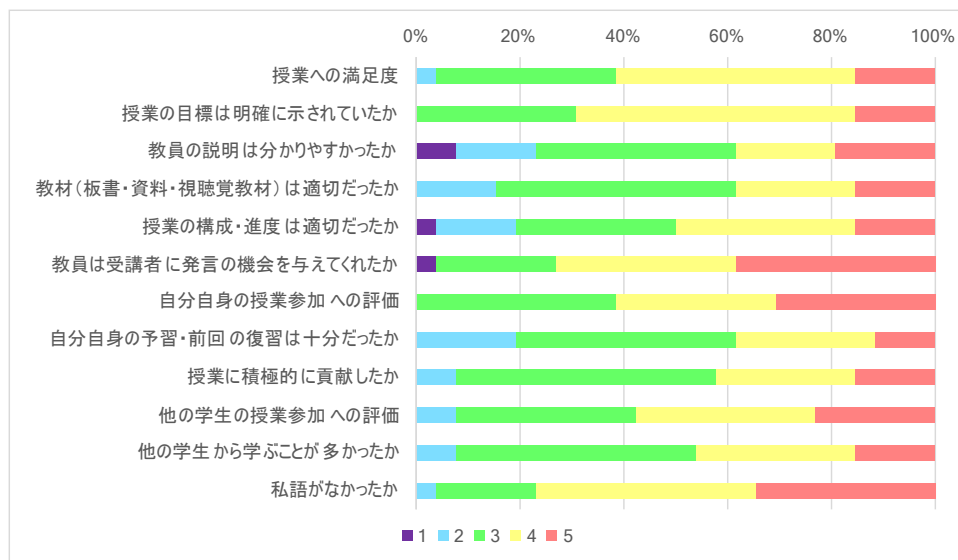
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	1	6	31	38
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	1	11	26	38
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	1	5	31	37
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	0	2	5	30	38
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	3	7	28	38
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	1	4	9	24	38
自分自身の授業参加への評価	0	3	9	13	13	38
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	5	3	10	12	8	38
授業に積極的に貢献したか	0	2	11	12	13	38
他の学生の授業参加への評価	1	1	6	13	17	38
他の学生から学ぶことが多かったか	0	4	3	12	19	38
私語がなかったか	0	2	5	17	14	38



■担当者のコメント

氏名	風間 みどり		
科目名	発達心理学Ⅱ		
実施日	2019/07/17	配当年次	2
履修者数	30	回答者数	26

	no	← 評価 →			yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	1	9	12	4	26
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	8	14	4	26
教員の説明は分かりやすかったか	2	4	10	5	5	26
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	4	12	6	4	26
授業の構成・進度は適切だったか	1	4	8	9	4	26
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	1	0	6	9	10	26
自分自身の授業参加への評価	0	0	10	8	8	26
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	5	11	7	3	26
授業に積極的に貢献したか	0	2	13	7	4	26
他の学生の授業参加への評価	0	2	9	9	6	26
他の学生から学ぶことが多かったか	0	2	12	8	4	26
私語がなかったか	0	1	5	11	9	26

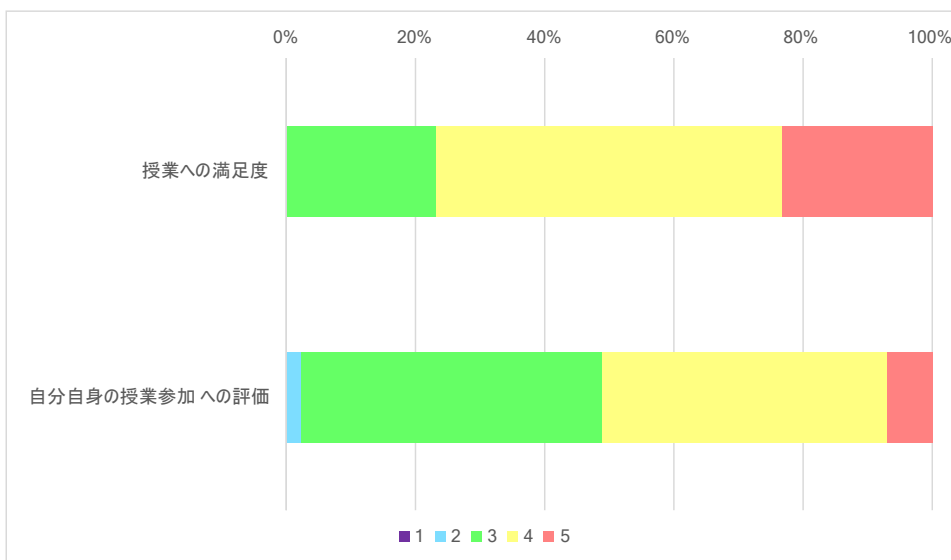


#### ■担当者のコメント

学生たちは授業に真剣に取り組み、私語もほとんどなく、授業内試験(計3回)及びコメントペーパーにも一生懸命取り組んでいました。授業内容は、心理学の理論だけではなく、心理学の最新・重要な実証研究データについて、グラフや表から知見を読み取る能力を高められるよう授業を構成しました。そのことにより、学生たちが少し難しく感じた面があったかと考えております。今後は、心理学的知見を読み取る能力を高めつつ、よりわかりやすい授業への取り組みを心がけていきたいと思っております。学生の発言する機会については、今年度はこれまでに比べて改善できたと考えております。今後は、「教師－学生－他の学生間の相互作用」など他の学生の考えを通して、自分の考えを深めることのできるinter activeな授業を心がけていきたいと思っております。

氏名	梶野 光信		
科目名	ボランティアと社会教育		
実施日	2019/07/23	配当年次	3
履修者数	47	回答者数	43

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	10	23	10	43
自分自身の授業参加への評価	0	1	20	19	3	43



■担当者のコメント

○学生たちが持っているボランティアに関する固定的なイメージを打破するために、DVD等映像教材を活用し授業を実施した。アンケート結果を見ると、好評だった。学生たちに社会のリアルをどのように理解してもらうか、その手法を考えるよいきっかけとなった。

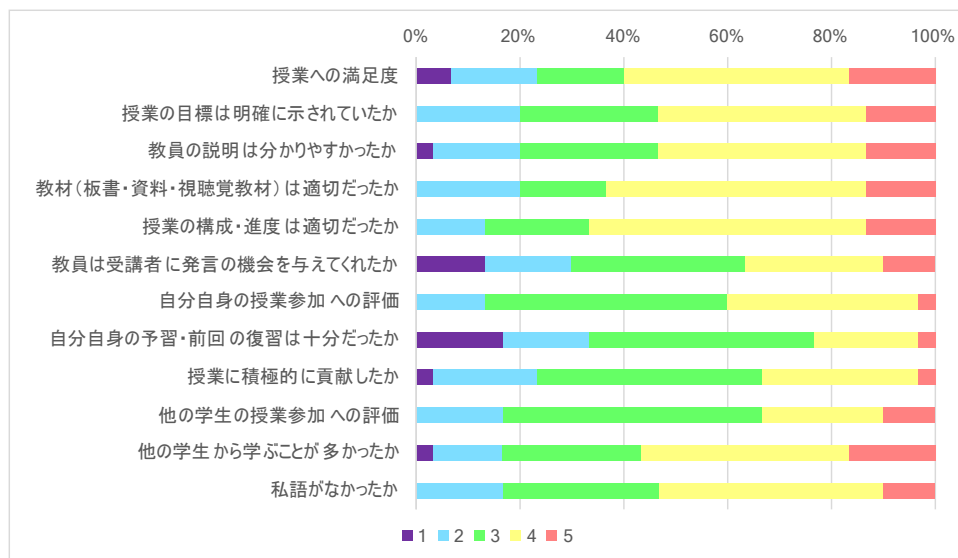
○福祉を志す学生が多いため、社会的課題に対する関心は高かったように思う。課題を具体的に掘り下げるといふ考え方を実践の場で活かしてもらえると幸いである。

○教室のつくりの関係上、グループディスカッションの機会を設定できず、リアクションペーパーが担当教員と学生とのやりとりを行うほぼ唯一の手段であった。アクティブラーニング型の授業を行うためには、それを可能とする学習環境の下で授業を実施できれば、学生自身が主体的に参加できる授業展開ができたように思う。



氏名	柏木 宏介		
科目名	子どもの臨床教育心理学		
実施日	2019/12/18	配当年次	2
履修者数	37	回答者数	30

	← 評価 →					合計
	no	1	2	3	4	
授業への満足度	2	5	5	13	5	30
授業の目標は明確に示されていたか	0	6	8	12	4	30
教員の説明は分かりやすかったか	1	5	8	12	4	30
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	6	5	15	4	30
授業の構成・進度は適切だったか	0	4	6	16	4	30
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	4	5	10	8	3	30
自分自身の授業参加への評価	0	4	14	11	1	30
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	5	5	13	6	1	30
授業に積極的に貢献したか	1	6	13	9	1	30
他の学生の授業参加への評価	0	5	15	7	3	30
他の学生から学ぶことが多かったか	1	4	8	12	5	30
私語がなかったか	0	5	9	13	3	30

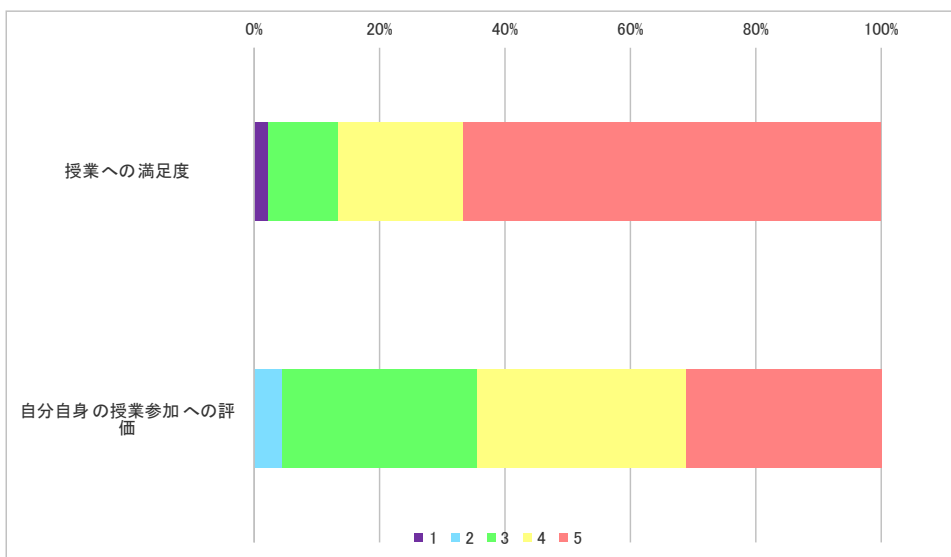


#### ■担当者のコメント

本講義は、大多数の受講生が心理学を専門としない。そんな中、専門に関係なく、子供を取り巻く問題に関心を持って頂けたらと考え、子供に関する時事的な話題を交えて講義した。全講義で、様々な課題に取り組んで頂いた。課題に熱心に取り組む学生の存在は、非常に励みであった。代筆に依存して課題を提出する学生は、減少の傾向が持続しており、非常に嬉しい。しかしながら、「ひらがな」ばかりでの記載や、誤字・脱字、乱筆・乱文の学生も認めた。課題や試験での解答に際しては、大学生であるとの自覚を持ち、筆記して欲しい。今後も、本講義が、学生諸君にとって、子供に関する正しい認識や心理学への興味を持つ契機となれば、と思う。

氏名	嘉手納 悟		
科目名	問題を抱える子どもへの支援Ⅲ(非行・不登校)		
実施日	2019/07/12	配当年次	3
履修者数	62	回答者数	45

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	1	0	5	9	30	45
自分自身の授業参加への評価	0	2	14	15	14	45

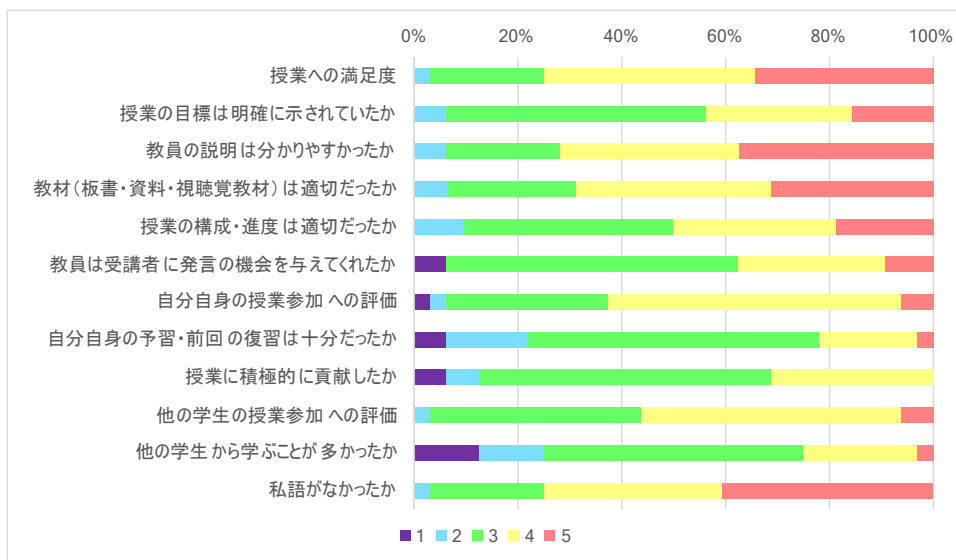


■担当者のコメント

ディスカッションを交えた授業形式におおむね満足してもらえたのは良かったです。事例の解説のタイミングや、全体の時間配分、さらには話し合った内容のまとめ方などについては私自身改善の余地があると感じていたので、次年度はそれを踏まえて展開していきたいと思います。  
私自身、現場を知っているというのが一つの強みだと考えているので、それを生かしながら、参加した学生が少しでも現場で生きる知識を身につけていってくれるように努めていきたいです。

氏名	金岡 秀郎		
科目名	人間の知性X		
実施日	2019/07/18	配当年次	1
履修者数	38	回答者数	32

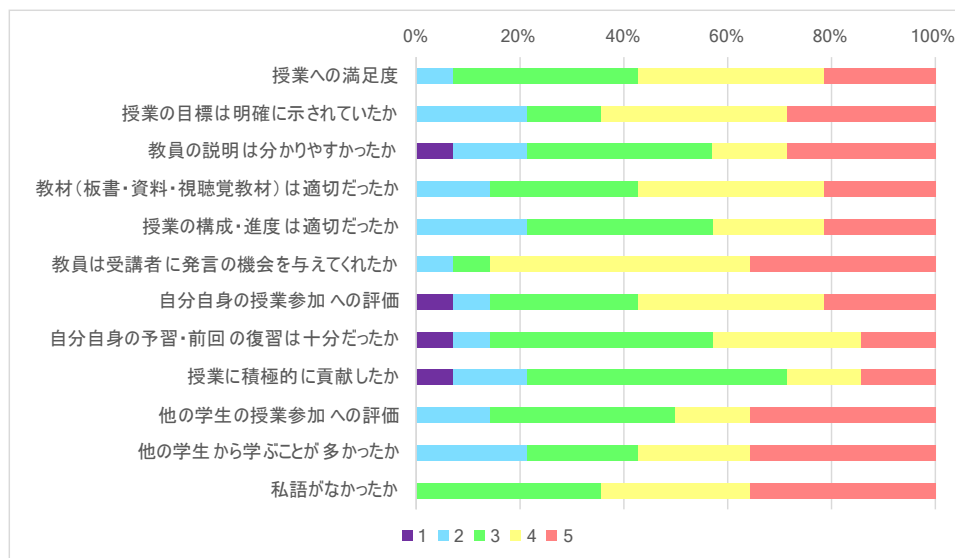
	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	1	7	13	11	32	
授業の目標は明確に示されていたか	0	2	16	9	5	32	
教員の説明は分かりやすかったか	0	2	7	11	12	32	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	2	8	12	10	32	
授業の構成・進度は適切だったか	0	3	13	10	6	32	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	2	0	18	9	3	32	
自分自身の授業参加への評価	1	1	10	18	2	32	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	5	18	6	1	32	
授業に積極的に貢献したか	2	2	18	10	0	32	
他の学生の授業参加への評価	0	1	13	16	2	32	
他の学生から学ぶことが多かったか	4	4	16	7	1	32	
私語がなかったか	0	1	7	11	13	32	



■担当者のコメント

氏名	榎 陽子・棚田 茂		
科目名	聴覚障害児指導法 I		
実施日	2019/12/07	配当年次	3
履修者数	17	回答者数	14

	no	← 評価 →			yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	1	5	5	3	14
授業の目標は明確に示されていたか	0	3	2	5	4	14
教員の説明は分かりやすかったか	1	2	5	2	4	14
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	2	4	5	3	14
授業の構成・進度は適切だったか	0	3	5	3	3	14
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	1	1	7	5	14
自分自身の授業参加への評価	1	1	4	5	3	14
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	1	6	4	2	14
授業に積極的に貢献したか	1	2	7	2	2	14
他の学生の授業参加への評価	0	2	5	2	5	14
他の学生から学ぶことが多かったか	0	3	3	3	5	14
私語がなかったか	0	0	5	4	5	14

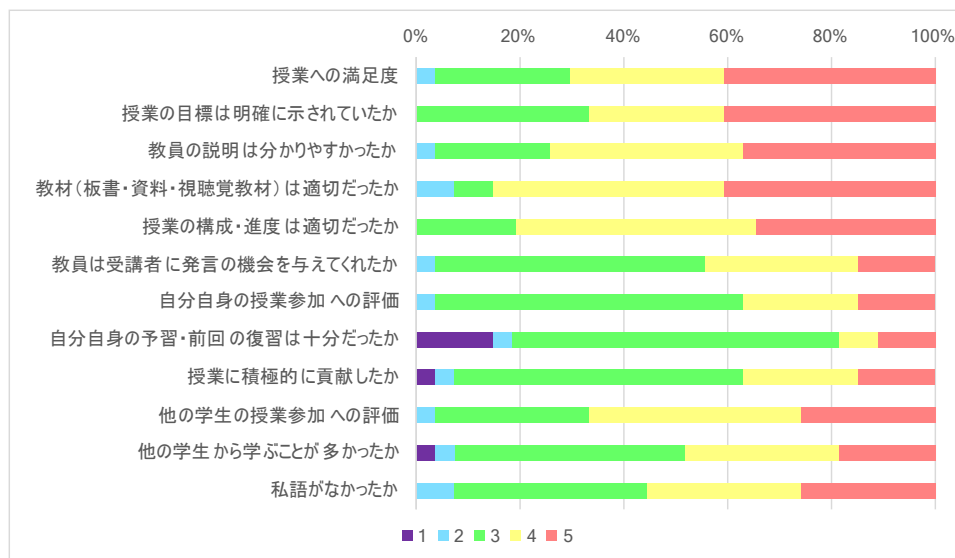


■担当者のコメント

・受講生の多くは実際の授業づくりについて様々な観点からの取り組みができたと思う。聾教育に必要な視点について学んだが、現場できっと役立つ。受講生の中に一番低い評価をあげたのには、1日でも休んでしまうと、全てが分からなくなってしまうという授業の進め方に難があったと思われる。途中で休んでも遅れを取り戻せるような取り組みが今後必要。また、今回はスケジュールの関係で最終日に学校見学と中学部生徒との交流を行ったが、生徒から学ぶことが多かったようである。次回にはできるだけ先に見学と交流を行った後、講義を行うようにしたい。

氏名	河合 恒		
科目名	バイオメカニクス		
実施日	2019/07/01	配当年次	3
履修者数	31	回答者数	27

	no	← 評価 →			yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	1	7	8	11	27
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	9	7	11	27
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	6	10	10	27
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	2	2	12	11	27
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	5	12	9	26
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	1	14	8	4	27
自分自身の授業参加への評価	0	1	16	6	4	27
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	4	1	17	2	3	27
授業に積極的に貢献したか	1	1	15	6	4	27
他の学生の授業参加への評価	0	1	8	11	7	27
他の学生から学ぶことが多かったか	1	1	12	8	5	27
私語がなかったか	0	2	10	8	7	27

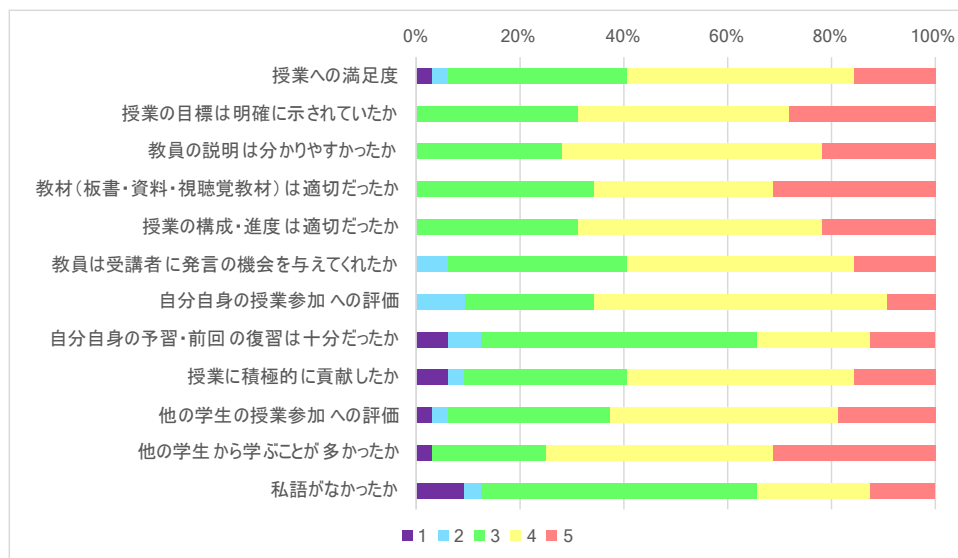


■担当者のコメント

授業の内容については概ね7割以上が「4」以上の評価であり、適切だったと判断できた。一方で、学生の発言機会、授業参加等については「3」以下の評価が半数以上を占め、学生に対してさらに積極的な参加を促す必要があると感じた。現在の学生は、以前に比べて高等学校以前より探求型の授業に慣れていると聞くので、以前よりもグループワークやフィールドワークを取り入れてもよいのかもしれないと思った。

氏名	川口 潤子・馬場 千晶		
科目名	保育内容演習V(表現)		
実施日	2019/12/14	配当年次	2
履修者数	32	回答者数	32

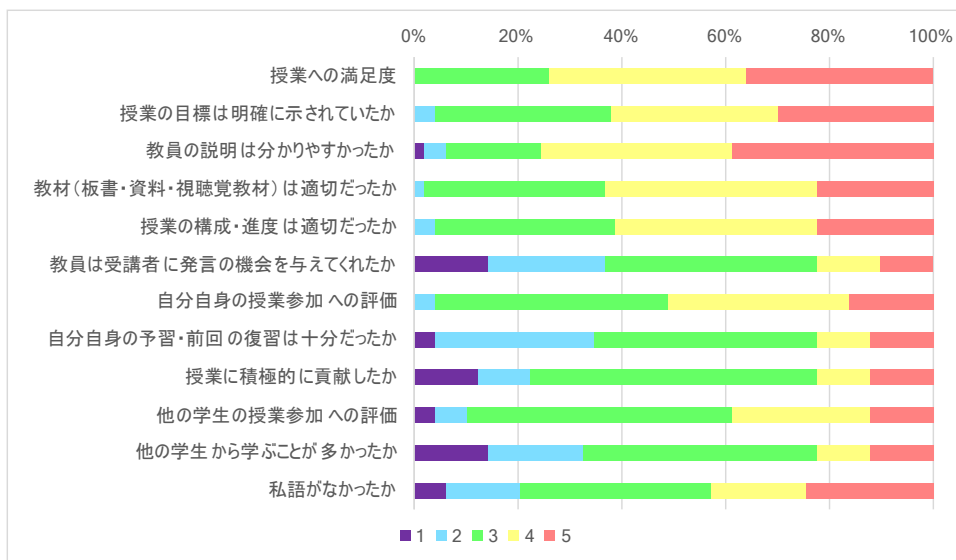
	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	1	1	11	14	5	32	
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	10	13	9	32	
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	9	16	7	32	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	11	11	10	32	
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	10	15	7	32	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	2	11	14	5	32	
自分自身の授業参加への評価	0	3	8	18	3	32	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	2	17	7	4	32	
授業に積極的に貢献したか	2	1	10	14	5	32	
他の学生の授業参加への評価	1	1	10	14	6	32	
他の学生から学ぶことが多かったか	1	0	7	14	10	32	
私語がなかったか	3	1	17	7	4	32	



■担当者のコメント

氏名	北村 世都		
科目名	臨床心理学 I		
実施日	2019/07/09	配当年次	2
履修者数	65	回答者数	50

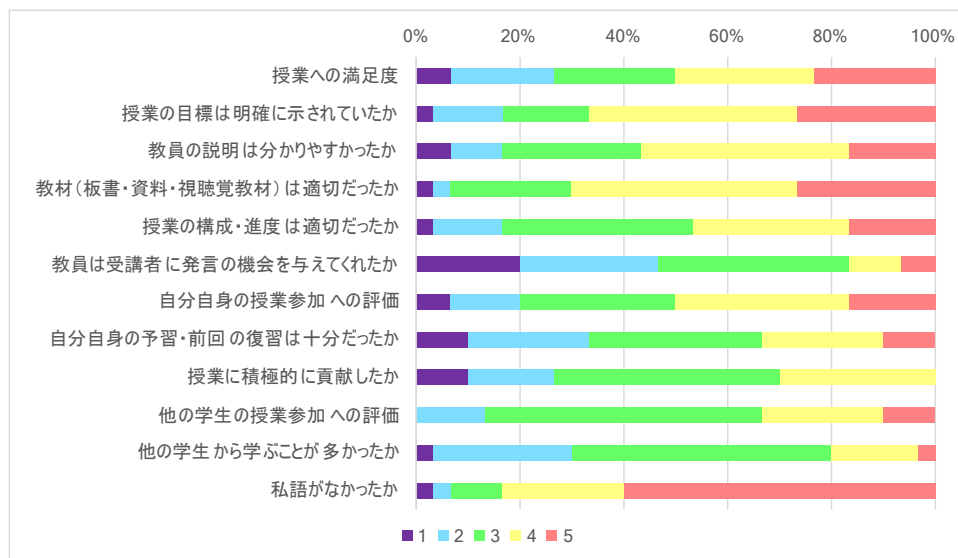
	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	13	19	18	50	
授業の目標は明確に示されていたか	0	2	17	16	15	50	
教員の説明は分かりやすかったか	1	2	9	18	19	49	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	17	20	11	49	
授業の構成・進度は適切だったか	0	2	17	19	11	49	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	7	11	20	6	5	49	
自分自身の授業参加への評価	0	2	22	17	8	49	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	15	21	5	6	49	
授業に積極的に貢献したか	6	5	27	5	6	49	
他の学生の授業参加への評価	2	3	25	13	6	49	
他の学生から学ぶことが多かったか	7	9	22	5	6	49	
私語がなかったか	3	7	18	9	12	49	



■担当者のコメント

氏名	木下 知威		
科目名	科学的思考ⅩⅢ[手話]		
実施日	2020/01/16	配当年次	1
履修者数	47	回答者数	30

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	2	6	7	8	7	30
授業の目標は明確に示されていたか	1	4	5	12	8	30
教員の説明は分かりやすかったか	2	3	8	12	5	30
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	1	7	13	8	30
授業の構成・進度は適切だったか	1	4	11	9	5	30
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	6	8	11	3	2	30
自分自身の授業参加への評価	2	4	9	10	5	30
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	3	7	10	7	3	30
授業に積極的に貢献したか	3	5	13	9	0	30
他の学生の授業参加への評価	0	4	16	7	3	30
他の学生から学ぶことが多かったか	1	8	15	5	1	30
私語がなかったか	1	1	3	7	18	30



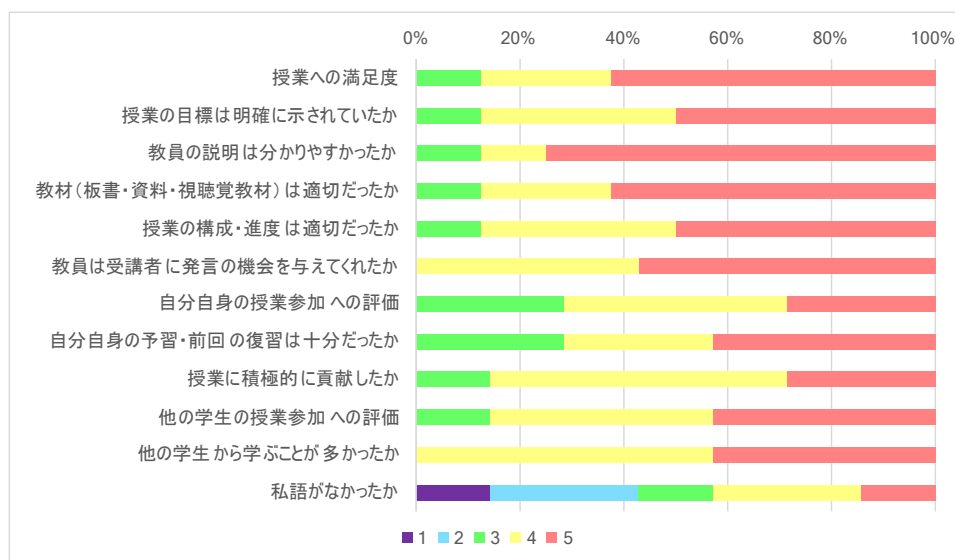
#### ■担当者のコメント

配布資料とスライドを一体化させた講義を行った。スライドと板書きを併用し、毎回、講義に関連するテーマでアクションペーパーを作成し、それを返却することで講義で考えたことや疑問点の共有を図れるようにした。その結果、概ね高い評価を得ることができたと感じている。その一方で、「教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか」の項目の割合が低いように見受けられた。講義形式が基本的に座学であるためであろう。これを見直し、来年度では相互に意思疎通できる工夫をすることで、より受講生からの発言もしやすい講義になるよう心がけていきたい。



氏名	桐谷 裕美子		
科目名	家政学概論 I		
実施日	2019/06/20	配当年次	2
履修者数	11	回答者数	8

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	1	2	5	8	
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	1	3	4	8	
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	1	1	6	8	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	1	2	5	8	
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	1	3	4	8	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	0	3	4	7	
自分自身の授業参加への評価	0	0	2	3	2	7	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	0	2	2	3	7	
授業に積極的に貢献したか	0	0	1	4	2	7	
他の学生の授業参加への評価	0	0	1	3	3	7	
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	0	4	3	7	
私語がなかったか	1	2	1	2	1	7	

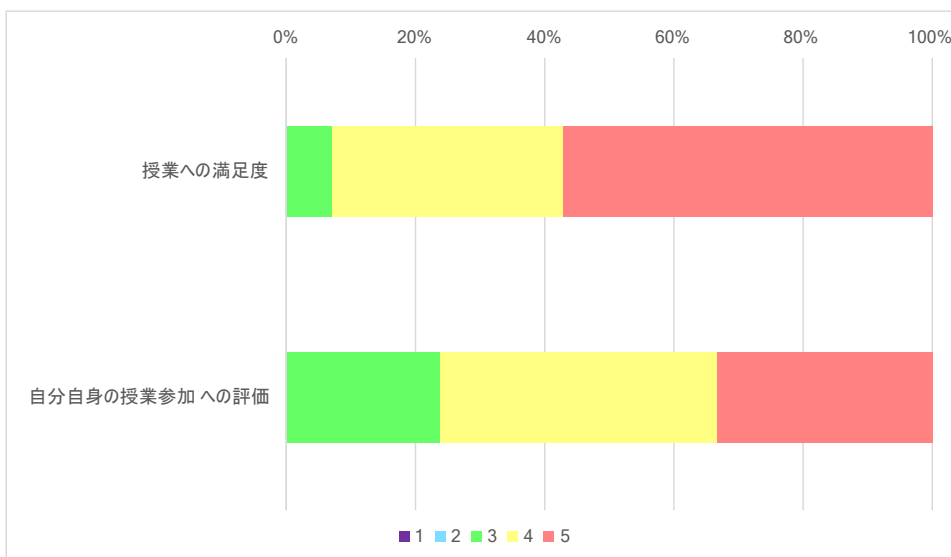


■担当者のコメント

コメント:今年度は、学生数も少なく、表情を見ながら理解度を確認しながら授業を進めるよう心掛けたため、「説明はわかりやすかった」が比較的高かったと感じた。学生の主体的な授業参加が低いのは、こちらの仕掛けの問題もあるため、改善が必要と考える。他の先生方がこの課題に対し、どのような対応をされているか、教務課の方に質問をしたい。一度授業日程変更の連絡が行き届かなかったミスで、皆様にご迷惑をおかけしました。①最初の予定を変えない ②変える場合は書面、板書、教務課の協力を得るの3点で同じミスを防ぎます。

氏名	倉田 新		
科目名	問題を抱える子どもへの支援Ⅱ (障害児)A		
実施日	2019/07/08	配当年次	2
履修者数	48	回答者数	42

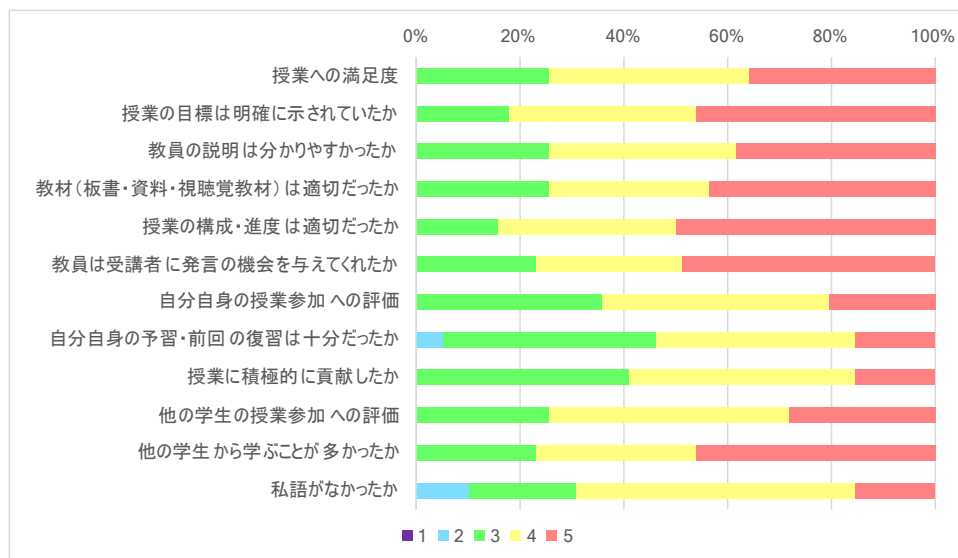
	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	3	15	24	42	
自分自身の授業参加への評価	0	0	10	18	14	42	



■担当者のコメント

氏名	コール・D		
科目名	英語A20		
実施日	2019/07/16	配当年次	1
履修者数	47	回答者数	39

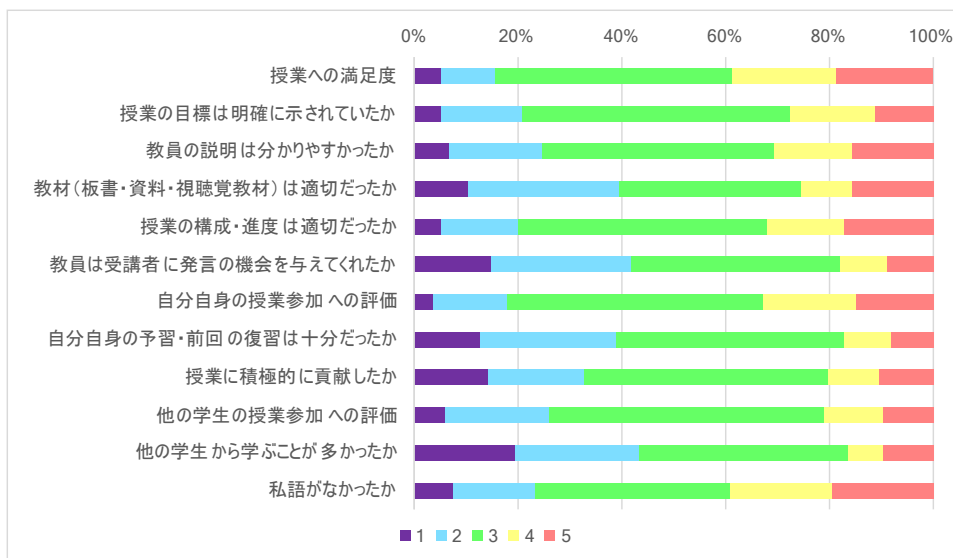
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	10	15	14	39
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	7	14	18	39
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	10	14	15	39
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	10	12	17	39
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	6	13	19	38
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	9	11	19	39
自分自身の授業参加への評価	0	0	14	17	8	39
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	2	16	15	6	39
授業に積極的に貢献したか	0	0	16	17	6	39
他の学生の授業参加への評価	0	0	10	18	11	39
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	9	12	18	39
私語がなかったか	0	4	8	21	6	39



■担当者のコメント

氏名	小暮 美樹		
科目名	科学的思考IX		
実施日	2019/07/05	配当年次	1
履修者数	180	回答者数	134

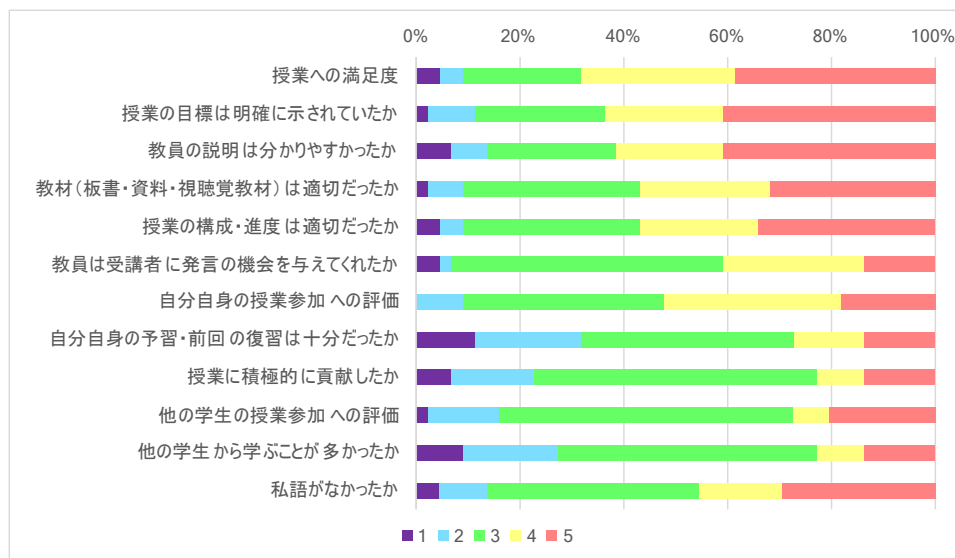
	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	7	14	61	27	25	134	
授業の目標は明確に示されていたか	7	21	69	22	15	134	
教員の説明は分かりやすかったか	9	24	60	20	21	134	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	14	39	47	13	21	134	
授業の構成・進度は適切だったか	7	20	64	20	23	134	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	20	36	54	12	12	134	
自分自身の授業参加への評価	5	19	66	24	20	134	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	17	35	59	12	11	134	
授業に積極的に貢献したか	19	25	63	13	14	134	
他の学生の授業参加への評価	8	27	71	15	13	134	
他の学生から学ぶことが多かったか	26	32	54	9	13	134	
私語がなかったか	10	21	50	26	26	133	



■担当者のコメント

氏名	小林 秀行		
科目名	社会の認識Ⅷ		
実施日	2019/12/17	配当年次	1
履修者数	86	回答者数	44

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	2	2	10	13	17	44	
授業の目標は明確に示されていたか	1	4	11	10	18	44	
教員の説明は分かりやすかったか	3	3	11	9	18	44	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	3	15	11	14	44	
授業の構成・進度は適切だったか	2	2	15	10	15	44	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	2	1	23	12	6	44	
自分自身の授業参加への評価	0	4	17	15	8	44	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	5	9	18	6	6	44	
授業に積極的に貢献したか	3	7	24	4	6	44	
他の学生の授業参加への評価	1	6	25	3	9	44	
他の学生から学ぶことが多かったか	4	8	22	4	6	44	
私語がなかったか	2	4	18	7	13	44	

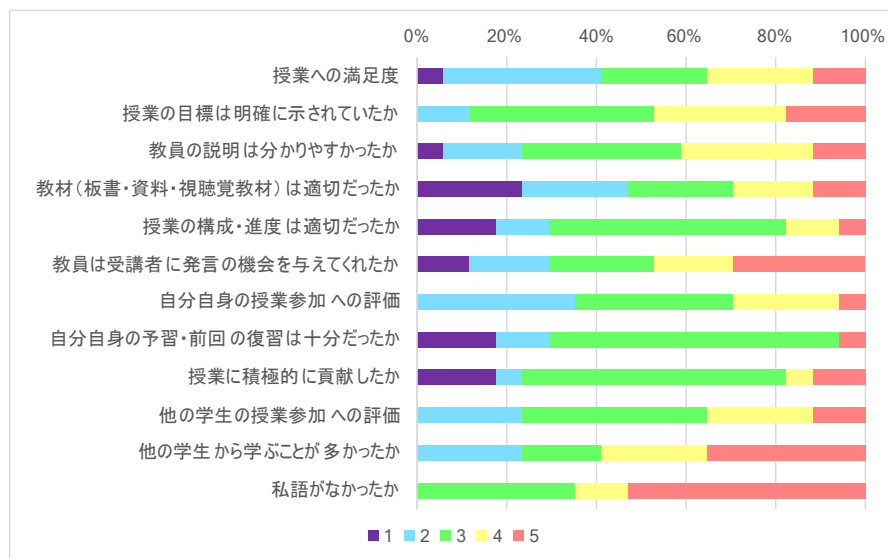


■担当者のコメント

講義内容の設定や授業の方法・わかりやすさには一定の評価が得られた。一方で、受講者が積極的に授業に参加できたかという点では改善の余地があることが示された。一般教養科目という性質上、ほとんどの学生にとって専門外であり、また、入門科目であることから、知識の教授が多くなっている。ただ、本講義の目的として、他者の境遇の理解や社会と個人とのつながりに関する基礎的な観点の陶冶を射程に含めている。本講義で習得する基礎的観点は受講生の将来の専門分野における取り組みにどのように活かせるか、受講生の意見共有やフィードバックの機会を設けてゆきたい。

氏名	佐伯 敦也		
科目名	聴覚障害教育課程論		
実施日	2019/05/25	配当年次	3
履修者数	17	回答者数	17

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	1	6	4	4	2	17	
授業の目標は明確に示されていたか	0	2	7	5	3	17	
教員の説明は分かりやすかったか	1	3	6	5	2	17	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	4	4	4	3	2	17	
授業の構成・進度は適切だったか	3	2	9	2	1	17	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	2	3	4	3	5	17	
自分自身の授業参加への評価	0	6	6	4	1	17	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	3	2	11	0	1	17	
授業に積極的に貢献したか	3	1	10	1	2	17	
他の学生の授業参加への評価	0	4	7	4	2	17	
他の学生から学ぶことが多かったか	0	4	3	4	6	17	
私語がなかったか	0	0	6	2	9	17	

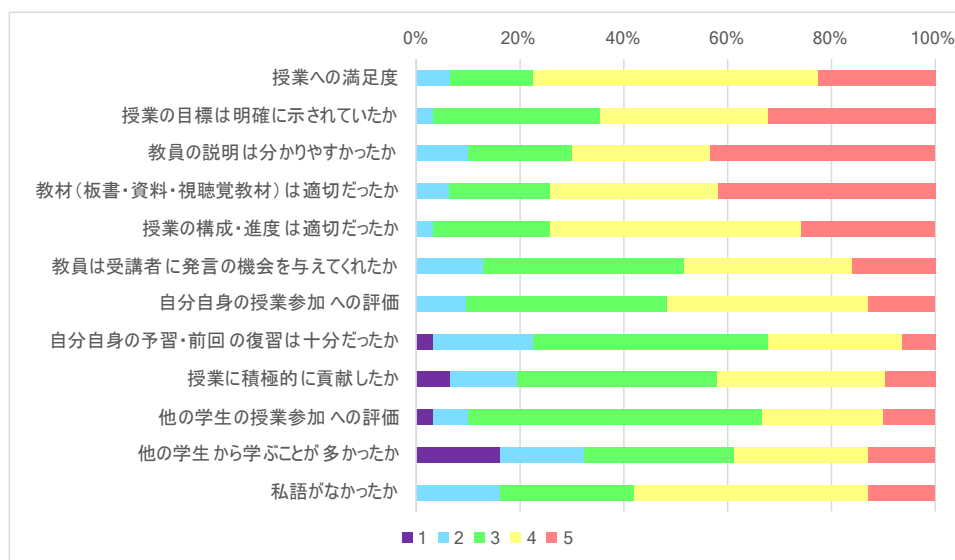


#### ■担当者のコメント

集中講義形式で一日に3コマ連続していました。長時間に及ぶこともあり、講義内容に緩急をつけるためアクティブラーニングを積極的に取り入れました。文献の発表、ディベート、グループワーキングを使用している手話実技、映像分析などです。「目標の明確さ」、「説明の分かりやすさ」についてはある程度評価されているので、授業の場面場面では何のために何をしているのか共有できているのだろうと判断します。しかし対して「満足度」が低くなるのはこうした活動がどのような知識や知見と繋がるのか実感しづらかったからだと考えます。活動から具体的な学びが得られるように改善を進めていきたいと思います。

氏名	佐久間 路子		
科目名	保育内容演習IV(人間)		
実施日	2019/07/12	配当年次	2
履修者数	34	回答者数	31

	← 評価 →					合計
	no	1	2	3	4	
授業への満足度	0	2	5	17	7	31
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	10	10	10	31
教員の説明は分かりやすかったか	0	3	6	8	13	30
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	2	6	10	13	31
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	7	15	8	31
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	4	12	10	5	31
自分自身の授業参加への評価	0	3	12	12	4	31
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	6	14	8	2	31
授業に積極的に貢献したか	2	4	12	10	3	31
他の学生の授業参加への評価	1	2	17	7	3	30
他の学生から学ぶことが多かったか	5	5	9	8	4	31
私語がなかったか	0	5	8	14	4	31

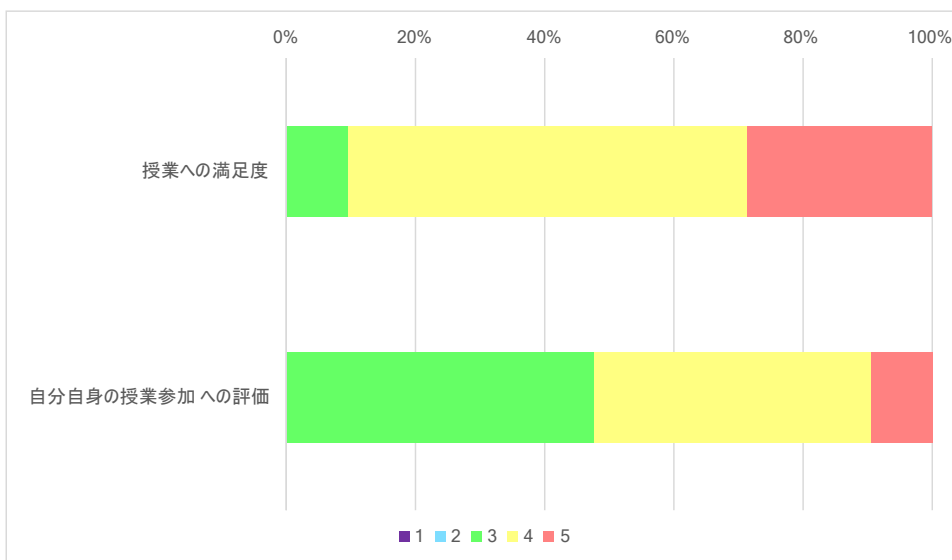


■担当者のコメント

今回の授業評価の結果について、授業の進め方や説明に関しては概ね問題がない評価であったと思いますが、受講生が積極的に授業に参加できるような工夫、発言できるような機会を持つべきでした。学生同士の学び合いの機会も十分ではなかったように思います。今後は学生が主体的に参加できるような授業を進めていきたいと思ひます。

氏名	佐藤 香代		
科目名	福祉と法(民法) / 民法		
実施日	2020/01/16	配当年次	3
履修者数	41	回答者数	21

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	2	13	6	21	
自分自身の授業参加への評価	0	0	10	9	2	21	



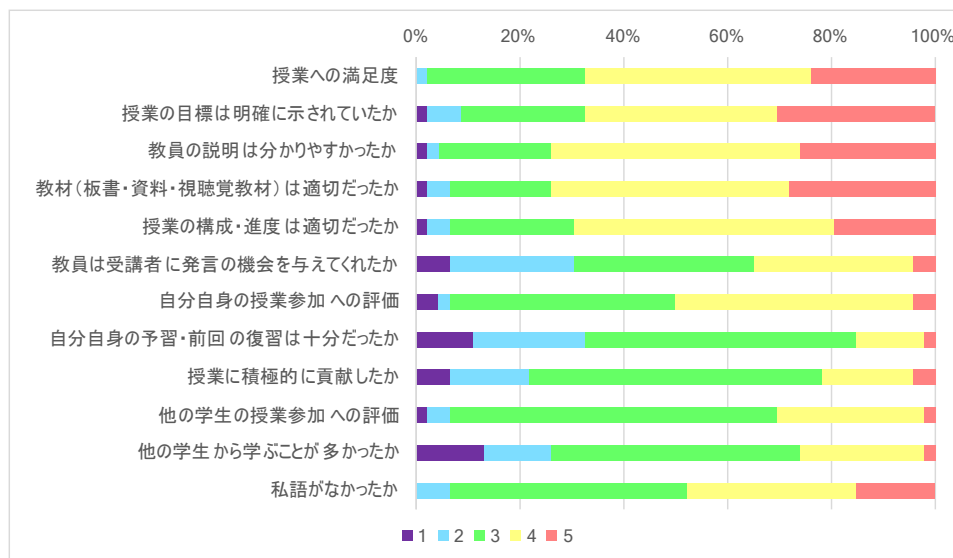
■担当者のコメント



氏名	佐藤 那美		
科目名	保育の心理学 I		
実施日	2019/12/16	配当年次	2
履修者数	54	回答者数	46

nm

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	1	14	20	11	46	
授業の目標は明確に示されていたか	1	3	11	17	14	46	
教員の説明は分かりやすかったか	1	1	10	22	12	46	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	2	9	21	13	46	
授業の構成・進度は適切だったか	1	2	11	23	9	46	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	3	11	16	14	2	46	
自分自身の授業参加への評価	2	1	20	21	2	46	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	5	10	24	6	1	46	
授業に積極的に貢献したか	3	7	26	8	2	46	
他の学生の授業参加への評価	1	2	29	13	1	46	
他の学生から学ぶことが多かったか	6	6	22	11	1	46	
私語がなかったか	0	3	21	15	7	46	

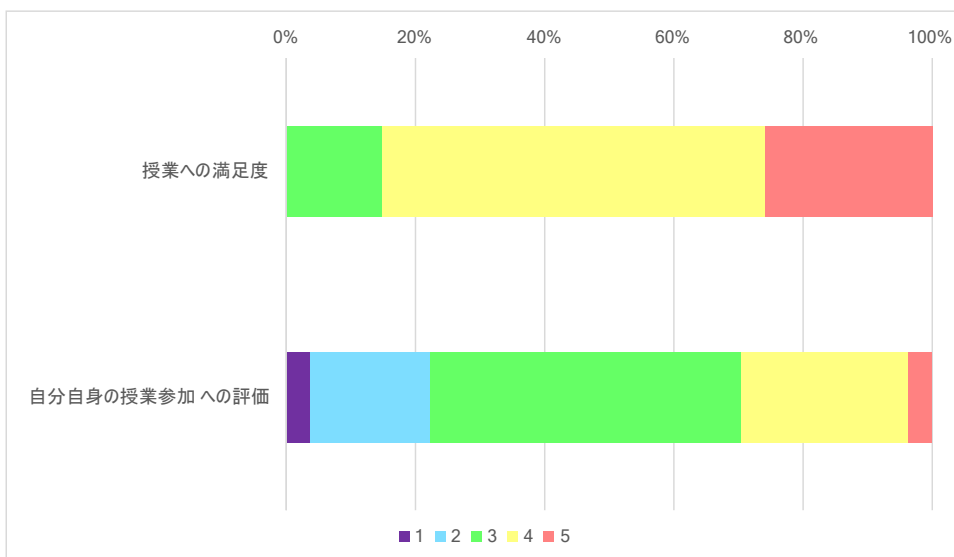


■担当者のコメント

授業の満足度と授業の目標が示されていたかについては、7割弱が「5」と「4」と回答しており、概ね授業の目的が理解されたうえ内容についても適切であったと考えられる。教員の説明についても7割強の学生が「5」「4」を選択しており、説明が理解しやすかったことがわかる。授業の中で発言の機会を与えてくれたかについては、改善の可能性がある。個人ワークの後に近くの学生同士報告し合い、発言する機会を与えていたが、発言の機会が足りない又はなかったと感じていたことがわかる。講義科目であり且つ知識を習得することが目的の科目であるため、知識伝達の機会が多くなった可能性がある。グループワークを行ったり、一人ひとりが授業内で発言する機会を設けることが今後の課題である。

氏名	佐藤 信人		
科目名	ケアマネジメント論		
実施日	2020/01/14	配当年次	3
履修者数	33	回答者数	27

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	4	16	7	27	
自分自身の授業参加への評価	1	5	13	7	1	27	

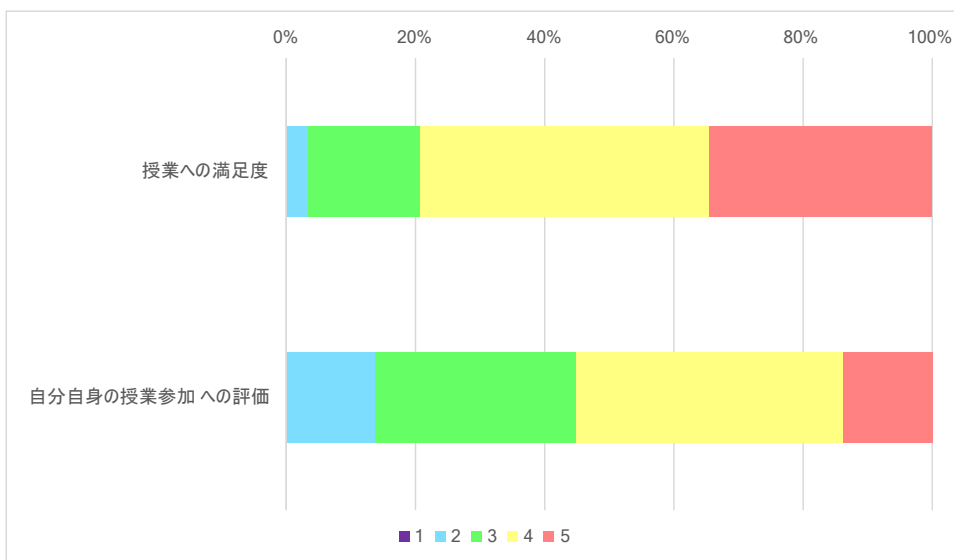


■担当者のコメント

皆様、授業によく参加していただき有難うございました。また多くのご意見をいただいたことに感謝します。ご意見を活かしてさらに精進いたします。皆様、一緒に頑張りましょう。

氏名	佐原 まち子		
科目名	医療ソーシャルワーク		
実施日	2019/07/01	配当年次	3
履修者数	40	回答者数	29

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	1	5	13	10	29	
自分自身の授業参加への評価	0	4	9	12	4	29	

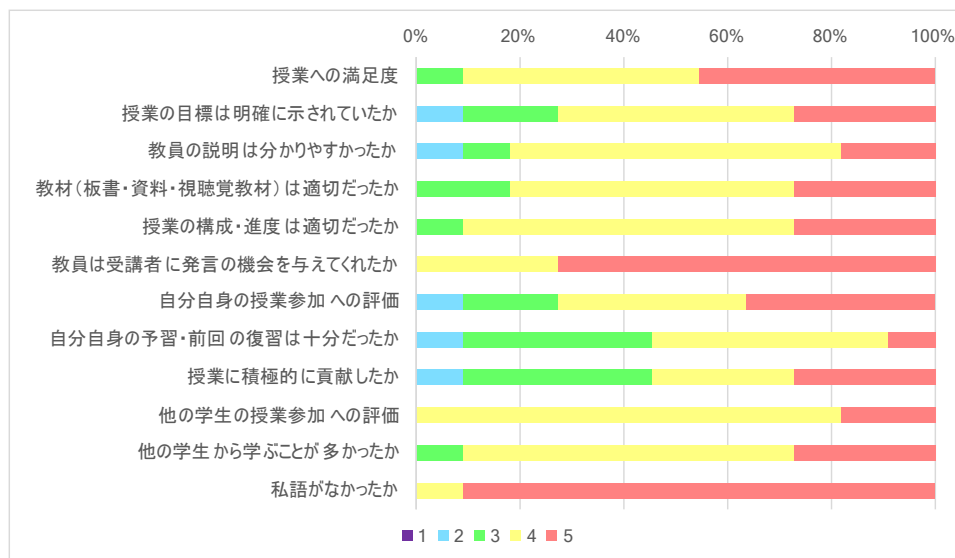


■担当者のコメント

できる限り、ソーシャルワーク業務が想像できるように、ワークや面接、実践事例を加味して授業を計画してみました。関心を持つ生徒が少しでもいたことがわかりました。また、シラバスに教科書については購入することを記載していたにもかかわらず、購入する学生が少ないことに驚きました。今後は教科書の購入については教員側から初回などに積極的に言わなければならないことと理解いたしました。

氏名	潮谷 有二		
科目名	地域ケアシステム論		
実施日	2020/01/11	配当年次	3
履修者数	15	回答者数	11

	← 評価 →					合計
	no				yes	
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	0	1	5	5	11
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	2	5	3	11
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	1	7	2	11
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	2	6	3	11
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	1	7	3	11
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	0	3	8	11
自分自身の授業参加への評価	0	1	2	4	4	11
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	1	4	5	1	11
授業に積極的に貢献したか	0	1	4	3	3	11
他の学生の授業参加への評価	0	0	0	9	2	11
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	1	7	3	11
私語がなかったか	0	0	0	1	10	11

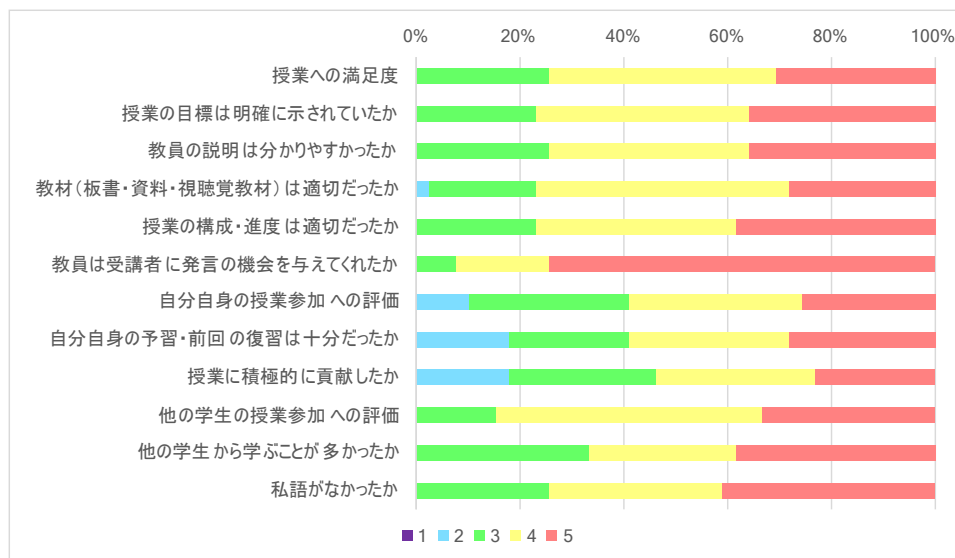


■担当者のコメント

授業評価全体としては、ポジティブに評価されたと認識しているが、学生自身の授業への参加を問う評価項目には、一部低得点も見られ、学生への動機付けや、意識化等が課題となっており、それらへ改善に取り組みたい。

氏名	澁川 顕一		
科目名	英語B23		
実施日	2019/07/09	配当年次	1
履修者数	41	回答者数	39

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	10	17	12	39	
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	9	16	14	39	
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	10	15	14	39	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	8	19	11	39	
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	9	15	15	39	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	3	7	29	39	
自分自身の授業参加への評価	0	4	12	13	10	39	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	7	9	12	11	39	
授業に積極的に貢献したか	0	7	11	12	9	39	
他の学生の授業参加への評価	0	0	6	20	13	39	
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	13	11	15	39	
私語がなかったか	0	0	10	13	16	39	

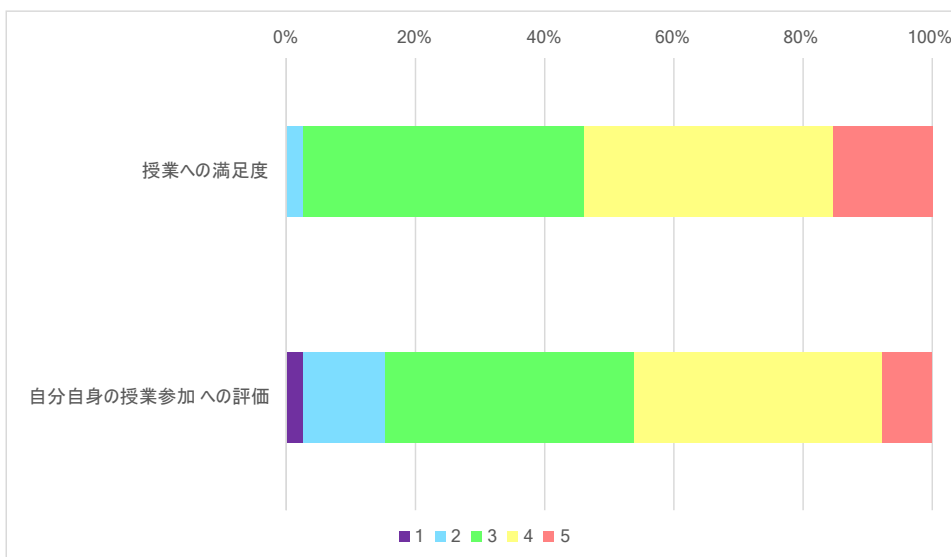


■担当者のコメント

今年度の学生は素直で欠席も少なく、受講性の数がかなり多い割にはコントロールしやすい理想的なクラスだったと思う。授業の核になってくれる学生に刺激されて他の学生も発言していたように見られる。授業の進度・難易度は適切だったと思うが期末試験の結果を見るともう少し目配りが必要だように感じる。

氏名	澁谷 壮紀		
科目名	情報科学A1		
実施日	2019/07/08	配当年次	1
履修者数	41	回答者数	39

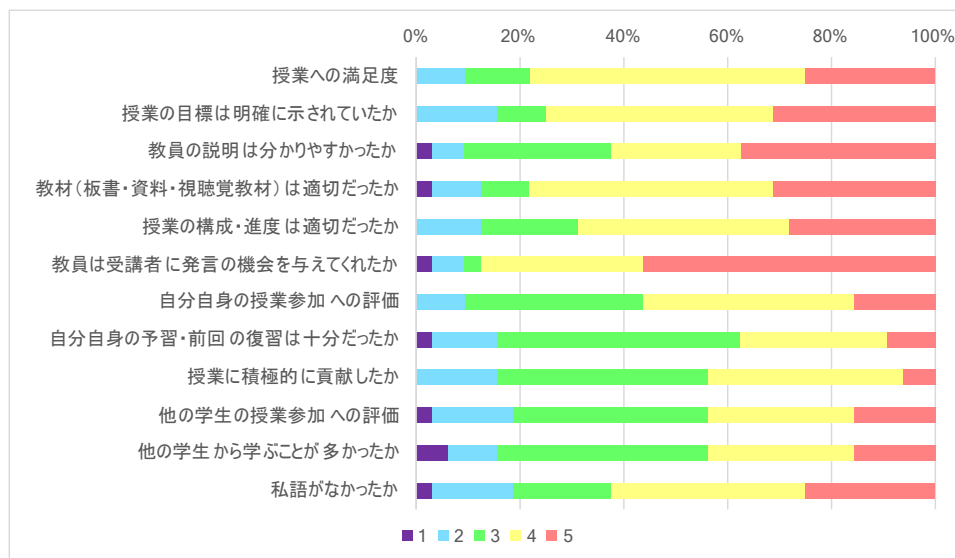
	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	1	17	15	6	39	
自分自身の授業参加への評価	1	5	15	15	3	39	



■担当者のコメント

氏名	ジョン, ディネシュ		
科目名	英語A12		
実施日	2019/07/16	配当年次	1
履修者数	42	回答者数	32

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	3	4	17	8	32
授業の目標は明確に示されていたか	0	5	3	14	10	32
教員の説明は分かりやすかったか	1	2	9	8	12	32
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	3	3	15	10	32
授業の構成・進度は適切だったか	0	4	6	13	9	32
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	1	2	1	10	18	32
自分自身の授業参加への評価	0	3	11	13	5	32
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	4	15	9	3	32
授業に積極的に貢献したか	0	5	13	12	2	32
他の学生の授業参加への評価	1	5	12	9	5	32
他の学生から学ぶことが多かったか	2	3	13	9	5	32
私語がなかったか	1	5	6	12	8	32

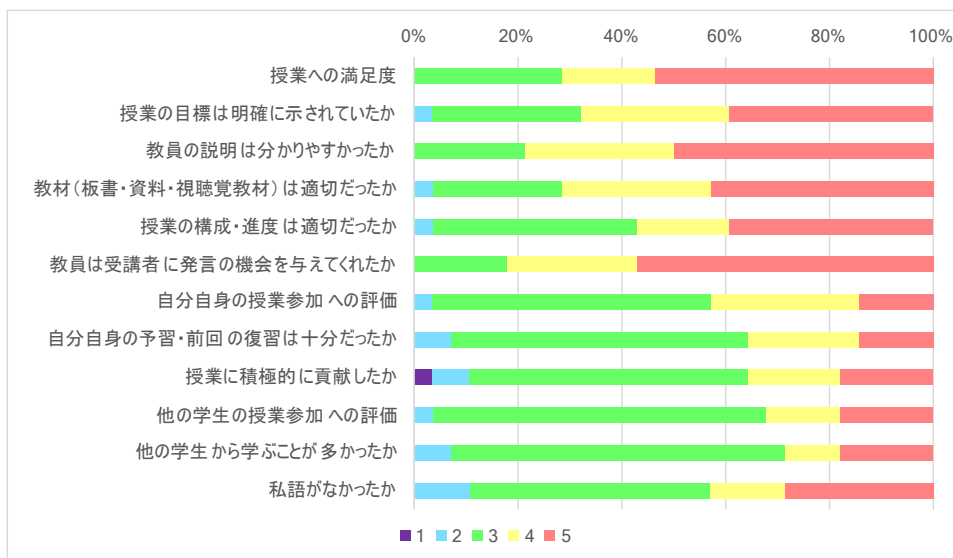


■担当者のコメント

I had a chance to reflect upon the students' assessment of my class in the Spring semester. As it was my very first teaching experience to the undergraduate students at your university, I was a bit confused about the students' expectations of my class at first. Over time, I understood their expectations and conducted the classes smoothly. I did my level best to create a better English speaking environment in the class. At the end, I found that many students enjoyed being engaged with discussions in English regardless of several challenges. I wish the college will keep on encouraging the students to be more open-minded to explore "Learning English" beyond the traditional Japanese way.

氏名	菅谷 美佳子		
科目名	英語B3(2限)		
実施日	2019/07/15	配当年次	1
履修者数	40	回答者数	28

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	8	5	15	28	
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	8	8	11	28	
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	6	8	14	28	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	7	8	12	28	
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	11	5	11	28	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	5	7	16	28	
自分自身の授業参加への評価	0	1	15	8	4	28	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	2	16	6	4	28	
授業に積極的に貢献したか	1	2	15	5	5	28	
他の学生の授業参加への評価	0	1	18	4	5	28	
他の学生から学ぶことが多かったか	0	2	18	3	5	28	
私語がなかったか	0	3	13	4	8	28	

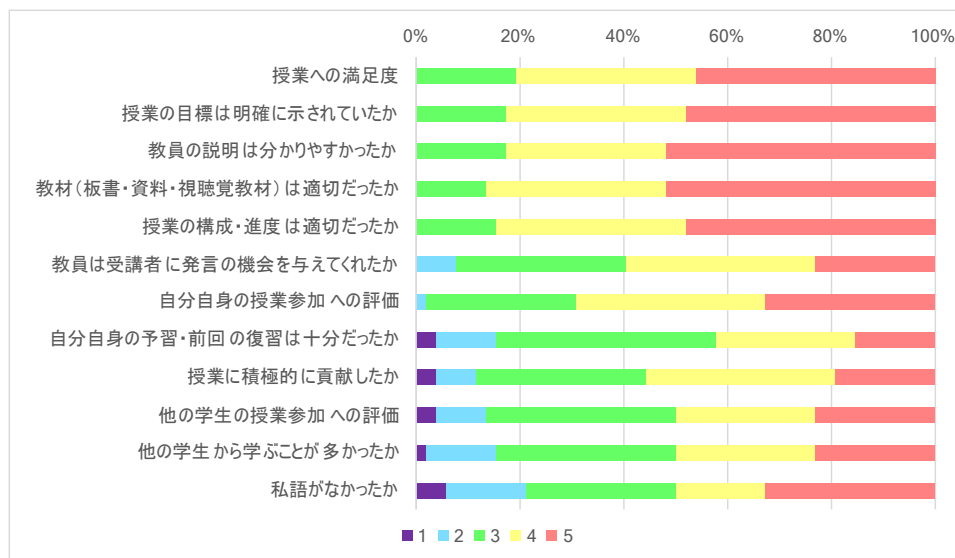


■担当者のコメント



氏名	杉野 聖子		
科目名	生涯学習論 I		
実施日	2019/07/12	配当年次	2
履修者数	61	回答者数	52

	← 評価 →					合計
	no	1	2	3	4	
授業への満足度	0	0	10	18	24	52
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	9	18	25	52
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	9	16	27	52
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	7	18	27	52
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	8	19	25	52
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	4	17	19	12	52
自分自身の授業参加への評価	0	1	15	19	17	52
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	6	22	14	8	52
授業に積極的に貢献したか	2	4	17	19	10	52
他の学生の授業参加への評価	2	5	19	14	12	52
他の学生から学ぶことが多かったか	1	7	18	14	12	52
私語がなかったか	3	8	15	9	17	52

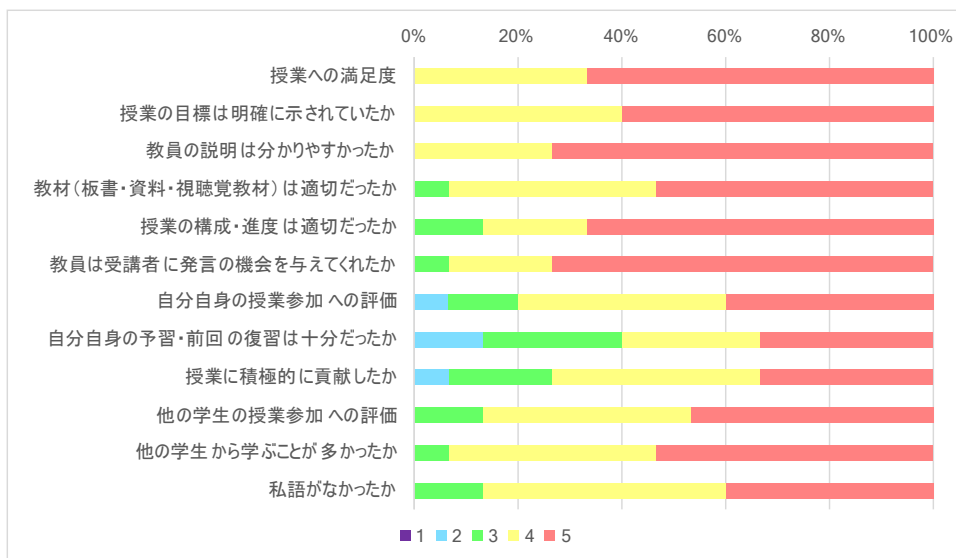


■担当者のコメント

生涯学習を意識したことはおそらくほとんど意識したことはない学生世代に、まず意識化を図るべくグループワークを取り入れたが、それ以外は講義に終始してしまったため、受け身の授業になってしまった。基礎的な知識の理解が必要なため説明を丁寧にしたつもりだが、時にくどく感じる学生もいたように受けとめている。また、疲れの出る時間帯の授業に喃るので、関心のある人はしっかりと聞きそれほどもない学生はうとうとしてしまうという授業態度に大きく差が見られた。ただし映像を取り入れると学生たちはしっかりと見ていたように思う。さらにこのアンケート結果を見て、そのような時間帯であるからこそ、もう少し学生たちが主体的に取り組める方法を取り入れ、学生の関心を刺激する努力の必要があると再認識した。

氏名	鈴木 真智子		
科目名	介護概論Ⅲ		
実施日	2019/07/04	配当年次	3
履修者数	19	回答者数	15

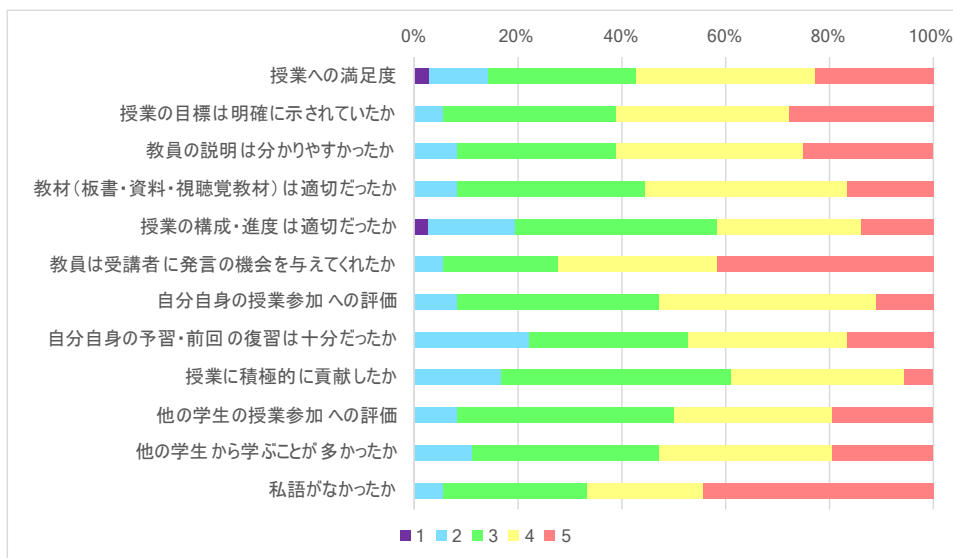
	← 評価 →					合計	
	no	1	2	3	4		yes
授業への満足度	0	0	0	0	5	10	15
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	0	0	6	9	15
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	0	4	11	15	15
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	1	6	8	15	15
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	2	3	10	15	15
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	1	3	11	15	15
自分自身の授業参加への評価	0	1	2	6	6	15	15
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	2	4	4	5	15	15
授業に積極的に貢献したか	0	1	3	6	5	15	15
他の学生の授業参加への評価	0	0	2	6	7	15	15
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	1	6	8	15	15
私語がなかったか	0	0	2	7	6	15	15



■担当者のコメント

氏名	徐 凡喜		
科目名	社会の認識X		
実施日	2019/06/12	配当年次	1
履修者数	50	回答者数	36

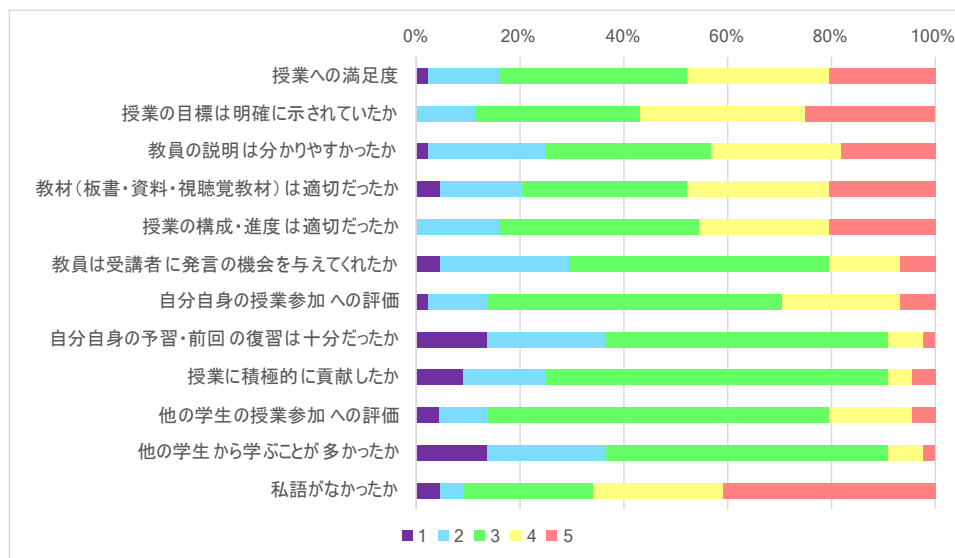
	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	1	4	10	12	8	35	
授業の目標は明確に示されていたか	0	2	12	12	10	36	
教員の説明は分かりやすかったか	0	3	11	13	9	36	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	3	13	14	6	36	
授業の構成・進度は適切だったか	1	6	14	10	5	36	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	2	8	11	15	36	
自分自身の授業参加への評価	0	3	14	15	4	36	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	8	11	11	6	36	
授業に積極的に貢献したか	0	6	16	12	2	36	
他の学生の授業参加への評価	0	3	15	11	7	36	
他の学生から学ぶことが多かったか	0	4	13	12	7	36	
私語がなかったか	0	2	10	8	16	36	



■担当者のコメント

氏名	鷹野 吉章		
科目名	福祉と経営(経済)		
実施日	2019/07/02	配当年次	2
履修者数	56	回答者数	44

	← 評価 →					合計
	no	1	2	3	4	
授業への満足度	1	6	16	12	9	44
授業の目標は明確に示されていたか	0	5	14	14	11	44
教員の説明は分かりやすかったか	1	10	14	11	8	44
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	2	7	14	12	9	44
授業の構成・進度は適切だったか	0	7	17	11	9	44
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	2	11	22	6	3	44
自分自身の授業参加への評価	1	5	25	10	3	44
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	6	10	24	3	1	44
授業に積極的に貢献したか	4	7	29	2	2	44
他の学生の授業参加への評価	2	4	29	7	2	44
他の学生から学ぶことが多かったか	6	10	24	3	1	44
私語がなかったか	2	2	11	11	18	44

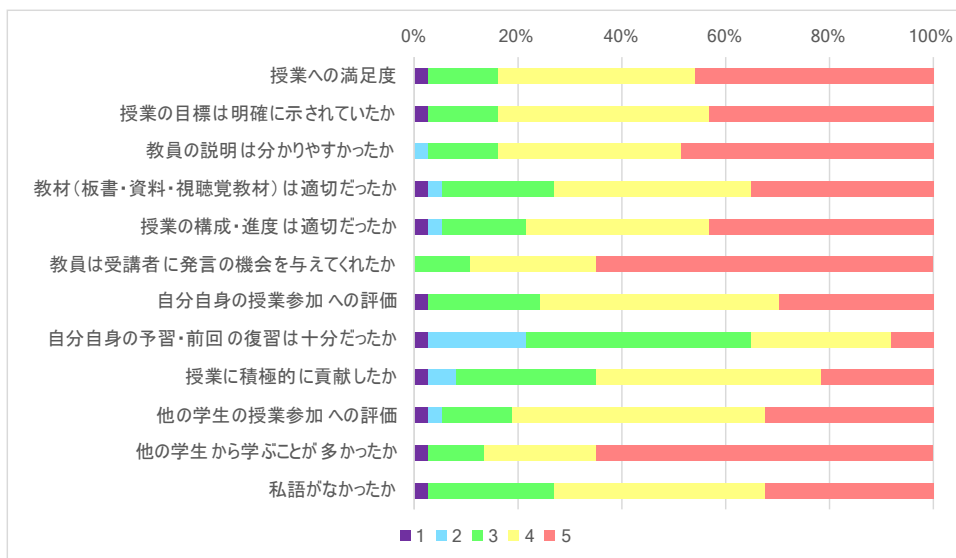


#### ■担当者のコメント

アンケート結果に示されておりますように、受講生の皆さんは総じて静粛に真面目な姿勢、態度で受講されておりました。そのため、講義もシラバスに沿って概ねスムーズに進めることができましたことを感謝いたします。しかしながら、授業に盛り込む内容が毎回やや多く、授業内で演習問題を各自が考える時間や、受講生が発言したり、議論したりする時間を十分に持てなかったことは今回の反省点です。なお、今回も前年度授業内容を一部改善してより福祉と経営の関係を具体的に考える内容を充実させました。そのためかはわかりませんが、前年度の授業満足度が4以上の方は33%でしたが今回は約48%へと大きく上昇しました。また、リアクションペーパーでは少なからず興味深い内容、視点であるという評価もいただいておりますので、今後も、福祉における経営的視点を考える授業内容を工夫していきたいと考えます。

氏名	高橋 貴志		
科目名	保育内容演習 I (環境)		
実施日	2020/01/14	配当年次	3
履修者数	39	回答者数	37

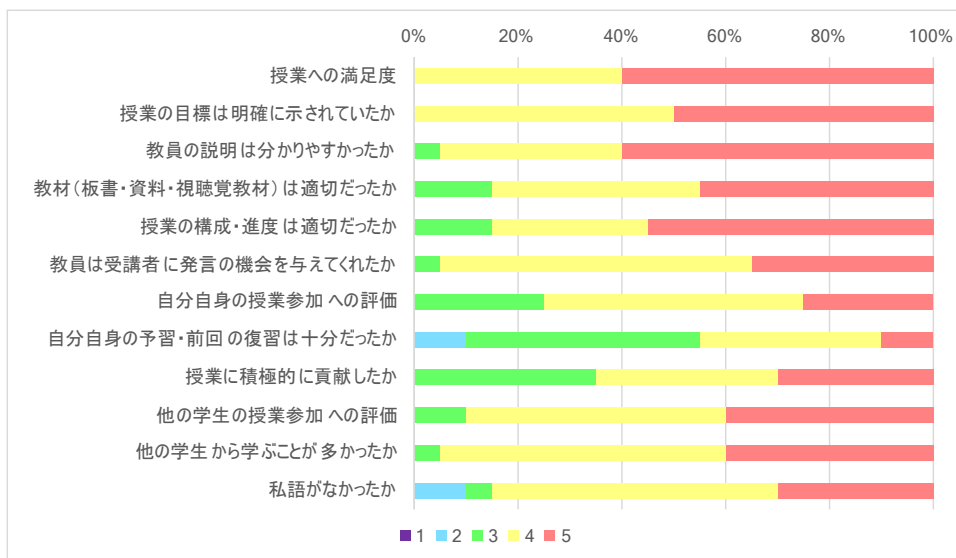
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	1	0	5	14	17	37
授業の目標は明確に示されていたか	1	0	5	15	16	37
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	5	13	18	37
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	1	8	14	13	37
授業の構成・進度は適切だったか	1	1	6	13	16	37
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	4	9	24	37
自分自身の授業参加への評価	1	0	8	17	11	37
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	7	16	10	3	37
授業に積極的に貢献したか	1	2	10	16	8	37
他の学生の授業参加への評価	1	1	5	18	12	37
他の学生から学ぶことが多かったか	1	0	4	8	24	37
私語がなかったか	1	0	9	15	12	37



■担当者のコメント

氏名	瀧本 里香		
科目名	精神保健福祉援助技術各論Ⅱ		
実施日	2019/07/18	配当年次	3
履修者数	24	回答者数	20

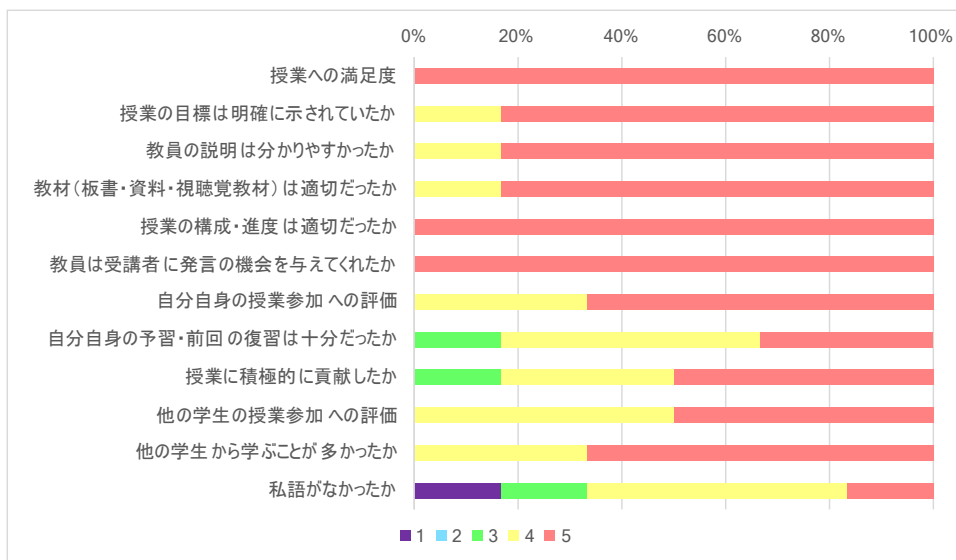
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	0	8	12	20
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	0	10	10	20
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	1	7	12	20
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	3	8	9	20
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	3	6	11	20
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	1	12	7	20
自分自身の授業参加への評価	0	0	5	10	5	20
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	2	9	7	2	20
授業に積極的に貢献したか	0	0	7	7	6	20
他の学生の授業参加への評価	0	0	2	10	8	20
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	1	11	8	20
私語がなかったか	0	2	1	11	6	20



■担当者のコメント

氏名	立花 明彦		
科目名	形態別介護技術演習Ⅱ		
実施日	2019/11/11	配当年次	2
履修者数	6	回答者数	6

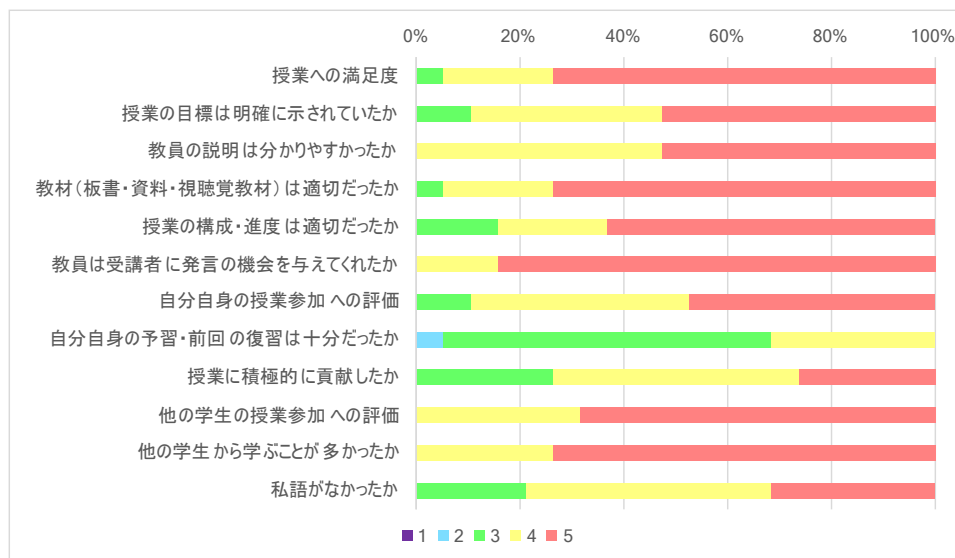
	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	0	0	6	6	6
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	0	1	5	6	6
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	0	1	5	6	6
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	0	1	5	6	6
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	0	0	6	6	6
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	0	0	6	6	6
自分自身の授業参加への評価	0	0	0	2	4	6	6
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	0	1	3	2	6	6
授業に積極的に貢献したか	0	0	1	2	3	6	6
他の学生の授業参加への評価	0	0	0	3	3	6	6
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	0	2	4	6	6
私語がなかったか	1	0	1	3	1	6	6



■担当者のコメント

氏名	田中 康雄		
科目名	コミュニケーション技術 I		
実施日	2019/07/17	配当年次	1
履修者数	19	回答者数	19

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	1	4	14	19
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	2	7	10	19
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	0	9	10	19
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	1	4	14	19
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	3	4	12	19
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	0	3	16	19
自分自身の授業参加への評価	0	0	2	8	9	19
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	1	12	6	0	19
授業に積極的に貢献したか	0	0	5	9	5	19
他の学生の授業参加への評価	0	0	0	6	13	19
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	0	5	14	19
私語がなかったか	0	0	4	9	6	19



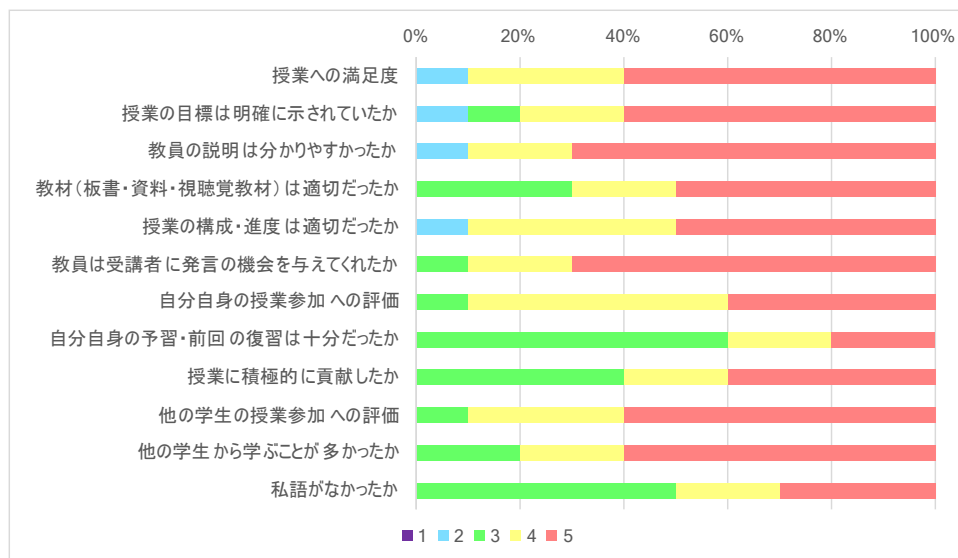
■担当者のコメント

コミュニケーション技術 I においては、90分の授業進行について再検討の余地がある。中でも、今年度の授業進行にて、単調になった部分、駆け足に展開した部分等は授業内容をあらためて分析した上で、今後の授業展開に反映し、学生に少しでも理解しやすい授業を提供できるよう努力していきたい。



氏名	谷 千春		
科目名	形態別介護技術演習 I		
実施日	2019/07/15	配当年次	2
履修者数	10	回答者数	10

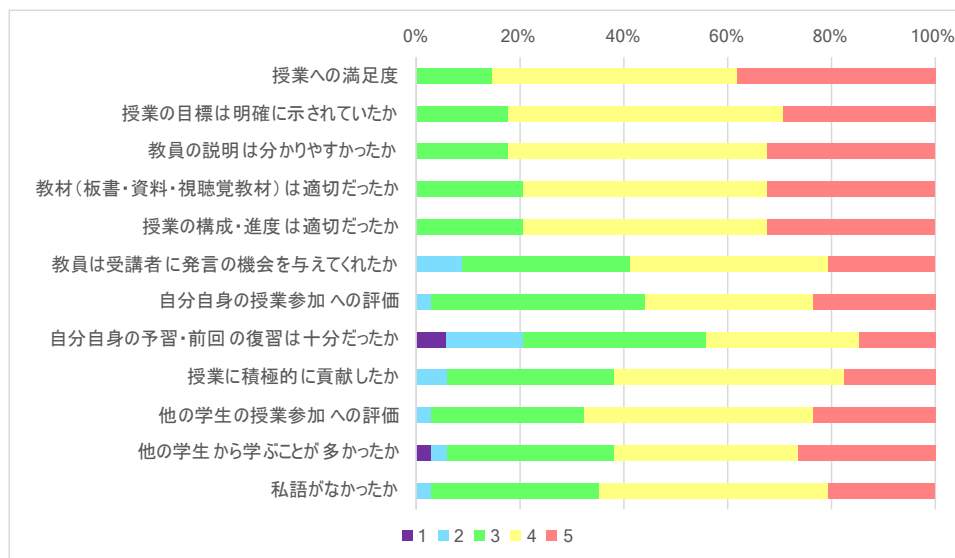
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	1	0	3	6	10
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	1	2	6	10
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	0	2	7	10
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	3	2	5	10
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	0	4	5	10
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	1	2	7	10
自分自身の授業参加への評価	0	0	1	5	4	10
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	0	6	2	2	10
授業に積極的に貢献したか	0	0	4	2	4	10
他の学生の授業参加への評価	0	0	1	3	6	10
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	2	2	6	10
私語がなかったか	0	0	5	2	3	10



■担当者のコメント

氏名	堤 ちはる		
科目名	子どもの食と栄養		
実施日	2020/01/15	配当年次	2
履修者数	35	回答者数	34

	← 評価 →					合計
	no	1	2	3	4	
授業への満足度	0	0	5	16	13	34
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	6	18	10	34
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	6	17	11	34
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	7	16	11	34
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	7	16	11	34
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	3	11	13	7	34
自分自身の授業参加への評価	0	1	14	11	8	34
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	5	12	10	5	34
授業に積極的に貢献したか	0	2	11	15	6	34
他の学生の授業参加への評価	0	1	10	15	8	34
他の学生から学ぶことが多かったか	1	1	11	12	9	34
私語がなかったか	0	1	11	15	7	34

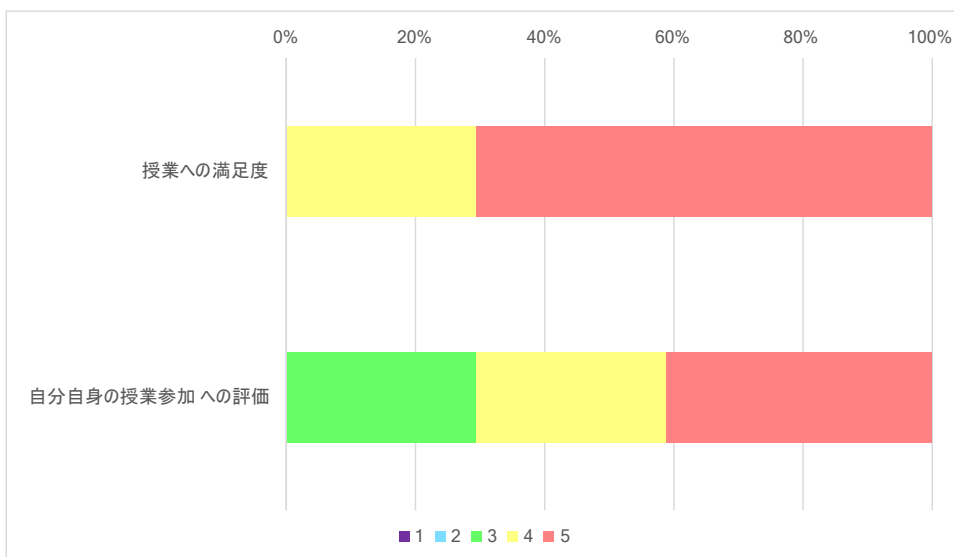


#### ■担当者のコメント

本授業では、学生自身が日常の食事や間食に興味・関心をもつように働きかけたり、保育園児の保護者からの食の悩み相談に、保育士としてどのように対応するかを考えたりと、具体例を豊富にあげながら講義を進めていった。また、リアクションペーパーに記載された質問に、毎回丁寧に答えながら授業を深めていったことなどから「授業への満足度」、「授業の目的の明確さ」は、4と5の合計がそれぞれ80%を超える高い評価であった。一方、「学生自身の授業参加」や「予習・復習は十分だったか」などの項目は、改善の余地があった。そこで、今後はグループワークやディスカッションなどを積極的に取り入れた参加型の授業展開となるようにしたり、予習・復習が必要な課題を提示するなど、さらなる工夫を続けていきたい。

氏名	戸田 康之		
科目名	聴覚障害教育		
実施日	2019/07/06	配当年次	3
履修者数	17	回答者数	17

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	0	5	12	17	
自分自身の授業参加への評価	0	0	5	5	7	17	

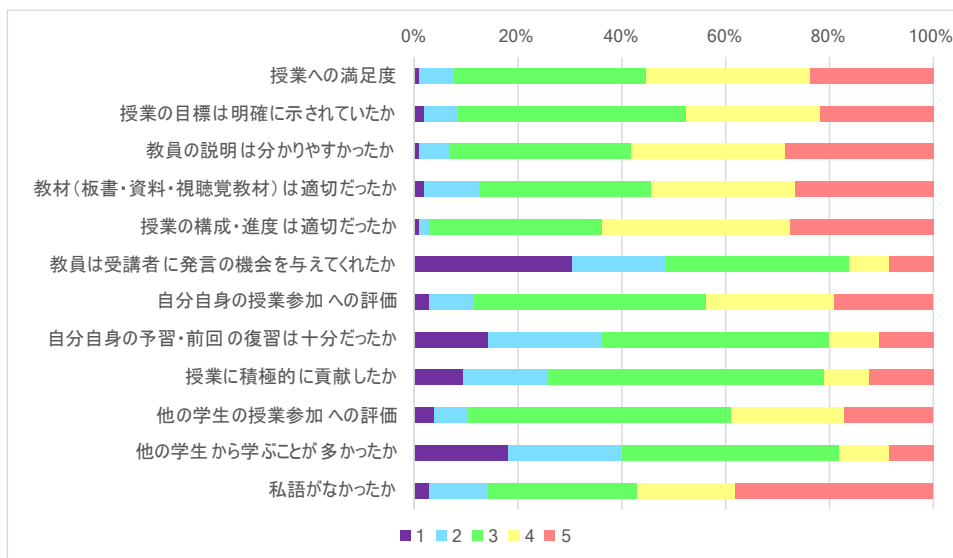


■担当者のコメント

回答から、グループワークや、模擬授業づくりなどを取り入れたことが、学生の学びに効果があったとの声が多数あったので、次年度もこのような方法を取り入れた講義を行いたいと思います。

氏名	富塚 祥夫		
科目名	社会の認識V		
実施日	2019/06/27	配当年次	1
履修者数	124	回答者数	105

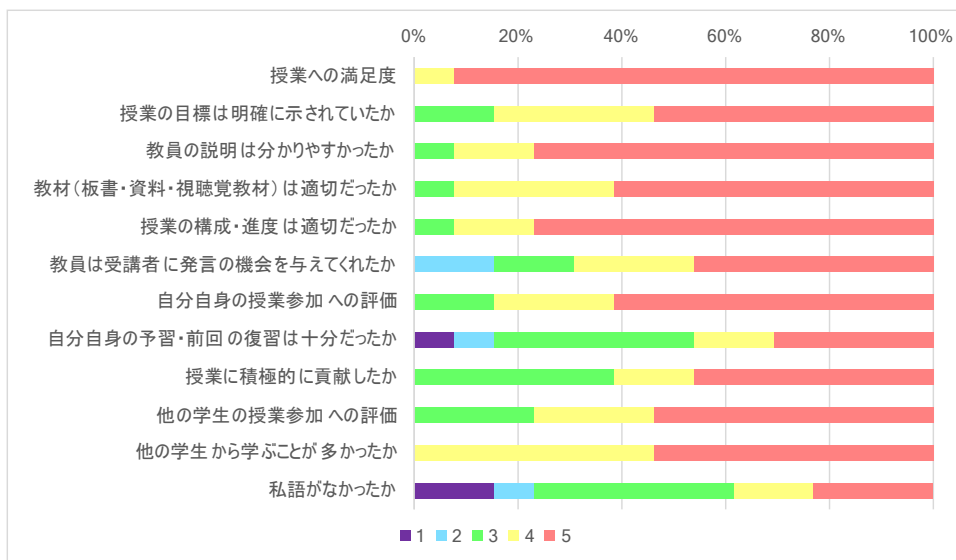
	no	← 評価 →			yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	1	7	39	33	25	105
授業の目標は明確に示されていたか	2	7	46	27	23	105
教員の説明は分かりやすかったか	1	6	37	31	30	105
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	2	11	35	29	28	105
授業の構成・進度は適切だったか	1	2	35	38	29	105
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	32	19	37	8	9	105
自分自身の授業参加への評価	3	9	47	26	20	105
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	15	23	46	10	11	105
授業に積極的に貢献したか	10	17	56	9	13	105
他の学生の授業参加への評価	4	7	53	23	18	105
他の学生から学ぶことが多かったか	19	23	44	10	9	105
私語がなかったか	3	12	30	20	40	105



■担当者のコメント

氏名	長崎 信博		
科目名	保育表現技術 I C2(造形)		
実施日	2019/11/16	配当年次	2
履修者数	16	回答者数	13

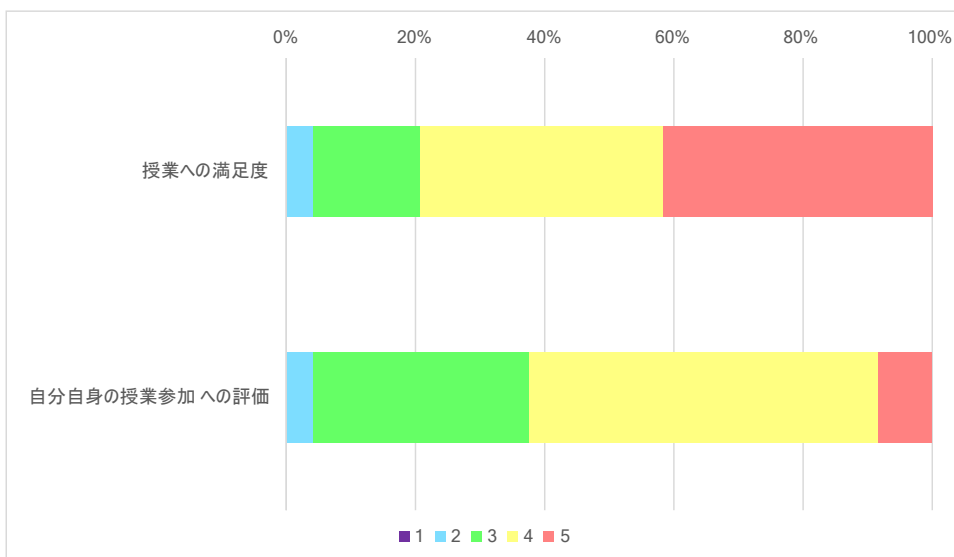
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	0	1	12	13
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	2	4	7	13
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	1	2	10	13
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	1	4	8	13
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	1	2	10	13
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	2	2	3	6	13
自分自身の授業参加への評価	0	0	2	3	8	13
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	1	5	2	4	13
授業に積極的に貢献したか	0	0	5	2	6	13
他の学生の授業参加への評価	0	0	3	3	7	13
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	0	6	7	13
私語がなかったか	2	1	5	2	3	13



■担当者のコメント

氏名	中村 考一		
科目名	認知症ケア論 I		
実施日	2019/07/05	配当年次	3
履修者数	25	回答者数	24

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	1	4	9	10	24	
自分自身の授業参加への評価	0	1	8	13	2	24	

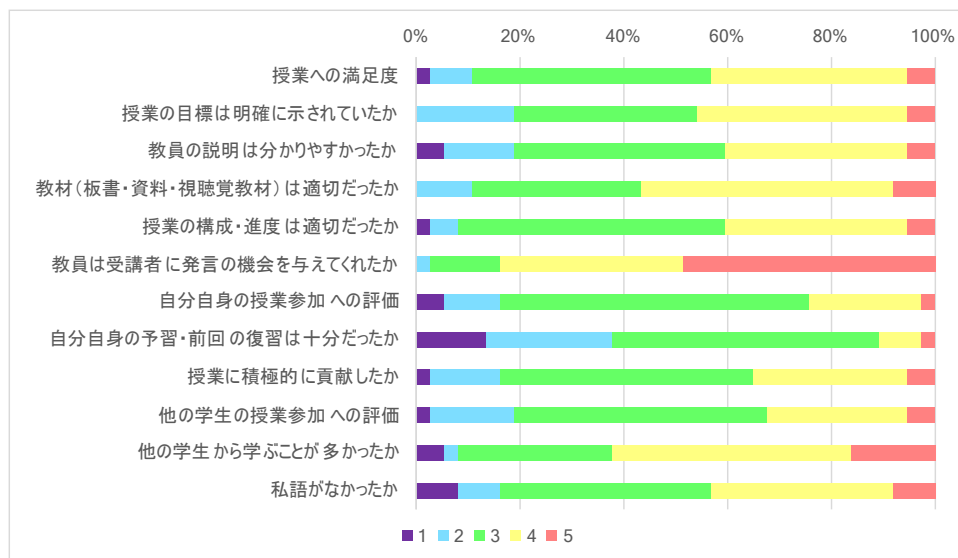


■担当者のコメント

照明や板書の濃さは、今後機会があれば、気を付けます。皆さん、積極的に参加していただいてよかったです。体験から考えること、知識を基に推論すること、他者の意見から視野を広げることなど、知識を知識として終わらせるのではなく、どのように実践に活用するのかについて、意識し、取り組み続けていただけると地に足の着いた技術が身についていくのではないかと思います。受講した皆さんの成長を祈念します。

氏名	西 智子		
科目名	乳児保育		
実施日	2019/07/22	配当年次	3
履修者数	38	回答者数	37

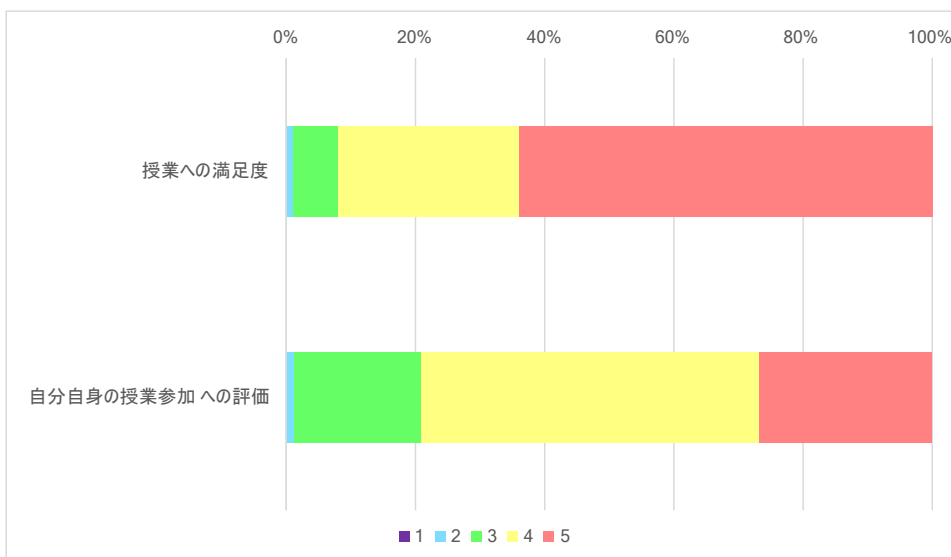
	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	1	3	17	14	2	37	
授業の目標は明確に示されていたか	0	7	13	15	2	37	
教員の説明は分かりやすかったか	2	5	15	13	2	37	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	4	12	18	3	37	
授業の構成・進度は適切だったか	1	2	19	13	2	37	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	1	5	13	18	37	
自分自身の授業参加への評価	2	4	22	8	1	37	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	5	9	19	3	1	37	
授業に積極的に貢献したか	1	5	18	11	2	37	
他の学生の授業参加への評価	1	6	18	10	2	37	
他の学生から学ぶことが多かったか	2	1	11	17	6	37	
私語がなかったか	3	3	15	13	3	37	



■担当者のコメント

氏名	西隈 亜紀		
科目名	精神保健福祉論 I		
実施日	2019/07/19	配当年次	2
履修者数	109	回答者数	86

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	1	6	24	55	86	
自分自身の授業参加への評価	0	1	17	45	23	86	



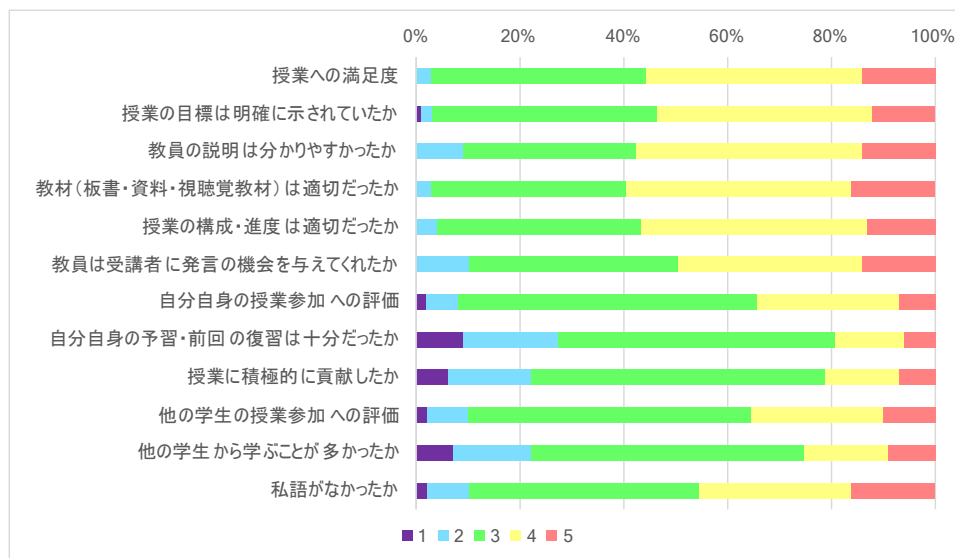
#### ■担当者のコメント

今年、編入生の履修者が多いのが特徴でした。定刻に授業を始め内容も毎回かなり盛り山なので、学生もついてくのが大変だと思うのですが、今年の学生もとても頑張ってくださいました。精神保健福祉の基本知識は習得していただいたのではないかと思います。コメントを見ると、私の臨床実践を話したりニュースになったカレントトピックについて話したりするのが好評のようですが、どちらも大切なことだと考えているので今後も話していくと思います。大教室で、受講者も多いので、教室の前方と後方で雰囲気が変わるようです。私語は他の学生に迷惑がかかりますが、注意するにも限界があります。すべての学生が関心を持てるような授業を目指したいと思います。



氏名	西瀬戸 伸子		
科目名	更生保護制度		
実施日	2019/07/08	配当年次	3
履修者数	171	回答者数	99

	← 評価 →					合計
	no	1	2	3	4	
授業への満足度	0	3	41	41	14	99
授業の目標は明確に示されていたか	1	2	43	41	12	99
教員の説明は分かりやすかったか	0	9	33	43	14	99
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	3	37	43	16	99
授業の構成・進度は適切だったか	0	4	39	43	13	99
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	10	40	35	14	99
自分自身の授業参加への評価	2	6	57	27	7	99
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	9	18	53	13	6	99
授業に積極的に貢献したか	6	16	56	14	7	99
他の学生の授業参加への評価	2	8	54	25	10	99
他の学生から学ぶことが多かったか	7	15	52	16	9	99
私語がなかったか	2	8	44	29	16	99

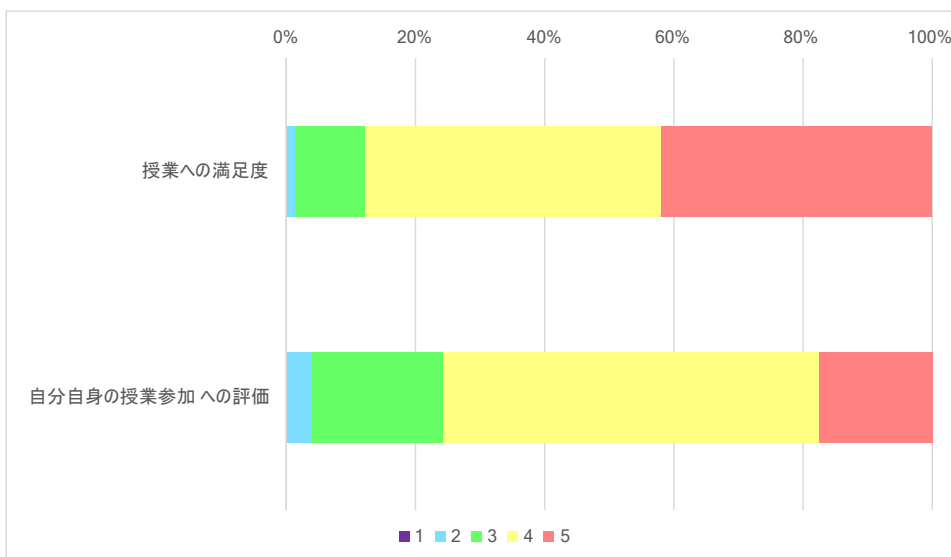


■担当者のコメント

学生たちにとってはなじみのない授業であったにも関わらず、彼らが幅広い関心を持ち、熱心に授業に参加して、その内容についても深く考えていくという姿勢が見られ、大変よかったです。意見交換をするなどして授業をもっと盛り上げていこうとしましたが、大教室での授業ではなかなか発言をする学生はおらず、その点は少し残念でしたが、その分リアクションペーパーに率直な意見を書いてくれました。彼らがやがて社会人として巣立ち、福祉と刑事司法の連携がますます図られることを期待しております。

氏名	西本 和月		
科目名	人間の知性Ⅱ		
実施日	2019/12/20	配当年次	1
履修者数	81	回答者数	74

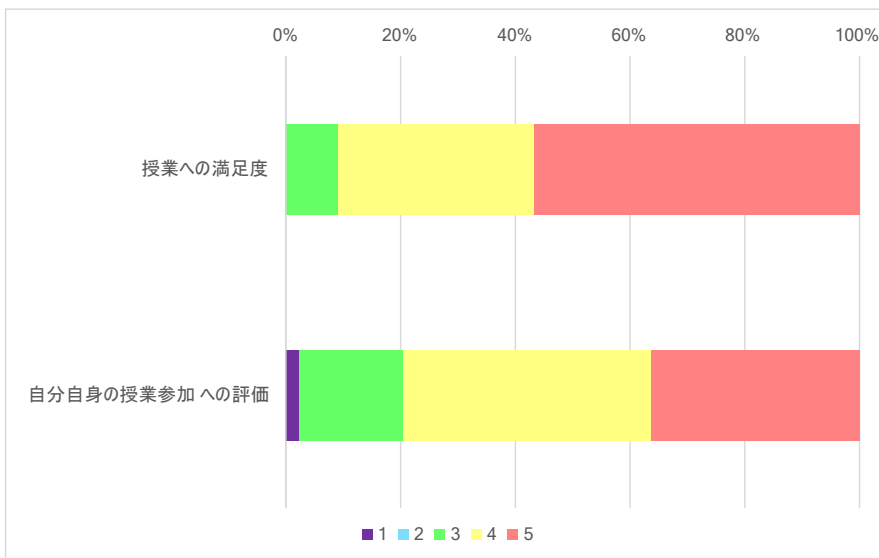
	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	1	8	34	31	74	
自分自身の授業参加への評価	0	3	15	43	13	74	



■担当者のコメント

氏名	橋本 恭子		
科目名	初級中国語A2		
実施日	2019/07/16	配当年次	1
履修者数	50	回答者数	44

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	4	15	25	44
自分自身の授業参加への評価	1	0	8	19	16	44

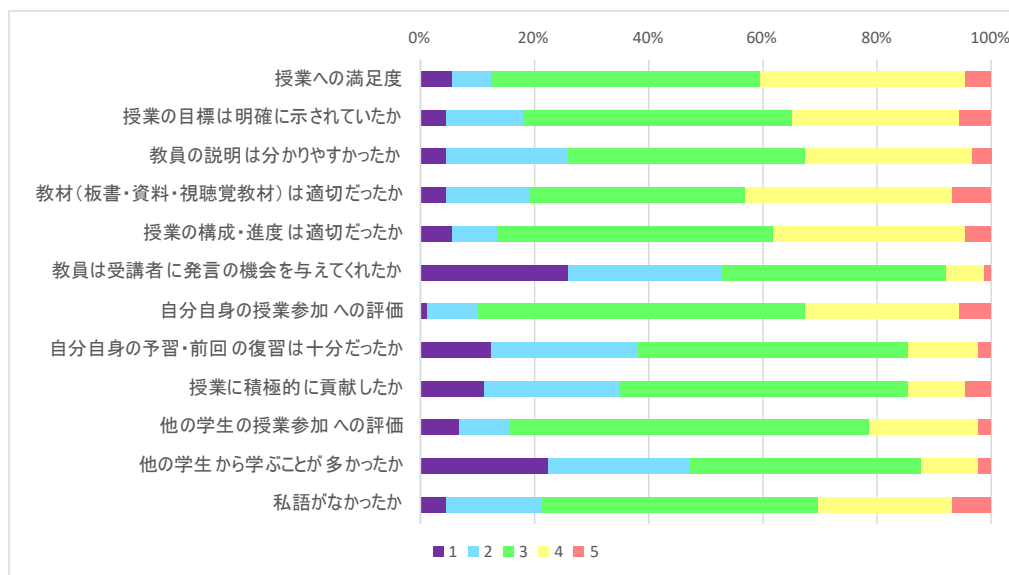


#### ■担当者のコメント

このクラスは授業態度がよく、成績もよかったので、自己評価が少し厳しいのではないのでしょうか。皆さん、自分で思うより、よくやっていました。授業はやりやすく、とても楽しかったです。改善点として、多数の方から、夏の間、教室が寒すぎるという声があったので、来年度は室温管理により注意したいと思います。また、私の話すスピードを少し落とすこと、私語に注意することなど、より良い学習環境を整えていきます。

氏名	東 恭一郎		
科目名	科学的思考Ⅷ		
実施日	2019/12/18	配当年次	1
履修者数	128	回答者数	89

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	5	6	42	32	4	89
授業の目標は明確に示されていたか	4	12	42	26	5	89
教員の説明は分かりやすかったか	4	19	37	26	3	89
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	4	13	33	32	6	88
授業の構成・進度は適切だったか	5	7	43	30	4	89
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	23	24	35	6	1	89
自分自身の授業参加への評価	1	8	51	24	5	89
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	11	23	42	11	2	89
授業に積極的に貢献したか	10	21	45	9	4	89
他の学生の授業参加への評価	6	8	56	17	2	89
他の学生から学ぶことが多かったか	20	22	36	9	2	89
私語がなかったか	4	15	43	21	6	89

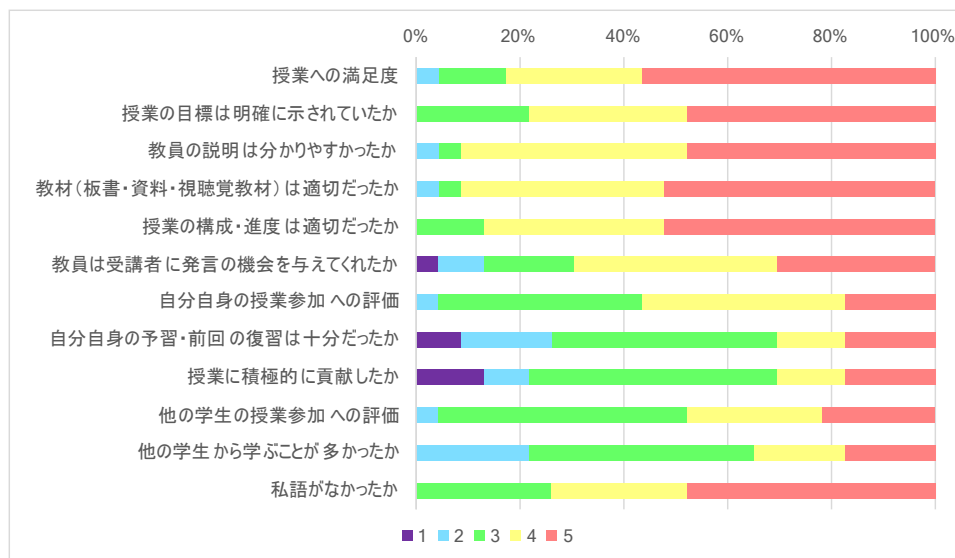


## ■担当者のコメント

およその皆さんからの評価は平均的に見えました。(2.96±0.32) 低かったのは、授業中の発言機会と他学生から学ぶことです。講義終了後に質問された学生さんには、適切に回答したと記憶しています。発言を妨げた覚えはございませんので、挙手して発言されるとよろしいですよ。但し、後ろの方に着席されている学生はこちらからよく見えないので、対応できないかもしれません。講義に後ろで聴講するくらいなら、欠席するほうがマシで、無意味な聴講です。また、教回、グループ学習のようなことを行いましたし、その問題もテストに入れてみました。それでも、他の学生から学ぶことが多くなかったようです。それでテストの成績が散々だったのですね。納得いたしました。高かったのは、授業への満足度と自分自身の授業参加への評価ですが、そうであるなら、授業中に質問するはずだと思います。つまり、自身への評価が不必要に高いのですね。ありがとうございます。それとも講義回数と出席回数のことを考えてらっしゃるのかな？

氏名	久永 文恵・二宮 史織		
科目名	精神科リハビリテーション		
実施日	2020/01/09	配当年次	3
履修者数	30	回答者数	23

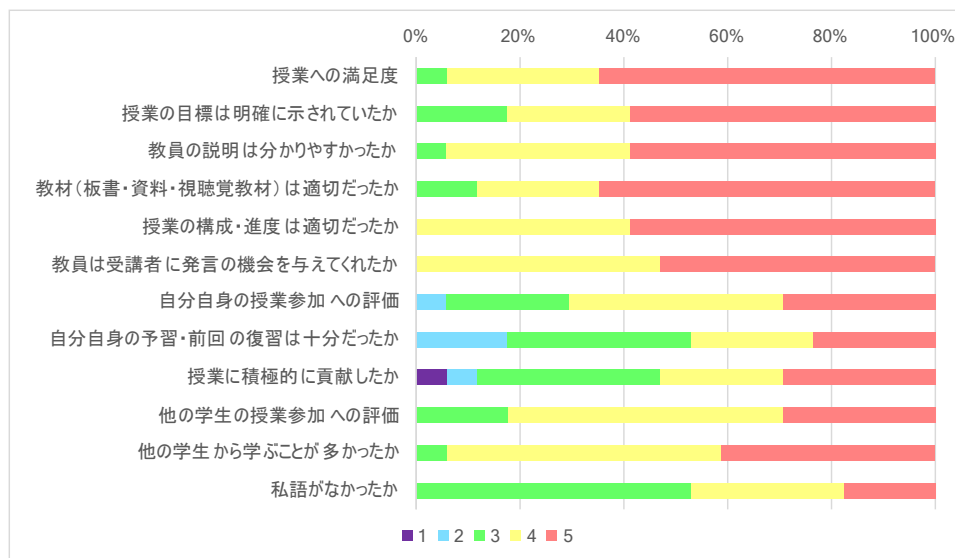
	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	1	3	6	13	23	
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	5	7	11	23	
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	1	10	11	23	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	1	9	12	23	
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	3	8	12	23	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	1	2	4	9	7	23	
自分自身の授業参加への評価	0	1	9	9	4	23	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	4	10	3	4	23	
授業に積極的に貢献したか	3	2	11	3	4	23	
他の学生の授業参加への評価	0	1	11	6	5	23	
他の学生から学ぶことが多かったか	0	5	10	4	4	23	
私語がなかったか	0	0	6	6	11	23	



■担当者のコメント

氏名	廣瀬 圭子		
科目名	リハビリテーション論Ⅱ		
実施日	2019/06/03	配当年次	3
履修者数	18	回答者数	17

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	1	5	11	17
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	3	4	10	17
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	1	6	10	17
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	2	4	11	17
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	0	7	10	17
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	0	8	9	17
自分自身の授業参加への評価	0	1	4	7	5	17
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	3	6	4	4	17
授業に積極的に貢献したか	1	1	6	4	5	17
他の学生の授業参加への評価	0	0	3	9	5	17
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	1	9	7	17
私語がなかったか	0	0	9	5	3	17

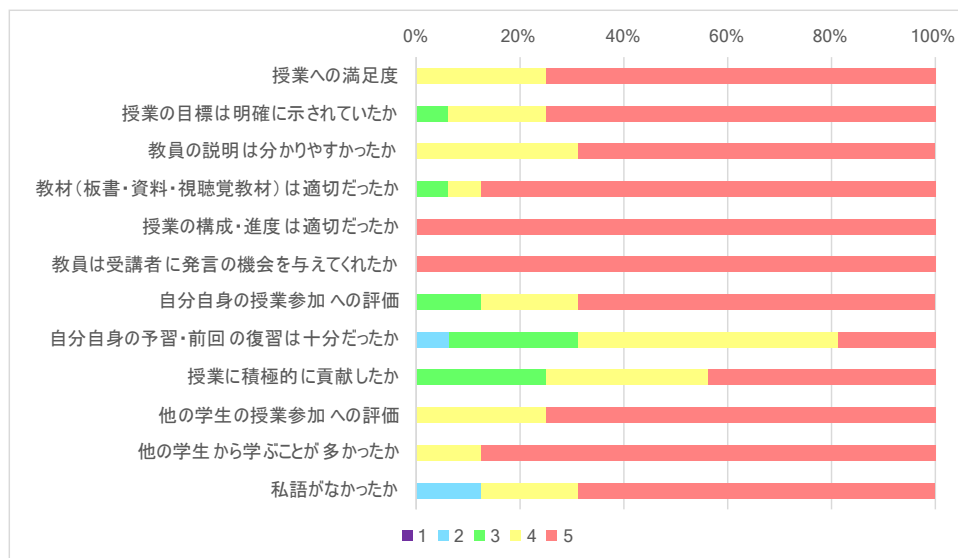


■担当者のコメント

学生の参加態度に、改善の余地があるようです。発言の機会をより多く取り入れ、熱心に取り組んでいる学生に、より満足していただけるよう、授業の方法を改善したいと思います。

氏名	福光 あずさ		
科目名	初級日本手話A		
実施日	2019/07/08	配当年次	1
履修者数	16	回答者数	16

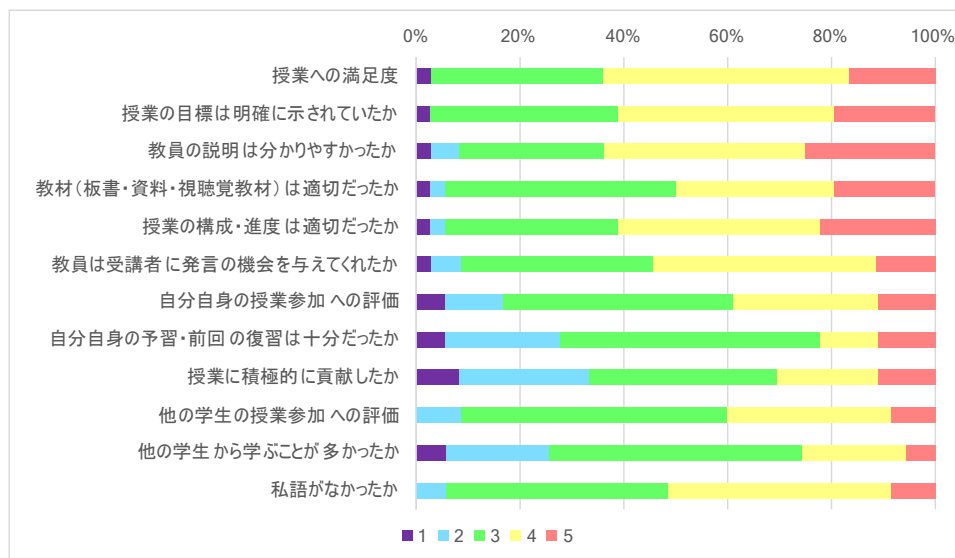
	← 評価 →					合計
	no				yes	
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	0	0	4	12	16
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	1	3	12	16
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	0	5	11	16
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	1	1	14	16
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	0	0	16	16
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	0	0	16	16
自分自身の授業参加への評価	0	0	2	3	11	16
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	1	4	8	3	16
授業に積極的に貢献したか	0	0	4	5	7	16
他の学生の授業参加への評価	0	0	0	4	12	16
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	0	2	14	16
私語がなかったか	0	2	0	3	11	16



■担当者のコメント

氏名	藤井 恭子		
科目名	初級フランス語A		
実施日	2019/07/22	配当年次	1
履修者数	39	回答者数	36

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	1	0	12	17	6	36
授業の目標は明確に示されていたか	1	0	13	15	7	36
教員の説明は分かりやすかったか	1	2	10	14	9	36
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	1	16	11	7	36
授業の構成・進度は適切だったか	1	1	12	14	8	36
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	1	2	13	15	4	35
自分自身の授業参加への評価	2	4	16	10	4	36
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	8	18	4	4	36
授業に積極的に貢献したか	3	9	13	7	4	36
他の学生の授業参加への評価	0	3	18	11	3	35
他の学生から学ぶことが多かったか	2	7	17	7	2	35
私語がなかったか	0	2	15	15	3	35

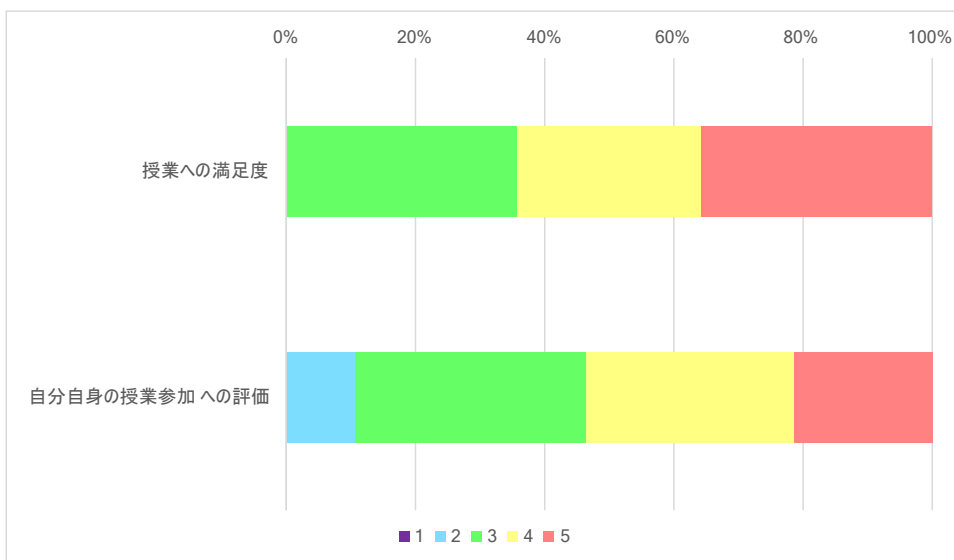


■担当者のコメント



氏名	ベ・エリー		
科目名	英語A18		
実施日	2019/07/16	配当年次	1
履修者数	43	回答者数	28

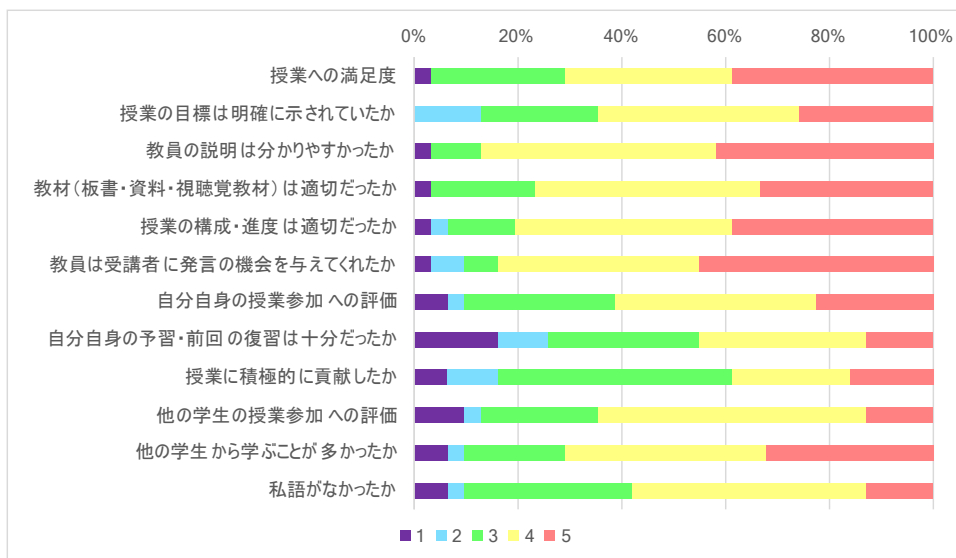
	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	10	8	10	28	
自分自身の授業参加への評価	0	3	10	9	6	28	



■担当者のコメント

氏名	星野 美穂子		
科目名	保育内容演習Ⅱ(言葉)		
実施日	2019/12/10	配当年次	3
履修者数	38	回答者数	31

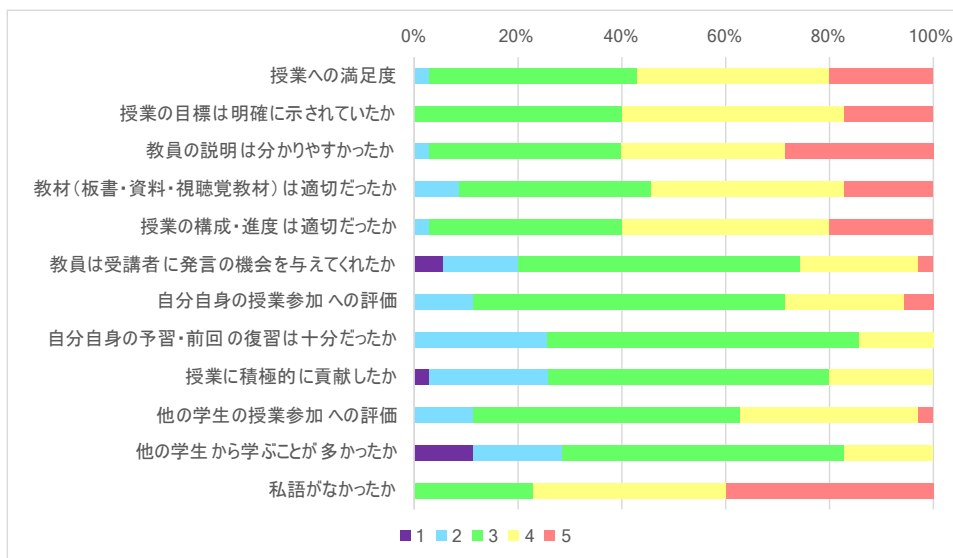
	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	1	0	8	10	12	31	
授業の目標は明確に示されていたか	0	4	7	12	8	31	
教員の説明は分かりやすかったか	1	0	3	14	13	31	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	0	6	13	10	30	
授業の構成・進度は適切だったか	1	1	4	13	12	31	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	1	2	2	12	14	31	
自分自身の授業参加への評価	2	1	9	12	7	31	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	5	3	9	10	4	31	
授業に積極的に貢献したか	2	3	14	7	5	31	
他の学生の授業参加への評価	3	1	7	16	4	31	
他の学生から学ぶことが多かったか	2	1	6	12	10	31	
私語がなかったか	2	1	10	14	4	31	



■担当者のコメント

氏名	細山 俊男		
科目名	社会教育計画 I		
実施日	2019/07/13	配当年次	3
履修者数	41	回答者数	35

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	1	14	13	7	35	
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	14	15	6	35	
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	13	11	10	35	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	3	13	13	6	35	
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	13	14	7	35	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	2	5	19	8	1	35	
自分自身の授業参加への評価	0	4	21	8	2	35	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	9	21	5	0	35	
授業に積極的に貢献したか	1	8	19	7	0	35	
他の学生の授業参加への評価	0	4	18	12	1	35	
他の学生から学ぶことが多かったか	4	6	19	6	0	35	
私語がなかったか	0	0	8	13	14	35	

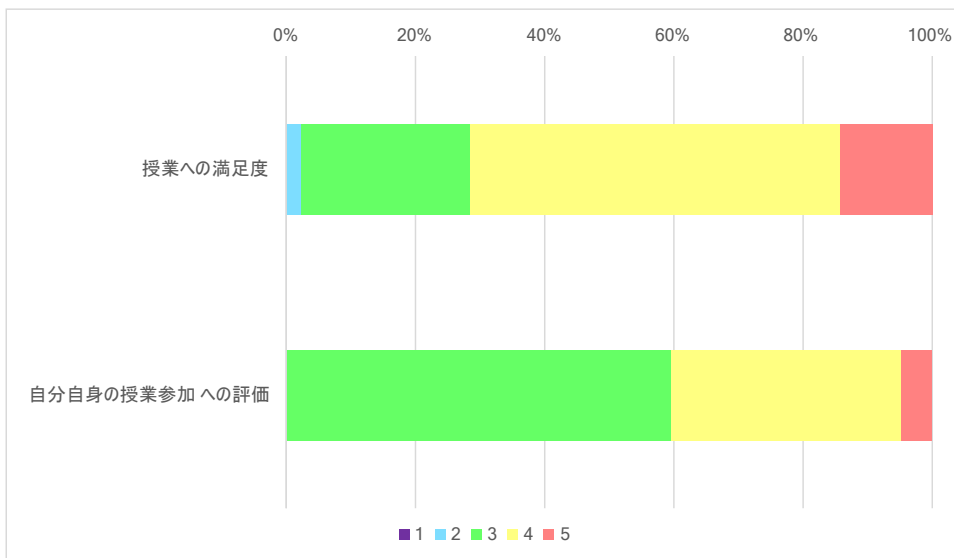


■担当者のコメント

講義中心の授業であったため、学生の授業参加の機会が少なかったようである。今後の課題にしたい。

氏名	堀 千鶴子		
科目名	女性福祉論		
実施日	2019/07/08	配当年次	3
履修者数	48	回答者数	42

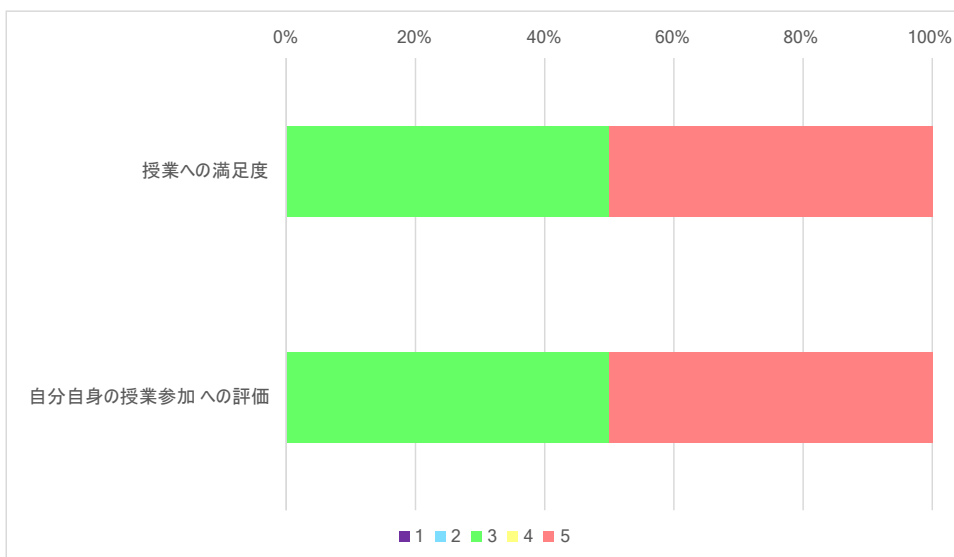
	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	1	11	24	6	42	
自分自身の授業参加への評価	0	0	25	15	2	42	



■担当者のコメント

氏名	原田美江子・本保善樹・坂野晶司・荒井和子		
科目名	公衆衛生 I		
実施日	2019/07/20	配当年次	2
履修者数	22	回答者数	2

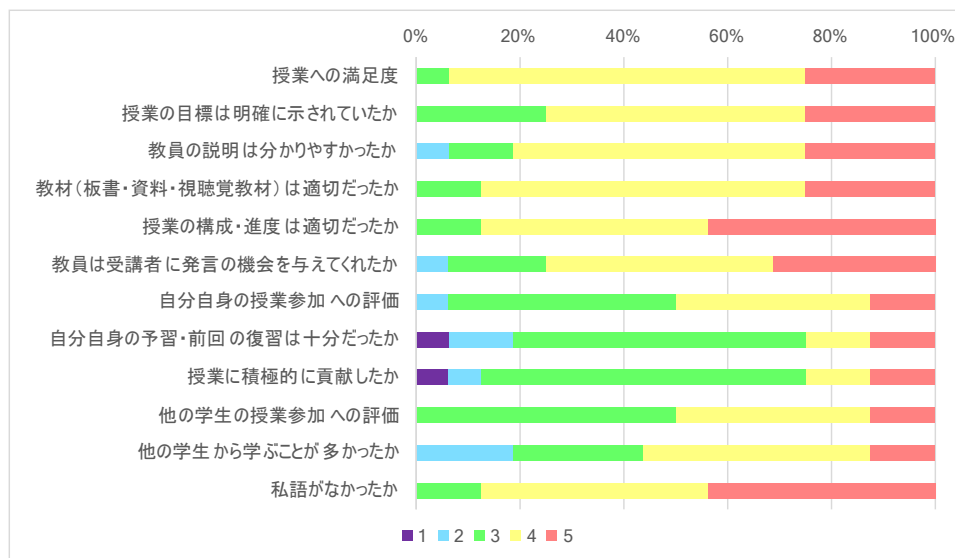
	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	1	0	1	2	
自分自身の授業参加への評価	0	0	1	0	1	2	



■担当者のコメント

氏名	松島 栄一		
科目名	形態別介護技術演習Ⅲ		
実施日	2019/06/18	配当年次	3
履修者数	18	回答者数	16

	← 評価 →					合計
	no	1	2	3	4	
授業への満足度	0	0	1	11	4	16
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	4	8	4	16
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	2	9	4	16
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	2	10	4	16
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	2	7	7	16
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	1	3	7	5	16
自分自身の授業参加への評価	0	1	7	6	2	16
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	2	9	2	2	16
授業に積極的に貢献したか	1	1	10	2	2	16
他の学生の授業参加への評価	0	0	8	6	2	16
他の学生から学ぶことが多かったか	0	3	4	7	2	16
私語がなかったか	0	0	2	7	7	16

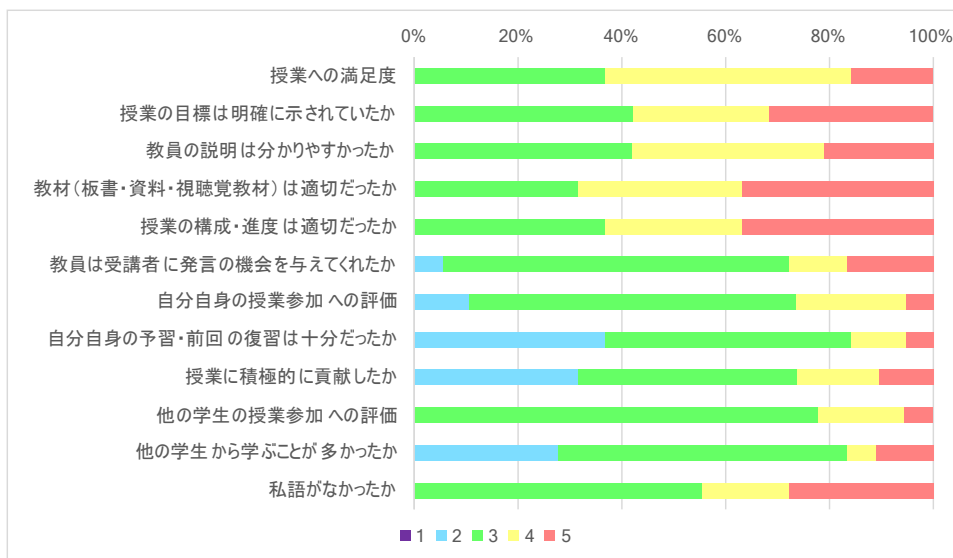


■担当者のコメント

学生の皆さんに気を使っていたいただいた評価かと思います。今年から、学生さんの問題意識をなるべく多く記述や発言していただいて、それに応えながら授業を進めるということを心がけてみました。授業参加や他の学生から学ぶという項目に少し反映されているかなとも思います。

氏名	松山 毅		
科目名	福祉と政策(歴史)		
実施日	2019/07/29	配当年次	3
履修者数	26	回答者数	19

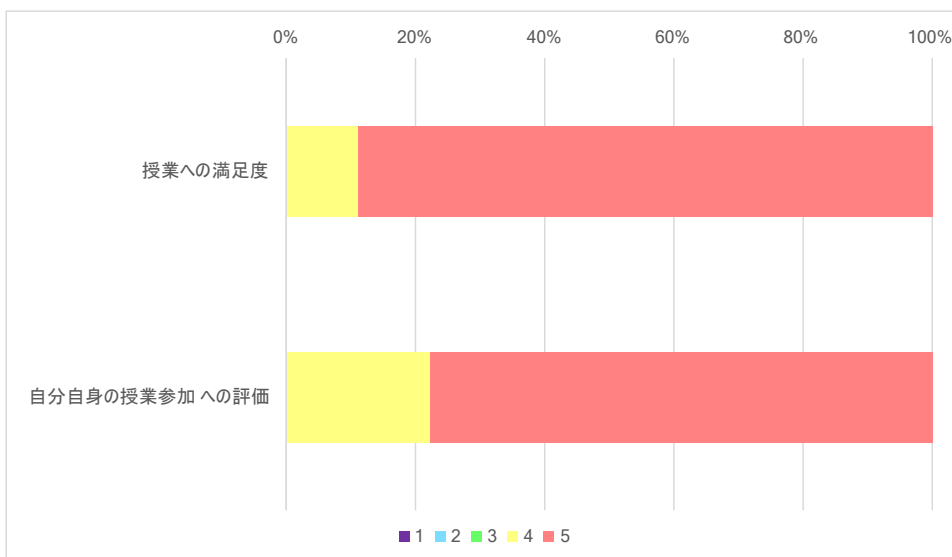
	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	7	9	3	19	
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	8	5	6	19	
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	8	7	4	19	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	6	6	7	19	
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	7	5	7	19	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	1	12	2	3	18	
自分自身の授業参加への評価	0	2	12	4	1	19	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	7	9	2	1	19	
授業に積極的に貢献したか	0	6	8	3	2	19	
他の学生の授業参加への評価	0	0	14	3	1	18	
他の学生から学ぶことが多かったか	0	5	10	1	2	18	
私語がなかったか	0	0	10	3	5	18	



■担当者のコメント

氏名	三浦 一郎		
科目名	レクリエーション活動援助法 I		
実施日	2019/07/08	配当年次	2
履修者数	11	回答者数	9

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	0	1	8	9	
自分自身の授業参加への評価	0	0	0	2	7	9	



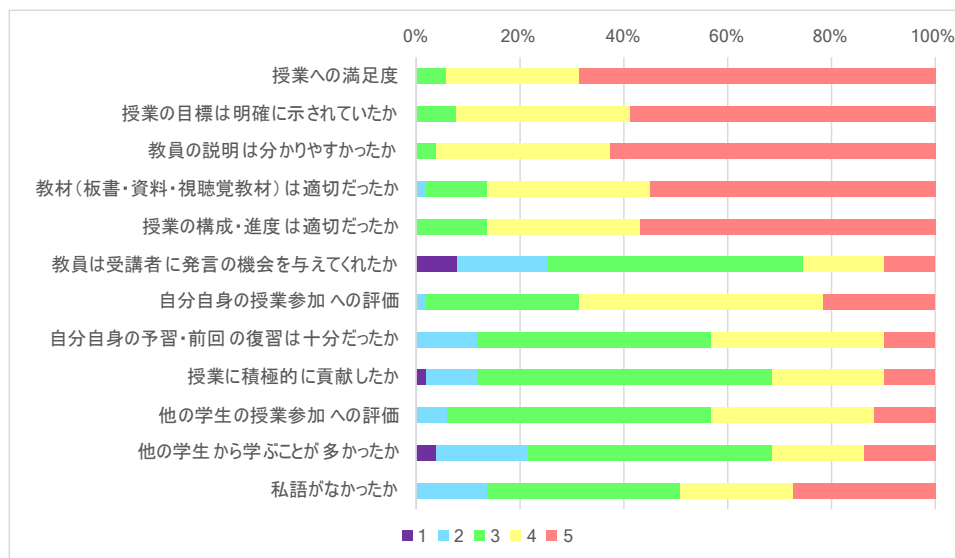
#### ■担当者のコメント

担当するにあたって目標としたのは介護現場で「実践する力」を培うということです。したがって現場で活用できる素材を実践し、そこから生まれる楽しさを体験し、それがどのような効果や機能維持を利用者にもたらすのかを確認した後で解説する時間をとりました。あわせてレクリエーション素材の拡がりや対象にフィットさせるためのアレンジの視点なども解説をしました。今回こうした取り組み方法を理解し、評価してくれたことを嬉しく思っています。後期の活動援助法Ⅱでも、現場の利用者が感じ取る「楽しさ」の構造やそこに導くための技術的な視点の解説と習得を目標に授業を進めていきたいと思っています。



氏名	三坂 彰彦		
科目名	福祉と法(家族法) / 家族法		
実施日	2019/12/09	配当年次	2
履修者数	89	回答者数	51

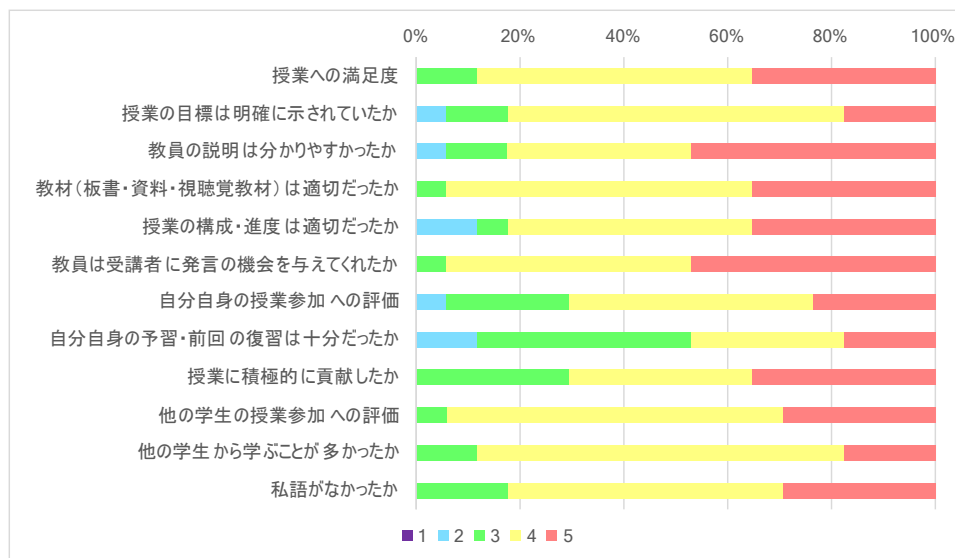
	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	3	13	35	51	
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	4	17	30	51	
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	2	17	32	51	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	6	16	28	51	
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	7	15	29	51	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	4	9	25	8	5	51	
自分自身の授業参加への評価	0	1	15	24	11	51	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	6	23	17	5	51	
授業に積極的に貢献したか	1	5	29	11	5	51	
他の学生の授業参加への評価	0	3	26	16	6	51	
他の学生から学ぶことが多かったか	2	9	24	9	7	51	
私語がなかったか	0	7	19	11	14	51	



■担当者のコメント

氏名	宮下 千登勢		
科目名	保育表現技術 I B2		
実施日	2020/01/23	配当年次	2
履修者数	18	回答者数	17

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	2	9	6	17	
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	2	11	3	17	
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	2	6	8	17	
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	1	10	6	17	
授業の構成・進度は適切だったか	0	2	1	8	6	17	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	1	8	8	17	
自分自身の授業参加への評価	0	1	4	8	4	17	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	2	7	5	3	17	
授業に積極的に貢献したか	0	0	5	6	6	17	
他の学生の授業参加への評価	0	0	1	11	5	17	
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	2	12	3	17	
私語がなかったか	0	0	3	9	5	17	

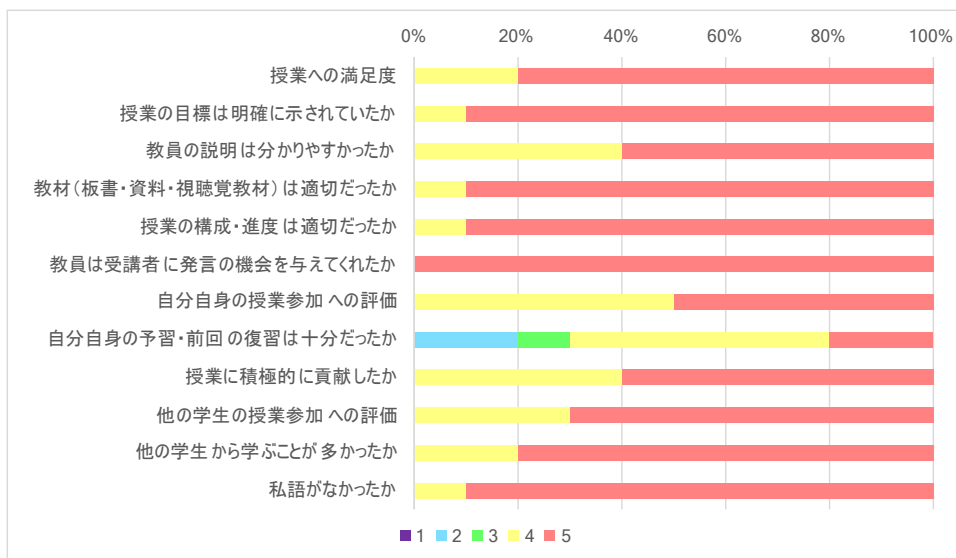


■担当者のコメント

音楽療法という、音楽、医学、心理的な専門知識を必要とする難しい内容であったかもしれませんが、しかし、多くの学生の皆さんは、ご自身の持つ能力を生かして積極的に授業に臨まれていました。今後の福祉現場での実務にあたり、音楽療法をひとつの有効な支援と捉え、実践に取り入れていただけたら幸いです。

氏名	八百谷 梨江		
科目名	初級日本手話E		
実施日	2019/07/12	配当年次	1
履修者数	13	回答者数	10

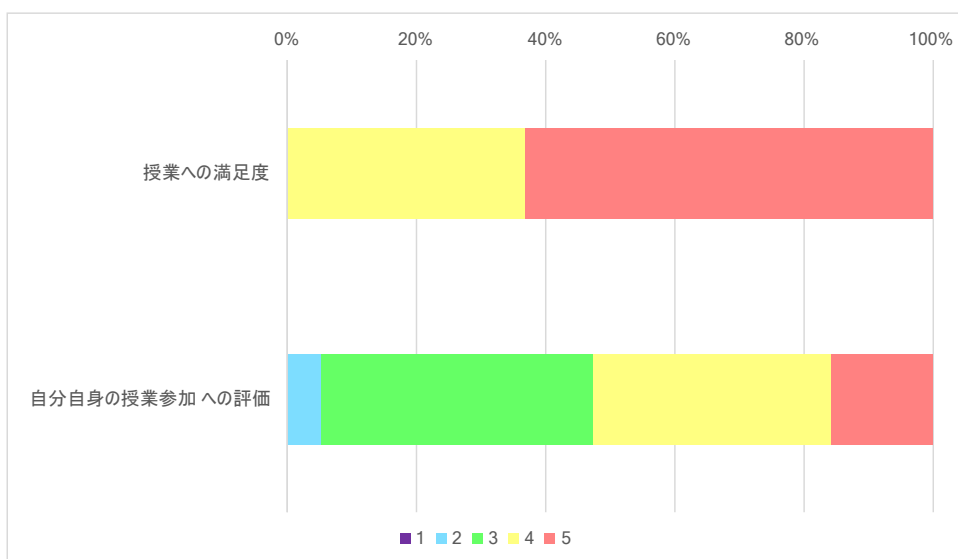
	← 評価 →					合計
	no				yes	
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	0	0	2	8	10
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	0	1	9	10
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	0	4	6	10
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	0	1	9	10
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	0	1	9	10
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	0	0	10	10
自分自身の授業参加への評価	0	0	0	5	5	10
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	2	1	5	2	10
授業に積極的に貢献したか	0	0	0	4	6	10
他の学生の授業参加への評価	0	0	0	3	7	10
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	0	2	8	10
私語がなかったか	0	0	0	1	9	10



■担当者のコメント

氏名	山口 育子		
科目名	こころとからだのしくみ I		
実施日	2019/06/26	配当年次	1
履修者数	19	回答者数	19

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	0	0	7	12	19	
自分自身の授業参加への評価	0	1	8	7	3	19	

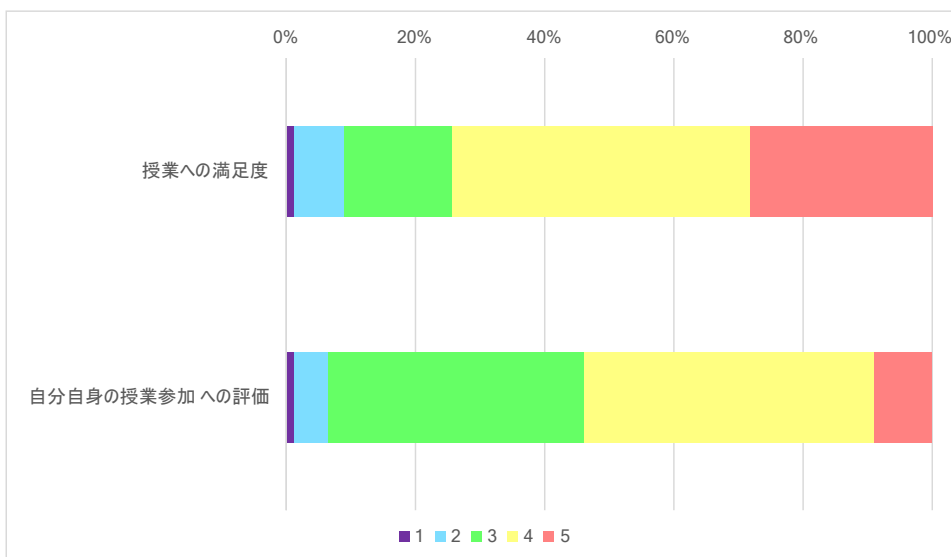


#### ■担当者のコメント

自由記載欄での貴重なご意見をありがとうございます。  
 私自身、皆さんの熱心に授業に取り組む姿勢に感心しながら、大変楽しく授業させていただきました。  
 授業内で疑問に思ったところをすぐに質問していただけることで、私の説明が足りないところなども補えました。  
 科目の特性から知識を伝達することが主となってしまいますが、一方通行にならないよう、できる限り皆さんの授業への  
 興味や主体的な学びを引き出せるように今後は工夫をしてみたいです。

氏名	山路 茜		
科目名	社会の認識XI / 教育の課程と経営 (=教育原理II)		
実施日	2020/01/15	配当年次	1
履修者数	116	回答者数	78

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	1	6	13	36	22	78	
自分自身の授業参加への評価	1	4	31	35	7	78	

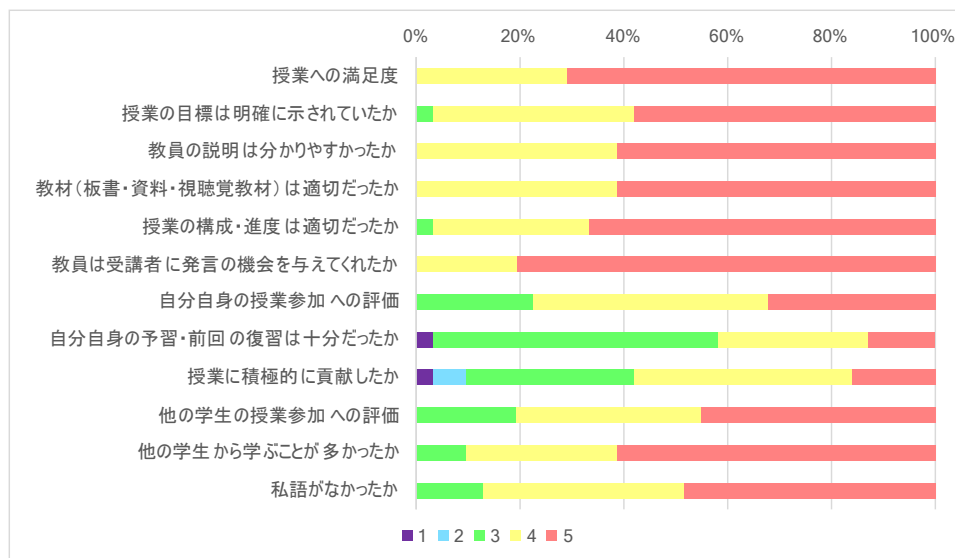


#### ■担当者のコメント

自由記述を読んで、リアペへの応答と匿名での意見交換の機会の確保とビデオ教材は、多くの受講生にとって良い学びとなったようで手ごたえを感じました。一方、声小さいことと話の要点がまとまっていないときや時間内に終わらないときがある点は、改善に努めなければならないと思いました。レジュメや進度に関しては意見にばらつきがあるので、今後も様子をみていきます。

氏名	吉川 あゆみ		
科目名	社会の認識X V[手話]		
実施日	2020/01/15	配当年次	1
履修者数	38	回答者数	31

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	0	9	22	31
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	1	12	18	31
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	0	12	19	31
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	0	12	19	31
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	1	9	20	30
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	0	6	25	31
自分自身の授業参加への評価	0	0	7	14	10	31
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	0	17	9	4	31
授業に積極的に貢献したか	1	2	10	13	5	31
他の学生の授業参加への評価	0	0	6	11	14	31
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	3	9	19	31
私語がなかったか	0	0	4	12	15	31

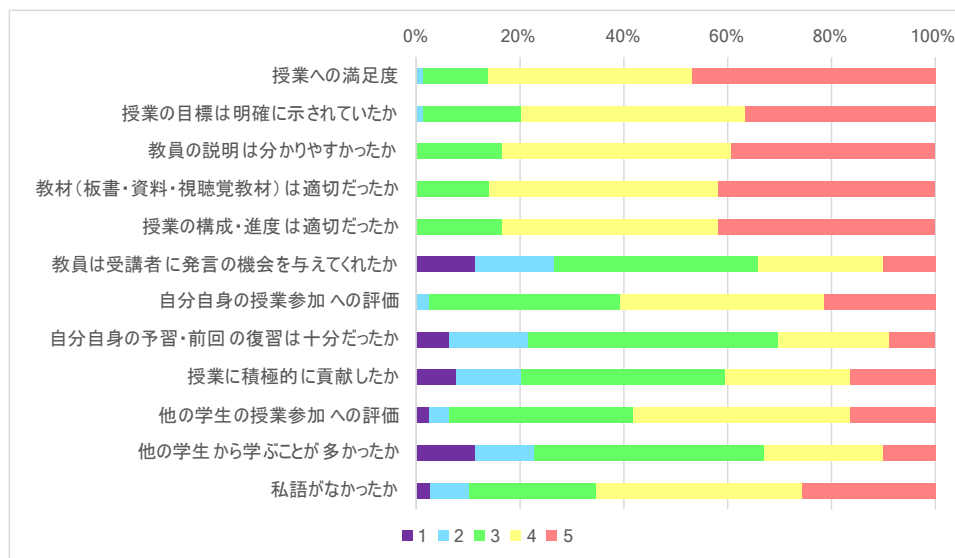


■担当者のコメント

今年度は後半数回にわたって事例検討の時間を設けました。熱心に取り組む方が多く、回数を重ねるごとに理解が深まっていることが伝わってきました。

氏名	吉田 光爾・松長 麻美・水野 雅之		
科目名	精神保健		
実施日	2019/12/14	配当年次	2
履修者数	102	回答者数	79

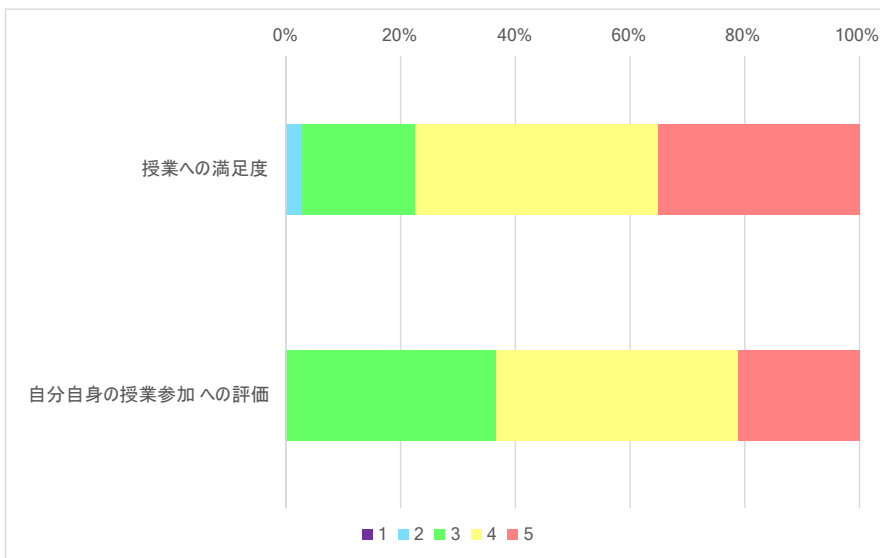
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	1	10	31	37	79
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	15	34	29	79
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	13	35	31	79
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	11	35	33	79
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	13	33	33	79
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	9	12	31	19	8	79
自分自身の授業参加への評価	0	2	29	31	17	79
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	5	12	38	17	7	79
授業に積極的に貢献したか	6	10	31	19	13	79
他の学生の授業参加への評価	2	3	28	33	13	79
他の学生から学ぶことが多かったか	9	9	35	18	8	79
私語がなかったか	2	6	19	31	20	78



■担当者のコメント

氏名	渡邊 慶一郎		
科目名	精神医学		
実施日	2019/06/08	配当年次	2
履修者数	82	回答者数	71

	no	← 評価 →				yes	合計
	1	2	3	4	5		
授業への満足度	0	2	14	30	25	71	
自分自身の授業参加への評価	0	0	26	30	15	71	



■担当者のコメント

担当者の都合で、土曜日に連続した講義となってしまいました。このため、一度欠席すると3回分を欠席となることがあり、学生さんには大変ご迷惑をおかけしました。こうした形式上の問題もさることながら、内容についてもアンケートに記載して頂いたことを受けとめて自分の反省点としたいと思います。この度は貴重な機会を誠に有り難うございました。



### 3. 參考資料

# 授業評価アンケート（様式1）

このアンケートは、本学における授業の方法・内容、本学のカリキュラムの効果、本学の授業・教育の環境を評価し、今後の改善のための資料を作ることを目的としています。

実施日

				年			月			日
--	--	--	--	---	--	--	---	--	--	---

科目名

--

## 注意

この面に記載されているのは「様式1」のアンケートです。※「様式2」は裏面に記載。  
教員から指示のあったアンケート様式が「様式1」で正しいことを確認したうえで、  
以下の設問に回答してください。

設問1 該当する評価を塗りつぶしてください。

	悪い 1	2	3	4	5 良い
授業への満足度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自分自身の授業参加への評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

設問2 以下、自由に記述してください。

授業で良かった点

--

改善した方がよい点

--

自分自身の努力が必要な点

--

他の学生について気づいたこと

--

ご協力ありがとうございました。

# 授業評価アンケート（様式2）

このアンケートは、本学における授業の方法・内容、本学のカリキュラムの効果、本学の授業・教育の環境を評価し、今後の改善のための資料を作ることを目的としています。

実施日

				年			月			日
--	--	--	--	---	--	--	---	--	--	---

科目名

--

## 注意

この面に記載されているのは「様式2」のアンケートです。※「様式1」は裏面に記載。  
教員から指示のあったアンケート様式が「様式2」で正しいことを確認したうえで、  
以下の質問に回答してください。

## ■該当する評価を塗りつぶしてください。

悪い 1 2 3 4 5 良い

	1	2	3	4	5
授業への満足度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
授業の目標は明確に示されていたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
教員の説明は分かりやすかったか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
板書・資料・視聴覚教材は適切だったか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
授業の構成・進度は適切だったか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自分自身の授業参加への評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
授業に積極的に貢献したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の学生の授業参加への評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の学生から学ぶことが多かったか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
私語がなかったか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ご協力ありがとうございました。